滿洲日報 夕刊
發行人 本村武盛
編輯人 橋本喜代治
印刷人 南里順生
大連市東公園町卅一番地
發行所 株式會社滿洲日報社

國防第一線の聖軍

任重き外山本部隊 大連に上陸第一歩

けさ埠頭に描く歡迎譜

日午前八時國防第一線守備の

重任 を帶びる肅々たる滿洲派遣部隊の外山本部隊長はじめ瀧本、藤井、小見山兩部隊長麾下の島本、梅村、高栗、權田兩隊及び北原、梅村、高栗、權田各隊の精鋭を乘せた御用船〇隻は絢爛相映ゆ堂々大連港に入港、こゝに滿洲への上陸第一歩を印し、歡迎陣が顯出し、埠頭一帶に勇ましき軍國圖繪が展開された、これよりさき出迎への歡迎陣は日章旗を朝風になびかせて早曉より續々と埠頭につめかけ、埠頭待合所屋上一ぱいに溢れるやう、午前五時半朝靄を衝いてまづ外山本部隊長以下の乘込んだ御用船が港外はるか水平線にその

雄姿 を現し、これに瀧本部隊の各船が續き、いづれも滿艦飾に彩られて堂々と入港する、折柄港內碇泊中の各船より歡迎の汽笛一齊に鳴り響き、屋上の歡迎隊にワッと萬歲の歡呼が湧きあがつた、この天地を壓する歡迎の萬歲の嵐、天地を壓する歡迎の汽笛、燦然と輝く旭光、爽かな潮風を浴びて二譜の裡に午前八時二十分各船とも九區、六區、二區、二十三區の岸壁にそれ〴〵橫づけした、かくて軍裝凜々しい各部隊の精鋭は相次いで上陸、甲バース、乙バースの廣場に整列、點檢が行はれた、なほ小見山部隊長の御用船は午前十時半入港七區に橫づけした、午前十一時各部隊長の點檢が終つてより各部隊とも休憩地に向ひ島本部隊は北公園、梅村部隊は電氣遊園に向け偉觀を物語る

軍旗 を先頭に喇叭の音、軍靴の響きも勇ましく步武堂々出發した、なほ三日朝北行の權田部隊は關東倉庫に宿營、殘餘の部隊は埠頭待合所において出發時刻まで休憩することになつた

上陸第一步の外山本部隊勇士

幸先よき征途

勇躍する部下將兵は元氣潑剌

外山本部隊長語る

重大使命に輝く外山本部隊長は二日午前八時廿分第二埠頭甲バース繫留の御用船より上陸、奧村遼東部出張所長の案內にて埠頭ビル三階の出張所應接室に入りひとまづ休憩し、諸識の官民二十餘名の挨拶を受けたが、元氣潑剌たる顏に笑みを湛へながら訪問の記者團に左の如く語つた

航海はしけの間を巧みに避けて非常に平穩であつた、武運さいさき良しと喜び、部下將兵は元氣一ぱいである、自分は六、七年ぶりにやつて來たのだが住みなれた土地だけによそへ來たやうな氣がしない、當時柳樹屯に居て濟南戰爭に出征したものだつた、當時と比べると奧地はだいぶ變つたさうだが、この附近は相變らず昔の俤が殘つてゐて大變懷かしい、これから新京へ行つて軍司令官へ申告して命令を受けた上で軍の行動を決定することになつてゐる、何卒貴紙を通して在滿の同胞によろしくお傳へ願ひたい

本部隊長出迎 侍從武官御差遣

【新京二日發國通】滿洲國皇帝陛下には三日午後五時半新京到着の外山本部隊長出迎へのため淺侍從武官を御差遣あらせられることゝなつた、なほ張國務總理大臣は四日午後六時半同本部隊長をヤマトホテルに招待し歡迎會を催すはず

陸相の報告を御聽取

【東京二日發國通】林陸相は一日午後二時半より約二時間、閑院參謀總長宮殿下に滿洲視察の結果を報告說明申上げた

漁業條約改訂交涉 蘇聯我覺書に回答

相當步み寄りを示す

【東京二日發國通】日蘇漁業條約改訂のわが覺書に對しソ聯側は二十八日の酒句、カズロフスキー會談の際覺書を以つて左の回答をなし來つた

一、漁區安定の方針につき日本の提案は原則として承認し、廣田カラハン協定の延長を認めるがその年限は日本側主張の十年には贊成出來ない

一、交涉範圍は日本側提案事項を中心とする

一、競爭制の廢止については回答せず

右により我外務當局はソ聯側の細目希望條項を愼重協議をなしたる後、廣田外相より我代表へ訓電し第三回酒句、カズロフスキー會談を行はせる豫定である、ソ聯側は相當の步み寄りを示してゐるが、延長期間は三年乃至五年を固執してゐるやうで交涉成立に相當時日を要せん

首相以下閣僚に渡滿を進言

林陸相けふ閣議席上

【東京二日發國通】林陸相は滿洲視察歸京後各方面の有力者に渡滿を慫慂し、特に岡田首相以下各閣僚に適當の機に渡滿視察することが對滿國策樹立のため絕對必要と進言し、二日の定例閣議席上において首相、外相に重ねて渡滿につき說得する模樣である

內審委員會

【東京二日發國通】內閣審議會特別委員會は政府の諮問案第一號審議のため二日午後一時半より首相官邸で開催、委員長に水野錬太郎氏を互選した後、過般審議會總會の承認した中央地方の租稅制度公債政策及び將來の財政計畫並に地方財政の四項目につき孰れを先議すべきかにつき協議するか、審議會の意向と政府の希望が一致してゐるので地方財政の先議を決定するものと見られる

災害豫防對策 調査局で考究

【東京二日發國通】政府は關西九州方面の水害に對し應急的救濟策を急いでゐるが、一方恒久的災害豫防に關し內閣調査局にて根本對策を樹立する意向を有してゐる、從來の災害から見ると、自然的條件に支配される一方

一、內務、農林兩省の土木工事植林政策、交通施設が不完全な事

一、災害豫防施設は各省緊密な連絡をすべきであるのに、從來動もすれば各省分離の傾向があつた事

等に原因し、被害程度を最少限度

私設鐵道法 七月下旬公布

【新京電話】滿洲國私設鐵道法の審議は更に法制局參事官を加へて一日から連日開かれてゐるが、大體四日頃までに終了の筈でこの修正案を基礎として再度交通部で立案の上大體七月下旬公布されることゝなつた

八田副總裁歸任期

總會出席のため上京中であつた滿鐵八田副總裁、山西理事は五日入港のうすりい丸にて竹中理事は八日入港の熱河丸にて夫々歸連する

政友長老會議

【東京二日發國通】政友會の岡崎長老は先月歸京後、黨內有力者の意向を聽取したので、近く鈴木總裁と會見、黨內情勢を報告し黨更生策につき懇談するが、大體現狀で鈴木總裁中心に結束を圖る以外に方法なしとし近く長老懇談會を行ひ此の旨の申合せを爲すことにならう岡崎長老は語る

先日久原君が和歌山へ見舞つて吳れたので答禮のため訪ねた、近く鈴木總裁を訪ひ情勢を報告し懇談したい格別の案もないので現狀で結束を固め邁進する事とならうが、總裁更迭其他の噂で地方黨員中不安を懷く者もあり、之を一掃するため長老懇談會を開いて一路邁進の申合せをするやうにならうと思ふ

岩佐司令官檢閱

【新京電話】岩佐憲兵司令官は二日午前八時三十分發飛行機にて北滿方面の各憲兵隊の檢閱に向つた

往來 (二日)

汽車【到着】▲(午前八時)阿部平輔中佐(熊本陸軍教導學校生徒隊長)遼東ホテルへ▲(同八時四十分)佐藤健三氏(滿石專務)【出發】▲(午前九時あじあ)三好重政氏(滿鐵食堂車支配人)新京へ▲ピー・ダブリユー・ターナー氏(セントラルエレクトリツク・カムペニー・オブ・チャイナ大連支配人)同上▲(正午はと)品田芳夫少佐(〇〇隊司令部附三等軍醫正)昂々溪へ▲吉田正男氏(農博、東大教授)北行▲清水豐太郎氏(滿洲中央銀行庶務課長)新京へ

飛行機【出發】▲(午前十一時)エフレム・デムパリスト氏一行、周水子發哈爾濱へ

船【入港天潮丸】▲土肥原賢二氏(奉天特務機關長)遼東ホテルへ

更生する北支那

不良軍閥と黨部撤退により 新なる建設に意氣込む當局

けさ來連の 土肥原少將談

北支問題發生後關東軍の意向を體して天津に赴き、支那駐屯軍當局と連絡、これが解決に當り、次いで惹起された張北事件に關し北平に赴いて關東軍代表として察哈爾當局と折衝、覺書の交換を了した奉天特務機關長土肥原賢二少將は現地におけるすべての處置を完了したので、一日天津發長平丸にて二日午前七時三十分大連着遼東ホテルに入つた、少將は同ホテルにおいて北支問題の解決、察哈爾省當局との覺書交換に伴ふ北支の狀態その他に關し左の如く語つた

明朗北支出現

所謂北支問題が圓滿解決を見たことは日本の爲めばかりでなく北支那自體のためにも劃期的な好結果をもたらした、これまでの北支那は不良軍閥の橫暴搾取にゲ・ペ・ウのやうな黨部の陰險な策動と秘密結社のやうな團體の暗躍とがあつて、政治家といはず一般住民といはず冗談にも大きな聲で話も出來ぬやうな陰鬱な狀態にあつたものである、それが今度我方のとつた處置によつて不良軍閥が撤退し黨部その他のゲ・ペ・ウのやうなものがゐなくなつたので陰鬱な氣分がすつかり晴れて北支人は全く心からほッとした形である、今後北支は面目を一新するだらうそして遠からず朗らかな更生北支を出現するであらう

我眞意を諒解

今後北支當局者はどうして行くか向ふのことであるから詳しいことは判らぬが、北支の新しい首腦者等は大いにやるといつて頗る乘氣になつてゐるから、相當の決意をもつて今後の建設に當らうとしてゐることは看取された、これらの連中の中にも一時は我方の方針なるものを測りかねてゐたやうであるが、白堅武軍の兵變騷ぎがあつてからの我方の態度の公明正大なのにこれらのものも我方には何等の野心なきことを知つて初めて安心したやうだ、北支の安寧と繁榮を希望する以外野心をもたぬ我方としてはあんなとさくさは斷然排擊するものであり、再びあのやうなことが惹起されてはならないと思ふのであるが、妙なことには白軍の兵變は間接的に我方の眞意を向ふに知らしめる結果となつて禍を轉じて福とした形だ、ある要人などこれで日本側の眞意がほんとに判つたから今後は安心して大いに北支建設に當るといふやうなことをいつてゐた

白の兵變疑問

白堅武軍の兵變は全く譯が判らない、一時これには色んなデマが傳へられたが、丁度北支がこれから安定しようといふ時に起つただけに吾々としても非常に困つた、我方に何かの繫りがあるやうにいふにいたつては我方の眞意を知らな過ぎるも甚しい話だが、あんな事が再び起つては安定しかけた事態が再び動搖する、北支が動搖し延いて動亂化するやうなことは極力これを排擊するのは我方として當然でないか、何であんなことを起したか今でも判らないが、何でも北支から國民黨が引込んだので、この時に乘じて何か起して一口與からうといふ淺墓な考へから起したものぢやないかと思ふ、しかしこれによつて白軍が完全に失敗し、我方の公明な態度も立證されてこの種事件の再び繰り返される可能性を少くしたことにはなつた

新な北支建設

そんな譯で今後の北支はよくなつて行くだらう、これら新しい北支建設には王克敏、商震氏等が當つて行くだらう、將來のことは詳しい豫想は出來ないが、これらの人達の努力によつて北支人のための北支、即ち國民黨によつて苦められた北支人は漸次國民黨から離れて新しい軍閥を排除して行くだらう、一時北支の獨立政權といつたものを繞つて策動があつたやうにいはれたが、今のところ政務整理委員會、軍事分會も存續してをり、當分はこれ等の機關を中心として右の新事態建設に向つて行くだらう、現在の首腦者達もその意氣込みで當つてゐるやうだ、北支の安定にわが商人など漸次入り込んでゐるが、北支への經濟的進出も今後一層促進さるべく更に具體的に突き進んだものにも發展して行くだらう

察哈爾善後策

察哈爾當局と關東軍との所謂覺書交換なるものは別に條約でも協定でもなく、たゞ當事者同士の約束で從つてその內容は發表するほどのものではないから將來も發表しないだらう、その內容は要するに察哈爾當局が遺憾の意を表し、今後お互ひ當事者として一層の誠意をもつて當り再び事件を繰り返さぬことを約し、それがための處置を申合せただけである、こんどの北支問題、察哈爾問題に關し列國の關係者のうちには最初色々いふものもあつたが、漸次我方の眞意が判るに從つて何もいはなくなつた、南京政府の汪精衞氏が病氣で入院したさうだが、行政院長を辭職するやうなことになると、南京政府の陣容に異變を免れまい、しかし南京政府の陣容が變らうと吾々の關知するところでなく、我方は飽くまで潔白な態度をもつて既定の方針によつて進むのみである

同少將は二日發あじあで一旦奉天に赴き三日朝新京着の豫定である

北支經濟工作の重要打合せ

土肥原少將・石本部長會見

二日早朝來連した奉天特務機關長土肥原少將は遼東ホテルに落着くや直に滿鐵石本總務部長を招き二階△二四號室において午前十時より十一時十分まで一時間餘に亘り重要協議を遂げた、會談の內容については兩氏とも辟るを避けてゐるが、傳へられるところによれば同少將の來連の目的は石本總務部長との會見にありといはれ、最近漸く北支問題も安定し日滿支間の經濟提携が具體的內容をもつて軌に上つてゐる折柄、滿鐵の北支經濟工作に關する重要打合せがなされたものと見られてゐる

蛇角

◇勇ましや外山部隊の來滿、猛將勇卒雲の如く、國防の第一線更に安固たるを覺ゆ。

◇赫々たる武勲の上に、更に一層の輝きあれ、と期待す。

◇北支の陰鬱色を明朗色に塗り替へつゝ土肥原將軍歸來。

◇但し北支は明朗になつても南支は未だ却々明朗にならず、新生活事件の如きその一つの現れ。

◇若し汪精衞の重態が事實とすれば、現代支那の重患を一身に負ふたものとして同情に堪へない。

◇折角恢復しかけた日支親善工作のためにも、一日もはやく快癒せんことをいのる。

愛戀十字街 (118)

淺原六朗 作
橋本八百二 繪

霧雨(一)

人間は絕望の最後に押しすゝめられた時、絕望に負けて命を捨てると云ふやうなことは少いものである。ヂリヂリと絕望なものに刻まれて行く途中にだてこそ、むしろ拒みきれない死の誘惑を感ずるものである。

明子の場合もさうで、彼女は今すべてが決定した運命の底に立つてゐるやうな氣がした。

彼女は自分が青柳を信じ愛したことが、いかに輕卒な、淺墓な取りかへしのつかない過失であるかを知つたけれど、また、それと同時に彼女がかつて大切にしてきたものの凡てを奪はれ、失つたことを知つたけれど、この絕望的な悲しみのなかで、死なうとは考へなかつた。

一番惨めな、一番淋しい自己に立ちかへつて、また新しく運命にこらへて生きて行かうと考へた。

彼女は榮子のやうに捨てられたことを憤んで、復讐を企てようとも、青柳のあとを求めて探しまはらうとも想はなかつた。凡てが宿命に終つたことが感ぜられたからである。

絕えまなく襲つてくる嵐のやうな苦惱に對抗して、彼女はぢつと理性的に自分の身を保持した。彼女はそれだけ、情にはこまかくとも、誇りした性質があつたのである。

たゞ、母のこと、妹のことを考へた時、體をもみ碎きたいほどのつらさがあつた。かつてあれほどに激しく反對した自分の感情を押へ、娘の幸福を願ひだした母に、この慘めな、すつかり疲れはてた現實を告げ知らせることが、どうして出來やう。彼女は追はれる者のやうにこのアパートを立ち去らうと決心した。何處か小さな貸間をみつけ、そして職業紹介所に行つて、職をみつけようと想つた。そして同じ働くなら、社會の哀れな人々の爲に、自分の身を一生犧牲にしてもいいとはない處で働きたいと想つた。彼女は愛のために自分の身を過つたが、今度はもつと大きな人間愛のなかに生きて、自分の貧しい生き甲斐を求めたいと想つたのである。

この四、五日の苦しみの爲に、體は針金のやうに痩せてしまつたやうな氣がした。そして力も體からぬけてしまつてゐたが、翌日明子は、自分の身のまはりのものをまとめだした。午前中かゝつて、やうやく片づけ終つてほつとした時、扉をコトコトと叩く者があつた。

明子はぎよつとして、扉の方をしばらく眺めてゐた。青柳、森、そんな名前が頭の中を走つたが、再びもどつてくる青柳も考へられないことだつたし、森が昨日の今日訪れるとも考へられなかつた。それに御子なら、つらいと想つた。それこそ自分が一層惨めになるやうな氣がしたからである。

扉はまたコトコトと遠慮がちに叩かれた。明子はまだぢつと默つて、乾いた眼で、扉をながめてゐた。彼女の疲れきつた神經は、怯えたやうにふるへてゐて、恐ろしいことが、再び扉のそとに待つてゐるやうな氣がしたのである。

扉のそとでは、澁り氣のない透つたあかるい聲がした。

「いらつしやらないのかしら」

「お姉さま」

その聲をきいた時、明子は全身をざわざわとさせながら立ちあがつてゐた。

外・山・本・部・隊・の・精・華

柳條溝一番乘りの島本部隊長來る

馬占山討伐の濱本將軍も再び感激の征地へ

チチハルの馬占山攻略、熱河の征戰等に數々の武勲を建て、少將に昇進して去る三月部隊を率いて凱旋した濱本部隊長並に柳條溝の戰ひに一番乘りの偉功を樹てた島本大佐(當時奉天獨立守備隊第二大隊長)も、その麾下となり今回の交代部隊の指揮隊長として再び滿洲

守備の 第一線に返り咲き、二日晴れの入滿を爲した、陸軍運輸部大連支所の待合所において濱本部隊長は語る

部隊の廻り合せからこんどまたやつて來た、どうも滿洲の方がピッタリ合ふやうだな、この前は熱河やチチハルに働いたが今度は土地が變つてまた珍らしいこともあるだらう、内地は梅雨でジメジメしてゐたがこちらはからつとしてゐていい氣持ちだ事變前駐屯して大變お世話になつた濱陰の方々が今日わざわざ大勢出迎へに來て呉れたよ、吾々は非常に御迷惑かけたものだつた、いつもながら在滿同胞の

誠意には 感激す る、將兵一同は極めて良く軍の使命を諒解して粉骨碎身皇國のため盡すことを覺悟してゐる、この任務遂行についても同胞の格別な御後援をお願ひして止まない次第である

また島本大佐は語る

僕は昨年八月凱旋したばかりで第二の故郷に歸つた氣持だ、内地氣分十ヶ月にして再び滿洲の土地を踏むのであるが、内地に居る間と雖も一分も滿洲國を忘れる事は出來ない、僅の間内地にあつて滿洲に來て其の日進月歩の状況を目撃していふにいはれない喜びを感ずる次第である在滿同胞各位が既に考へて居る事と我々の考へが全く一致して居つたのは非常に愉快に感ずる殊はくば日本人の通例として互に相爭ふと云ふ事があるからどうか在滿同胞は一致協力して國家の使命に

邁進し て欲しいもので ある、大連に上陸して直に感ずる事は旅順の戰跡で茂高の先輩が血を流して居る事を考へれば如何なる難關に遭遇しても七度生れ變つてまでも滿洲に對する國策を遂行しなければならぬと云ふ事を沁々感ぜしめられる、大連到着後部下將兵が忠靈塔、大連神社に參拜したのも其の考への發露に外ならない

大和魂の息吹に涙ぐむ婦人連

こゝ埠頭に全國民の熱誠凝り感激のシーン展開

外山本部隊長以下皇軍將士上陸第一歩の二日朝の埠頭は皇軍兵士歡迎の異常な感激的賑ひを呈した、午前八時半の上陸を控へて早くも七時ごろから埠頭待合所屋上は

歡迎の 人々でごつた返し、市内各團體の國旗が靜粛と觸風にはためく中に、エプロン、襷に純白の運動帽を被つた國防婦人會員は陽光に照りつけられながらチッとタラップを降りる皇軍兵士を感謝と慰勞の眼でみつめ、同十時外山本部隊長が吉富大連鐵道事務所長の案内で埠頭玄關階段を上れば、待合所屋上から降りて玄關

わきに整列の一般市民、各團體代表は一齊に萬歳を三唱、おゝこれこそ大連市民否全日本國民の聲なのだ、同十一時島本、梅村各部隊が軍旗を先頭に、喇叭の響きも勇ましく高らかに夫々北公園、電氣遊園に向ふ後を、埠頭附近の市民全部、魅せられた様にこの我等の兵士を見送り、中にはこの盛上がる

大和魂 の息吹きに打たれてハンカチで眼を拭いてゐた婦人も見え、一種悲壯の情景を呈した

盡忠の英靈に先づ玉串を

本部隊長忠靈塔へ

大連市催の歡迎會を終つた外山部隊長は直に自動車で副官を隨へ、大連憲兵分隊の自動車を先頭にして午前十一時埠頭を出發、同十五分大連神社に到着、神官の案内で神前に進み參拜した後、同十二時三十分大連神社を出發、盡忠の英靈靜かに眠る忠靈塔へ同四十分到着、砂利の參道を靜々と進んで獻詞を捧げ、玉串を奉奠、署名帳に昭和十年七月二日、第〇〇〇隊外山豐造と墨痕鮮かに署名した、斯くて忠靈塔よりけふ戎衣を解き一日の憩ひをとる遼東ホテルに午後零時入つた

滿蒙の護り双肩に 力強き此言葉

歡迎會の外山將軍

大連市主催の外山本部隊長以下將校の歡迎會は二日午前十時半埠頭待合所において小川大連市長、野市助役、吉富大連鐵道事務所長、田中要塞司令官、岩井在郷軍人大連聯合分會長、高橋中將、奥村陸軍運輸部大連出張所長、山崎商議理事その他多數官民列席のもとに開催された、定刻吉富大連鐵道事務所長の案内により外山本部隊長は幕僚を隨へ着席、小川大連市長は

滿洲國の發達は全く皇軍各位御力の賜物であります、滿洲國は治安維持未だ全からず、今後とも皇軍各位の御力に俟つものが多々あると信じます、何卒皆様の御奮闘を希望いたします

と挨拶し、外山本部隊長以下幕僚の健康を祝して一同乾杯すれば、これに對し外山本部隊長は

皆様の期待に背かない様にやる積りです、今迄も隨分大連市民の御世話になりましたが、今後とも御援助の程御願ひ致します

と答へ、それより一同ビールと軍菓、するめで乾杯し合ひ、その間國防婦人會員が斡旋し席會裡に同十一時閉會した

皇軍部隊慰問　井上氏來連

大阪府教化團體聯合會心之華會幹代表者井上文成氏は去る五月下旬國防戰果、皇國の守り及びお護り札各一萬個を携へて來滿し、關東軍司令部を始め北滿第一線の皇軍部隊に慰問品として配布すると共に滿洲國宮内府にも獻上し更に北滿駐屯部隊を約一ケ月間に亘つて慰問し二日來連した

同氏は三日出帆の扶桑丸にて歸國し、來る八月慰問品を携へて再び來滿、熱河部隊の慰問の旅に就く筈である

學聯軍を迎へる全滿軍の堅陣整ふ

期待される激勵競技

南滿洲陸上競技協會主催の渡歐學聯陸上軍一行の激勵陸上競技大會は愈々六日午後三時半より(雨天の場合は七日午後二時)大連運動場にて舉行されるが、滿洲側選手の銓衡は一日午後二時より滿鐵運動會に役員總會、技術委員會を開催、隊伍順序及び選手左の如く決定した

◇學聯軍　總監督工學博士山本忠興、監督織田幹雄、大島鎌吉

◇滿洲軍　監督仲田周一、主將西貞一

◇百米　▽學聯谷口睦生(關大)鈴木聞多(慶大)矢澤正雄(專大)原田正夫(京大)村上正(早大)▽滿洲西貞一(滿鐵)張星賢(滿鐵)吉住猛(滿鐵)太田正明(滿鐵)池田敏(大一中)

◇砲丸投　▽學聯菊本耕作(文理大)大江季雄(慶大)▽滿洲吉村勝清(滿鐵)安部二郎(滿鐵)林十郎(滿鐵)伊藤一雄(滿鐵)

◇八百米　▽學聯吉地球磨男(立大)田中秀雄(中大)村社講平(中大)▽滿洲濱口晃(滿鐵)金子義敏(滿鐵)

◇二百米　▽學聯谷口睦生(關大)鈴木聞多(慶大)矢澤正雄(專大)

◇走高跳　▽學聯朝隈善郎(明大)田中弘(早大)村上正(早大)西田修平(早大出)▽滿洲武内友章(滿鐵)桝本正延(滿鐵)岡田和好(滿鐵)

◇學聯軍 …… 濱田常盛(滿鐵)渡邊健次(滿鐵)濱中幸一(奉天)

◇走巾跳　▽學聯田島直人(京大)原田正夫(京大)大島鎌吉(關大出)村上正(早大)▽滿洲張星賢(滿鐵)金子義敏(滿鐵)岡田和好(滿鐵)

◇四百米繼走　▽學聯谷口睦生(關大)鈴木聞多(慶大)矢澤正雄(專大)原田正夫(京大)村上正(早大)▽滿洲西貞一(滿鐵)張星賢(滿鐵)吉住猛(滿鐵)太田正明(滿鐵)池田敏(滿鐵)井上勤(滿鐵)

◇千五百米　▽學聯田中秀雄(中大)青地球磨男(立大)村社講平(中大)▽滿洲北本健二(滿鐵)金國鳳(滿鐵)濱田常盛(滿鐵)關戸年男(岩倉)

◇三段跳　▽學聯田島直人(京大)原田正夫(京大)大島鎌吉(關大出)西田修平(早大出)▽滿洲金子義敏(滿鐵)岡田和好(滿鐵)

◇四百米　▽學聯鈴木聞多(慶大)矢澤正雄(專大)青地球磨男(立大)▽滿洲張星賢(滿鐵)西貞一(滿鐵)井上勤(滿鐵)吉住猛(滿鐵)池田敏(滿鐵)

◇棒高跳　▽學聯西田修平(早大出)大江季雄(慶大)朝隈善郎(明大)▽滿洲久恒木應(滿鐵)安部二郎(滿鐵)

◇槍投　▽學聯長尾三郎(關大)菊本耕作(文理大)▽滿洲吉住猛(滿鐵)岡田和好(滿鐵)米津午郎(滿鐵)

◇五千米　▽學聯田中秀雄(中大)青地球磨男(立大)村社講平(中大)▽滿洲北本健二(滿鐵)金國鳳(滿鐵)濱田常盛(滿鐵)關戸年男(岩倉)

◇高跳 …… ▽學聯村上正(早大)原田正夫(京大)▽滿洲米津午郎(滿鐵)久恒木應(滿鐵)内友章(滿鐵)山田俊夫(滿鐵)

◇圓盤投　▽學聯菊本耕作(文理大)大江季雄(慶大)▽滿洲林十郎(滿鐵)伊藤一雄(滿鐵)吉住猛(滿鐵)安部二郎(滿鐵)

大連より **長崎鹿兒島行**

=九州への最短連絡航路=

淡路丸

大連發五日午後四時(九番バースより出帆)

長崎着　七月八日午前八時

鹿兒島着　七月九日午前十時

	長崎	鹿兒島
一等	二八圓	三二圓
特別三等	一四圓	一七圓
三等	一二圓	一五圓

近海郵船代理店　日本郵船大連出張所

谷孫六氏長瀬商會を去る

谷孫六のペンネームで知られた矢野正世氏は數年來花王石鹸長瀬商會取締役支配人の職にあつたが今回病氣靜養のため辭任した

天氣豫報(三日)　南の風　晴一時曇

滿潮(午前一一時四五分・午後一一時五五分)
干潮(午前五時・午後六時三〇分)

“不可解な摘發”

檢察局に喰つてかゝる辯護人　新興賭博事件公判

各辯護人の舌鋒一齊に檢察官に向けられ緊張裡に進行しつゝある新興倶樂部賭場開帳被告事件の公判二日目は二日午前九時三十分から關東地方法院一號法廷で開廷、櫻野辯護人今中被告のため立ち、前日の檢察官論告に反駁を加へ、社會政策を論じ

最後に 新興倶樂部合併前大連市中に十餘ヶ所の賭場が開張されてゐた際、檢察局はこれを對岸の火災視して居りながら、一ヶ所に合同してから檢舉の手を下したといふ實態は那邊に存るや、市中に大賭場が散在してゐた時に何故手をつけなかつたか、これは行政處分に止むべきである、現に一ヶ所の賭博場は行政處分を受けて濟んでゐる、況んや關東廳首腦者がやれやれと慫慂して事業開始したものを、刑事事件として摘發された點は不可解である

と檢察當局に喰つて掛かり約一時間半に亘り熱烈な無罪論を主張した、次で高橋辯護人が今中、武田、佐志四被告の辯論に立つ檢察官は被告一同を共同正犯として起訴しゐるが、これには疑問がある

と前提し、檢察局に於ける論告の内容に就きいちいち食ひ下る、同辯護人は更に

滿人 と賭博罪について論じ、滿人被告の無罪を主張する所あり、正午一先づ休憩、午後一時から事實論に就き高橋辯護人の續行辯論あり、更に田村辯護人の辯論に移る

毎度ありがたう御座います
愈々六月十五日より電話にて御用命を承る事に致しましたから精々御利用を御願ひ致します
電話　本局二―三二二八番
　　　本局二―四六六九
(マ)　マメタク

輝く聖軍を迎へる

〔上〕忠靈塔參拜の外山本部隊長〔右〕同所にて署名する外山將軍〔中右〕島本部隊長〔中左〕濱本部隊長〔下〕大連市主催の歡迎會

親鸞聖人（260）

女人篇

吉川英治作　山村耕花畫

火焔舞（三）

「どうだつた、樣子は？」

四郎が、蜘蛛太に聞いてからいつた仕組は、明日の夜、仕事に入らうと目をつけてゐるさる長者の家邸へ、敏捷なこの小男に、あらかじめ探りにやつたものであつた。

「だめですぜ、あの邸は」

「そーか、見かけ倒しか」

「さうでもねえが、五十日程まへに、こちとらがあの村は荒してあるので、長者の親爺は、腕の出来る郷士を、大勢召抱へて、今度賊が來たら、村の者とも合圖しておいて、一あわ吹かせてやると待ちかまへてゐるんです。——そんな所へ押し驅けて行つてごらんなさい、これだけの人數が、半分も生きて歸るはずはない」

「そいつァいけねえ」

天城の四郎も、生命が惜むべきものであることは知つてゐた。

「ぢやあ、ほかは何うだ」

「あつち此つちと、見て廻つたが、どこだつて、戸じまりのゆるさうな邸はねえ。こゝは、楽に忍べると思へば、金けも什器もねえから ん凋だし、こゝには、みつしりと金がうなつてるなと思ふやうな邸には、今云つたとほり、用心棒が頑張つてゐるといつたやうなわけで」

「だん／＼、世の中が窮屈くなつた……」

四郎はやゝ興を失つた。

「源氏や平家の有象無象が、討ちつ討たれつ、双六の骰子みてえに天下の土地をあげき合つてゐた頃には、こんな時代にも、金目な鎧や太刀を佩いた死骸が野良犬に食はせて捨てられてあつたし、俺たちも、どこの邸へ火を放けようが、女をさらつて來ようが、咎める奴はなかつたもんだが、戦がやんで、侍が役人になつて、百姓が豐年萬作を難るやうになつちやあ、もう、俺たちの方が上ッたりで、すつかり仕事が窮屈くなつてしまつた。——どうもこの頃の世の中はおもしろくねえ」

述懐して、暗に乾分たちへも、この頃の收穫の貧しい理由を云つて聞かせると、蜘蛛太は、小賢しい眼をかゞやかし、

「頭領、さう落膽するにもあたりませんぜ。こんな時にやいつでも用の便じる金箱を頭領は持つてるはずぢやありませんか」

「金箱を」

「忘れたんですか。——前の聖光院の門跡を」

「綽空か。あいつの事も、思ひ出さねえではないが、今では、法然上人の門にかくれてゐるんでは何うにもならねえのだ。俺は、いちど吉水へ忍びこんで、法然房と問答したことがあるが、あの上人だけは何だか怖い氣がして、二度と、吉水へ行く氣になれねえ。それに、あの吉水院の僧房には、平家や源氏の侍くづれが澤山ゐて、下手に觸りでもしたら飛んだ眼にあふからな」

「ところが、そんな心配は御無用といふやつですぜ。綽空は、ついこゝから二十町ばかり先の岡崎に住んでゐるんで」

「岡崎に？」

四郎は、眼を光らせて、

「そいつは初耳だ。ほんとに岡崎にゐるとすれば、俺たちにも、又美味い酒を飲ませてやれるが…」

と云つた。

舞踊界の花形 吾妻春枝 本月末來滿

播磨屋一行の東京大歌舞伎は壓倒的な人氣で全滿各地を巡演中であるが、折も折市村羽左衞門を父に持つ吾妻流の家元吾妻春枝の來滿が決定、全滿舞踊界より早くも待望されてゐる、吾妻春枝の初舞臺は六歳の時で、十五の年に藤間勘右衞門の名取りとなつた天才、帝劇歌舞伎座等の舞臺より二十歳の時春樹會を創立、二十五歳で吾妻流の宗家家元四世を襲名し、現在わが國の舞踊界では屈指の舞踊家で、その「娘道成寺」「櫓のお七」「お夏狂亂」「鏡獅子」等は定評あるものである、今回始めての滿洲訪問であるが、七月下旬大連着、順次滿鐵沿線各地において舞踊を公演する筈である（寫眞は春枝の「娘道成寺」）

私語線

一日より當館が新興キネマ二番館として更生、花環、提灯の飾りもにぎ／＼しく蓋を開けたが、第一日は晝夜共好成績で大入札が景氣よく躍つてゐた▲中でも目立つたのは美濃町方面のキレイ處の「一寸ノゾコウか」連中の出入りの多かつたこと▲日活館は米若浪曲映畫大會で「佐渡情話」と「乃木將軍」の二本立て三十錢均一、果然大當りして午前十時の打込み時から引つきりなしの殺到▲殊に夜間は物凄く、どうにも收容しきれなくなつて一回多く上映することになり閉館は午後十一時半、再映ものゝ記錄的な成績を示してゐた

『丹下左膳』　本社後援　讀者優待

奉天新富座 目下上映中　新京キネマ 十六日より

特産大瓦落から 錢莊取付を誘發

大連財界の混亂(一日午後記事解禁)

大連特産場市は既報の如く六月二十五日の前場に至り稀有の大瓦落となり極度の恐怖相場を示現し一部錢鈔業者中に取付騒ぎさへ起り殆ど恐慌に近い狀態に陷り特産、錢鈔界は無論のこと滿洲經濟界全般に對し多大の衝撃を與へ成行深甚の注目を拂はれたが、恐怖相場の常として人心は極度に動搖し種々の浮說蜚言亂れ飛びこれを放置するにおいては波紋の擴がるがごとく如何なる事態を惹起するやも測り難くこゝに警察當局は同日午後を期し記事揭載禁止をなし事態の推移を注視することゝなつた、その後同市場は思惑マバラ筋の退却と仕手一巡につれ漸次人氣も鎭靜に歸し且つ銀行方面も特産資金回收に當つてもこれが取立を緩和するなど態度を緩慢化するに至りかくて一時は周章狼狽せる特産、錢鈔界も回復步調に轉じ來り先行最早や憂慮すべき事態の發生せざることが明かとなつたので一日後禁止を解いた

落による損害から滿人間の不安買ひ一時に三十萬圓程度の預金取付けに遭ひ二十二日つひに休業し不安人氣を釀成してゐた折柄二十四日に至り再び同樣大手筋たる福順義が破綻に瀕したと傳へられました同日から二十五日にかけ小崗子方面の小錢莊の危急いよ〳〵甚だとなるに及んで二十五日前場の大連特産市場は現物大豆寄付は前日の三圓八十錢搦みに對し三圓五十二錢を唱へるマバラ客人筋など現れ買手も亂れ飛び一時場面は騷擾化し特産市場立會

停止

の危機さへ孕む有樣であつたが、取引所當局の機宜よろしきを得た取計らひにさしもの

雙盛泰休業で 錢莊軒並み取付

小崗子滿人金融梗塞

大連における錢莊の一齊取付けは事變後曾てみなかつた事件で滿人側財界に多大な衝動を惹起した、取付けの導火となつたものは雙盛泰錢莊が特産市場での損失を喧傳されて一時に三十萬圓近くの預金引出しに遭ひ遂に二十二日午後休業發表の止むなきに至つたにより同店は嘗て錢莊、特産兩市場にかて有數の大手筋として活躍し資産內容も確實とみられてゐただけに滿人側に與へた心理的打擊は甚大で引續き大豆相場の暴落から益々不安人氣を煽り遂に二十五日に至つて小崗子方面錢莊は軒並み取付け狀態に陷り小崗子商會長龐睦堂氏の經營する福順義銀號、泰發祥の二店が休業を發表し、新業銀號

も大口支拂延期を懇請する等小崗子滿人金融機關は全く杜絕するに至つた、今回の取付けの直接原因は特産暴落に依る損害にあり錢鈔市場相場は平靜を保つてゐたが、現在推測される休業三店の損害は雙盛泰約五十萬圓、福順義は日本側各銀行の貸付金凡四十六萬圓が回收不能にあると云はれ、泰發祥は客筋の損害七萬圓をかぶつたもので泰發祥は比較的損害輕微で遠からず開業の運びに至るものとみられ、雙盛泰は目下店主が靑島に赴いて奔走中で福順義と共に所有不動産整理の上は對外債務の支拂可能とされてゐるが一應は廢業し改めて復活するものと豫想されてゐる

原因を作つた 特産界の不安

海外の實需生れず 手持筋の思惑はづれ

滿洲特産界は本年度の農作物二割減收ならびに需給推定八十六萬噸不足を材料に思惑筋の買煽りとなり一方金融方面は昨年度における特産大暴落による不況克服の意味もあり特産金融に對し放漫的態度をもつて臨んだ結果果して滿洲特産相場は文字通り天井知らず

奔騰

となり大豆は五圓臺を突破して昭和八年來の新高値に上り高粱また四圓臺を示現し數年來曾てみぬ騰騰振りを示したが、特産の死命を制する海外の實需はこれに伴はずこゝに不安豫想が逆に三、四十萬噸端境期に持越すこと確實となりこの間の喰違ひに手持筋が狼狽し五月初旬より思惑筋の煽氣濃厚化し相場は暴落の一途を辿りつゝあり、端午節前後より資力薄の滿華商側の倒産は哈爾濱奉天等奧地方面に頻發する狀態であつた、大連市場においても同樣で特産の値下りに多大の打擊を蒙つた錢鈔業者は危急に瀕する一方特産商は極度の金融

逼迫

に見舞はれ成行き懸念されてゐるが、六月十五日の第一次瓦落で一應底を突いたかたちでその後相場も小高下に凡調を辿つてゐたところ同月下旬に入るや特産、錢鈔兩市場に大手筋として活躍しつゝあつた雙盛泰が特産暴

滿洲苹果に黎明來る

燻蒸で蛹も卵も 確實に死滅する

月餘の試驗で成功

受難に受難を重ねて來た滿洲苹果に明かな凱歌が揚げられ、日本向輸出禁止解除の曙光が輝き初め、州內、南滿一帶に及ぶ數千名の果實栽培者を歡喜の絕頂に置くニュースが齎された、蛆虫喰蟲の災害を被つた滿洲苹果が昨年輸出禁止を見て、硫黃燻蒸によつて幼蟲のみは殺し得ることが證明されて昨年九月より今年三月末までの期限附解除となり、關東州南滿一帶の業者は愁眉を開いてゐたが、三月末再び禁止狀態に入り、近づく苹果出荷期を控へて憂色濃きものがあつた、然るに去る五月末州廳殖産課並に業者等の運動奏功して農林省は上遠技師を派遣、幼蟲同樣蛹並に卵も硫黃燻蒸によつて果して死滅するや否やを試驗せしめることゝなり、爾來一ケ月餘を費して上遠技師は金州の關東農事試驗場において中富場長その他と親しく生態研究並に燻蒸試驗を行ひ去る一日に至つて遂に蛹、卵も完全に燻蒸によつて殺し得ることが明かとなり、二日午後より上遠技師は州廳を訪問、田中殖産課長等に報告を行ふことになつた、右につき中富試驗場長は語る

詳細は上遠技師が來旅報告されるでせうが、要するに蛹と卵が硫黃燻蒸によつて確實に死滅することが技術的に證明されました卽ち最早滿洲苹果輸出禁止も理論的には根據はなくなり全世界を大手を振つて步ける譯です

奉天官消組合

當局は斷乎反對

【奉天電話】各地の官吏消費組合設立計畫は着々進められつゝあると の本紙の報道は地元商人の神經をいたく刺戟し問題の成行に對し深甚なる注意を拂ひつゝあるが省公署首腦部間には本問題に對し左の如き見解を持し消費組合設立は絕對容認せざる方針なる旨、竹內總務廳長より石田會頭に決意を披瀝し諒解を求めるところがあつた、卽ち

滿洲國官吏としては解決を急ぐべき內外重大案件輻湊し到底消費組合問題を顧るいとまがないまた奉天においては各種の商業機關完備し日常品を得るに何等不便を感ぜず、直に消費組合を設立する必要を認めない殊に奉天は滿洲國官吏と一般市民の融和協調が他地に冠絕してうまく

朝鮮總督府 海外特派員

【新京二日發國通】朝鮮總督府では朝鮮産品の海外進出促進を計るべく十一年度に五萬圓の經費で新京、大連、奉天、上海、ジヤヴアに海外特派員を駐在せしめることゝなつたがこれは最近朝鮮でも國內工業の發達と同時に大い

第一・四半期鐵道收入

昨年より 百五十萬圓減

特産・石炭が荷動き減

滿鐵々道部の十年度第一・四半期たる四月以降六月末日までの三ケ月間の社線鐵道收入は二千九百五十三萬一千百六十五圓で前九年度累計に比して百四十六萬一千四百四十五圓減少してゐる、これは客車收入は前年度に比し九十一萬餘圓の黑字で昨年のレコードになは本年は旅客の激增を示し滿洲の繁榮を物語つてゐるが貨車收入は昨年度に比して二百七萬餘圓の減少となつてゐる、貨物は昨年度に比して一般に減少してゐるが社內石炭の五十四萬餘圓の減少は地場炭が增加して輸出炭が減少せる事實を示しこれは滿鐵全般の成績よりみる時は良好なるものである、社內一般貨物、社外一車扱も共に減少してゐるが社內一車扱の減少は不作及び相場の關係による特産の輸送減少を示したものでその代りに社外小口扱は昨年に比し十五萬餘圓增加してゐることは輸入貨物たる雜貨類が增加してゐることで日滿の經濟關係の活潑なるものを示してゐる、特産輸送の不活潑なることは倉庫收入においてこれを看取することを得、卽ち現在社內在貨百萬噸以上あり明年度に比して一倍半の收入增を示してゐることは興味ある事實である、然し作ら五月下旬の如き鐵道收入が昨年累計に比して二百萬圓の赤字なるものを漸次特産輸送が增加して百四十六萬圓の赤に追ひついたことはなは今後特産相場の動き一つで收入激增をみるべく再び昨年度の創業以來の收入レコードに追ひつき追ひ越す勢ひは將來にかゝつてゐる、六月三十日締切收入及び昨年度累計對比を示せば次の如くである(單位圓)

內譯	本年度累計	昨年度對增△減
客車收入	[illegible]	[illegible]
貨車收入	[illegible]	[illegible]
社內石炭	[illegible]	[illegible]
社內一般	[illegible]	[illegible]
貨物	[illegible]	[illegible]
社外一車	[illegible]	[illegible]
同小口	[illegible]	[illegible]
諸口收入計	[illegible]	[illegible]
倉庫收入	[illegible]	[illegible]
總計	[illegible]	[illegible]
貨物噸數	[illegible]	[illegible]
社內石炭	[illegible]	[illegible]
社內一般貨物	[illegible]	[illegible]
社外貨物	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]

大陸窯業

大陸窯業株式會社は大正八年三月の設立百萬圓(四分ノ一拂込)の資本で既設諸工場を買收し大連を本據に上海、哈爾濱外沿線八個所に支店、支工場を配置して華々しくスタートしたものである、製品は陶管土管、空洞煉瓦、耐火煉瓦、市場瓦、セメント瓦、モルタル管、セメントタイル等、ところが大正十一年財界の不況で五十萬圓(全拂)に減資し大連、撫順、新京の三工場を殘し他の工場は閉鎖或は賃貸するといふ狀態に立至つた

◇

マークは大正十五年に「大窯」を圖案化したものを採用したが昨年二月カクトの如きモダーンなマークに改められた、出所はコンチネンタル、セルミチク、カンパニーの頭文字だが一見するとС露西ロシアの略稱である、エス・エス・エルに見え、同社

營業成績は創立當初こそ一割配當をしたが、それ以來十有五年赤字吉杯のなめ通しで滿洲事變後の好況も同社にとつては總石に水、それでも昭和九年には黑河、撫順、濱江、白城子、牡丹江に煉瓦工場を設立したからこゝらで名譽回復に一ト踏ン張りせねばなるまい

◇

社員が奧地等を旅行すると憲兵の訊問に惱まされると云ふからこれもマークロマンスの一つである

滿洲商社のマーク 六十

手形交換所に

奉天郵便局が加入

便利になる爲替業務

【奉天電話】事變後急激に發展した奉天の商工界の新情勢や日滿間爲替業務の異常な發展に善處するため奉天郵便局では來る五日より手形交換所に加入し組合銀行と提携することゝなつた、卽ち從來郵便局の通常爲替、電信爲替、小爲替、振替拂出證書、外國爲替、日滿爲替等は郵便局の窓口以外には拂戾しを受けることが出來なかつたが、今後は自由に銀行にて現金の拂戾しを受け或は預金することが出來ることゝなるのみならず組合銀行宛持參人拂の小切手で自由に爲替の發行や預金をなし得ることゝなる譯で從來の不便を一掃し商工業者の受ける利便は蓋し甚大なるべく大なる期待が寄せられてゐる

貿易局顧問 初會合

【東京二日發國通】商工省では現下の貿易非常時に對處する爲め貿易局に顧問制度を設け、顧問六名を任命したが十日午前十時商相官邸で第一回會合を開催する筈

下期起債市場 弗々賑ふか

【東京二日發國通】平穩期明けの下半期金融市場は從來的現象も起らず、低金利的傾向を帶びつゝ依然總體に推移するものと觀られ上半期にて內外の不振の起債市場も金融情勢の軟調に惠まれ、下半期は不振の域を脫し活況を呈する模樣で、この情勢を受け一日早くも大物として大阪市債三千二百萬圓の借換へ發行をみてゐる

西瓜高値

滿々出廻旺盛期に入り各地より輸入されてゐる先づ九州物は、地の利を得てその順調な輸入を示してゐるも未熟品の爲め相場は芳しからず、これに對抗する土佐物は良品であるが輸送に兎角不便を感じ入荷順調を缺き多少の狂ひを見る一日の出來値は伊豫物一圓五十、下關物二圓八十、土佐物四圓一錢何れも俵入で高値

枇杷薄商內

入荷一段落を見るが伊豫物弗々の少量入荷に拘らず不良品のため人氣失ひ不活潑の薄商內

伊栗

滿洲における需要は順る良好で昨年四百五十個程度の極めて少量であつたが、本年は早くも一千五百個を示し尙相場も強調を呈し一日の出來値は小瀧特天印高一圓四十五錢、特印一圓七十錢の成行を辿つた

黄塵

◇…特産、錢鈔の二大部門に亘る大連經濟界の混亂の大動搖は記事掲載禁止で鎭靜を待つてゐたが漸く解禁となつた。

◇…特産の思惑買ひが錢莊に反射し、その捲り返しが又特産にぶち當つて、まるで音波の重複が「唸り」を生ずるやうに騷ぎを大きくした。

◇…去年の末から強氣筋は聊か調子に乘りすぎた恰好であるが、しかし、彼らといへども盲滅法に長驅したわけでなく、背後に特産金融の後援を頼んでゐたことは明かな事實。

◇…特産金融を引締めれば、デフレだ、特産對策が無能だと嫌味をいはれ、といつてあまり提灯を持つてやると世界の大勢に抗して今度のやうな目に會はぬとも限らぬ。

◇…特産問題が全く生やさしい問題でないことはこれでも判らう

特産 市況(二日)

閑散裡に 大豆弱保合

けさ大豆は南支筋買に弱保合ひ、豆粕は油坊筋の買戾しに強保合を辿り、豆油は現物保合、高粱は奧地筋買あり強調を告げた

◇定期前場(銀建)

定期喰合高(一日)

出廻(一日)

現在在高(三十日)

錢鈔

無材料に 釘付け

海外銀塊倫敦、紐育同事、米英クロス八分一安、米國二安、日英同事、滙申は百八圓十五錢と辿り、當市は上海市場休會は活潑を缺き保合ひを脫す

◇定期前場(單位圓)

◇現物前場(單位圓)

豆

去る二十五日の恐怖相場ならびに錢莊の取付け騷ぎが昨一部記事揭載禁止されたが▼東來一週間の動きを觀ると大した破綻もなかつたやうだ、一時は社會化するやの氣配さへ見られた大事に至らず▼滿華商側の張り強さを示すに十分であつたさしもの上海金融恐慌をも孕みつゝも爆發しないで同樣、支那人の特異の經濟關係が表れてゐる▼然し過般の特産の恐怖相場は滿洲經濟における其の意義を認めることは今後もつとも大切つ切實の課題だ

銀

海外銀塊は殆ど變らず、上海市場…

株

株式

材料薄乍ら 蹤り氣配

北滿長期大新二圓高、鐘紡十錢高、新東同事、東京十錢高、鐘新八十錢高、安と昨後場に引續き強調市はこれを好感して大幅…

◇前場 ◇定期(單位圓)

商品

伸び力乏しく 鈍狀を辿る

三品不振に 見送る

大阪株式

東京株式

大阪期米

東京期米

神戸期米

大阪綿糸

大阪棉花

横濱生糸

印度麻袋

市場電報(一日)

銀塊及爲替

神戸日米

棉花

大連卸相場(二日)

市況 果實は順調な入荷に賣行きも良好を示し、野菜は大して變化なく賣行は鈍い、小野菜は一寸下押氣配を示した(單位錢)

▲內地物 ▲地物 ▲魚類 ▲鮮鮮物 ▲州外物

手形交換高(二日)

爲替相場

鈔票

奧地相場

錢鈔

謹告

從來大連、奉天、新京及哈爾濱各支店にて弊商會名義の下に經營罷仕候一切の業務を自今亞細亞貿易株式會社に引繼き同社にて營業可致候につき此段謹告候也

西暦一千九百三十五年七月一日

フレザー フェデラル商會

謹告

多年フレザーフエデラル商會大連、奉天、新京及哈爾濱各支店に於て同商會名義を以て營業し來りたる一切の業務を今回弊社に繼承自今亞細亞貿易株式會社名義の下に營業可仕候間略儀ながら紙上を以て謹告候也

昭和十年七月一日

亞細亞貿易株式會社 電話二・五四七三番

追て本社は大連市山縣通百五十四番地に設置仕候

滿洲日報

朝夕刊共十四頁

發行所 大連市東公園町三十一番地 株式會社 滿洲日報社

北支投資會社の内容
これを母體に事業會社設置
日滿支三國の資本糾合

【新京電話】滿洲國政府では過般北支方面に特派せる財政部囑託高橋龍吉氏及び橫山理財科長、實業部美濃部文書科長の報告並に土肥原少將の意見に基き、停戰協定區域内における日滿支經濟ブロックの結成の具體化を圖るべく十分に研究を進めつゝあつたが、關東軍、滿鐵、東拓及び滿洲國財政部、實業部等の聯合協議會の結果、大體の具體的大綱を決定、直に中央政府及び日本財界との交渉に乘り出すことになつた、計畫の内容は左の如くにして日本は勿論滿洲、支那の資本を糾合する巨大な投資會社で、眞に日滿支經濟ブロックへの具體的表現として注目されてゐる、即ち

一、北支における鑛業、商業、工業、農業等の發展に對し總括的投資をなす一大投資會社を設立

右會社は純然たる融資機關として滿鐵、東拓等の特殊會社が參加するも、日本內地資本の加入を認める

一、右投資會社を母體として各産業別事業會社を設立、これら會社は專ら日支合辦とし、日本側は資金を支出し、支那側は現物出資とし、この場合現在既に營業中の合辦事業會社はこれを改組擴充して當該事業に當らしむ

一、而して北支における資源並に産業現狀に照し、右事業會社中最初に活動が開始されるものとしては鑛山、交通、貿易、棉花栽培の四事業である

▲鑛業 [illegible]山中重要視すべきは石炭にして、山西省東北南部地方は殆ど一帶が炭田にして、現在出炭高は北部のみにて全支の六割を占めてゐる、現在既に同方面には山東鑛業會社がある

▲交通 經濟の根幹をなし、又治安維持の動脈をなす交通は專ら山西、察哈爾方面にまで力を注ぎ東方旅行社の擴充が計畫されてゐる

▲貿易 北支貿易の伸張を圖るべく彪大なるヒンターランドを有する天津その他重要貿易市の繁榮に努力する

▲棉花栽培 山東における滿鐵の棉花栽培融資を大規模に擴充し將來日本に必要な棉花は全部供給し得るまで邁進せしむ

以上の如くで、この一大投資會社設立に關して重大視される日本財界の資金投資問題も既に滿洲國政府、日本政府の協力により大體可能と見られ、一大投資會社の設立は時日の問題のみになつてゐる

北支更生の途へ
各機關の新首腦悉く就任
北平の治安維持さる

【北平特電二日發】北支問題の解決によつて北支那における暗雲一掃され、各機關に新任された首腦者の正式就任によつていよいよ更生北支の建設に第一歩を踏み出すことゝなつた、即ち河北省政府主席商震氏は二日天津より北平に到着、政務整理委員長代理王克敏氏と會見事務打合せをなした後、來る六日保定に赴いて正式に省主席に就任することゝなり察哈爾省政府主席に新任された秦德純氏は一日辭意を表明してゐたが辭意翻へし三日中に張家口に赴いて正式就任式をあげることゝなつた、しかして天津市長に新任された程克氏は一日既に正式就任式を擧行し宋哲元軍撤退後の察哈爾省内に配置さるべき新しい保安隊も既に編成に着手されまた北平市内の治安維持には既に商震軍の二千の部隊が當つてゐる、かくて永らく國民黨の獨裁下にあつて搾取に喘いでゐた北支は黨部の壓制から解放され强力なる親日政權の誕生に向つて進みつゝあり今後北支の繁榮を期待せしめるものがある

病める汪精衛氏
行政院長辭任か
北支問題の措置を非難されて
歐米派擡頭の形勢

【上海特電二日發】汪精衛氏が一日突如肝臓石病と稱して上海フランス租界の病院に入つたのは、北支問題解決に對する汪氏の措置が國民政府内部や黨部の反感を買ひ

窮地 に陷つたゝめで結局行政院長を辭するのではないかと見られる、即ち蔣氏て汪に反感を抱く歐米派は今回の北支事件に際しての汪氏の行動は蔣氏より全權を委任されたものとはいへ賣國的行爲であると非難を加へ黨部も北支の根據を失つた[illegible]の氣勢を揚げ政府部内及び黨部内における反汪熱は頗る盛んなるものあり、既に監察院においては黄郛、殷同、袁良、李擇一、陶尚銘、殷汝耕六氏に對し「親日賣國の徒」と斷定彈劾し、更に數日前國防委員會に於て于右任、居正等が汪氏の[illegible]を[illegible]するなど、反汪運動益々[illegible]となり、これに

對抗 して張群、陳儀、熊式輝氏等各省主席を招き會議を開きたるも四圍の情勢が最早これ以上對日政策を强行し得ず、四面楚歌に在るため病院に逃避したるものゝ如く、政府主席林森氏を始め各要人が慰留に努めてゐるが、再び南京に歸る意思なしと傳へる旨さへあり、行政院長の後任には早くも宋子文、孔祥熙、李石曾、吳稚暉、王正廷氏等が擧げられて居り、若し汪氏が辭職すれば誰が後任となるにしろ、歐米派の勢力擡頭は疑ひなく、從來の親日態度が變調するだらうと見らる

軍備充實と要求額檢討
陸軍省の豫算省議

【東京二日發國通】陸軍省は三日豫算省議を開き十一年度豫算の既定經費および新規經費につき考究することとなつたが、明年度要求額は

一、基本豫算二億五千四百萬圓
一、滿洲事件費一億四千萬圓
一、資材整備費約一億圓
一、航空および防空充實新規計畫初年度分約一億圓
一、兵備改善その他約二千萬圓

で六億圓を超えるものと見られてゐるが、陸軍の意向としては軍備豫算の充實は滿洲國の現狀並に現下國際情勢の重大性に鑑み絶對不可缺であるとなし强硬態度で臨んでゐる

岩越本部隊

【奉天二日發國通】昨年九月初より北滿一帶に亘つて實施されてゐた岩越本部隊特別宣撫工作は約十ヶ月の第一期工作を終り愈々近く第二期工作に移ることゝなつた

定例閣議報告

【東京二日發國通】二日の定例閣議は午前十時十五分開會、後藤內[illegible]相、山崎農相、內田鐵相、松田文相、床次遞相より關西並に九州方面における水害情況につき報告あり次いで廣田外相より出淵大使に濠洲を訪問せしめ、日本との通商關係の圓滑を計らしめる考へである、なほこれは曩に來朝したレーサム外相に對する答禮の意味も兼ねて居る旨報告、各閣僚の諒解を求め正午散會した

謝大使、最初の寛ろぎ

初代滿洲國大使謝介石氏が着任最初の日曜三十日午前十時大使館の金看板も新らしい麻布新櫻田町の大使館を訪ねる、謝大使は二十九日午後帝國ホテルから引越したばかり「今度は落付いて……」と御挨拶に來られたので、やつと起きたところだ」とベランダで新聞を讀みながら流暢な日本語で語る「關西方面は水害でえらいこつてしたね、被害も相當なるものでせう」と如才のない外交ぶり……(寫眞はやつとくつろいだ謝大使)

內審委員會申合事項

【東京二日發國通】內閣審議會第一回特別委員會は二日午後二時より首相官邸に開會、水野、秋田、馬場、川崎、安達、各務、池田の七委員、吉田長官、山田、飯沼、松隈、田中の各調査官出席、先づ委員長互選の結果水野錬太郎氏が當選、岡田會長は特に出席して、「諮問第一號」の急速なる審議調査を希望する旨の挨拶を述べ、愈々諮問第一號に關する審議順序につき協議した結果、第四項目の地方財政問題の檢討を先議調査する事に決定左の如き申合せを爲し三時四十分散會した

【一】內審々議は先づ地方財政問題に主力を傾注し夫れに不可分の關係にある中央財政國民經濟振興の問題を關聯せしめつゝ審議する事

【二】內閣調査局をして國費並に地方費の負擔區分、地方財政狀況財政を離れた農家の負擔狀況等の關係基礎資料を急速に調査提出せしめる事

なほ三十日第四回內審總會を開き審議經過に關する中間報告をなすことに內定した

謝駐日初代大使 信任狀捧呈
四日午前宮中に參內

【東京二日發國通】駐日初代大使謝介石氏は四日午前十時三十分于靜遠氏以下八名の隨員を從へ、宮中に參內鳳凰間において、天皇陛下に拜謁仰付けられ信任狀並に前任丁公使の解任狀を捧呈する事となつた、當日、天皇陛下には謝大使のため午後零時三十分から午餐會を催させられ、秩父宮殿下御陪席、謝大使を始め牧野內府、湯淺宮相、廣田外相に對し御陪食を仰付けられる筈である

日滿經濟委員會は民間委員が主務
三日、樞府本會議通過

【東京特電二日發】日滿經濟共同委員會設置に關する條約案は三日の樞府本會議にて可決の運びとなつたが新京における條約調印は樞府可決後日滿兩國文の條約文を印刷し關係官が携行するので多分十日頃となるであらう、次に委員の任命は實際は對滿事務局總裁の手で決定するも形式上は條約上の委員なる爲外務大臣から發令、日本側四名の委員中未決定の民間委員は今尙銓衡中で財界事情に明るい練達の士にして而も新京に常駐し得る人と局限されて居る、而して委員會はスタッフを構成して長官なき一種の首腦たる形態をなして右民間委員が主として事務を執掌しさしあたり會議規則その他の關係規定を設けるが諮問さるべき議案はまだ內定を見るに至らない

新生事件に關し 嚴重なる抗議提出
有吉大使、唐氏と會見

【上海特電二日發】雜誌(新生)の不敬記事掲載事件に付政府からの訓令に接した有吉大使は二日南京に赴き行政院長汪精衛氏と會見し嚴重抗議を提出する筈であつたが偶々汪氏は病氣の爲上海にて加療してゐるので汪氏見舞の爲

上海 に來た外交部次長唐有壬氏に二日午後二時半官邸へ來訪を求め三時半まで約一時間に亘り問題の根本に溯つて嚴談したこれに對し唐氏は大いに陳謝の意を表したが三日朝入京し政府首腦部會議を開き態度を決定する筈である、支那新聞雜誌の

不敬 記事掲載事件は今日までに數回に達するが今回は國民黨部にも責任がある事が判明した爲日本側としてはあくまで之を追求する方針で成行注目される

有吉大使語る

【上海特電二日發】有吉大使は唐氏との會見終了後次の如き談話を發表した

雜誌新生不敬事件に對する支那政府側の責任に就いては二十四日石射總領事より吳市長に要請する所あり同市長は直に之を受諾して

(一)雜誌の停刊(二)雜誌責任者の司法處分(三)[illegible]

處分は迅速且[illegible]る所は雜誌責任者に對する司法[illegible]の通りで、當局の措置に就て遺憾の意を表明し且つ將來かゝる不祥事件の再發を抑制する旨を確言した事は當時既に發表したる旨二十五日附公文書を以て回答すると共に

本事件 發生に對する深甚なる陳謝の意を表し且つ將來か[illegible]全國における類似禁止の措置を講じ[illegible]を禁止して右記事の[illegible]

責任糺明の效果をもたらすや否やが問題で此點につき我が出先官憲は協力して

目的の 貫徹を計つてゐる次第である、然るに其の後本件に關し國民黨部においても重大なる責任を負ふべきものなる事が判明したので、大使館として卅十分之が責任を糺し且つ將來に對する保證を得る爲速やかに有效適切なる措置を執る事必要なりと認め、更めて國民政府と

折衝す ることとし、去る二十九日政府に請訓せる所既に回訓も到達したので自分が南京に赴き外交部長に申し入れる段取となつたが

汪部長 が病氣の爲上海に來り入院したので二日書記官を派して見舞はせた所近日中に面談し得る見込判明したるにより本日恰も來滬せる唐次長の來邸を求め交渉を開始したが同氏は汪部長其他政府首腦部の意を受けて自分と交渉する

段取と なつてゐる、自分としては本件が我が全國民の最も重大視する問題であることを充分認識しあくまで責任を糺し將來の保證を得るため有效適切の處置を講ずる決心を固めてゐる

上海邦人成行を重大視

【上海二日發國通】週刊雜誌新生の不敬記事掲載事件は支那側一部の無誠意なる態度と支那當局の態度に對する無誠意によつて愈々重大化しつゝあり、在留邦人は萬全の準備と確乎たる決意を以つて、出先當局と支那側との交渉の推移を注視してゐる

軍部重大視す
磯谷少將に緊要訓令

【東京特電二日發】上海駐在武官より陸軍省への詳細な報告によれば雜誌〃新生〃の不敬事件の內容は我國を始め英國、滿洲國等の皇室に對する不敬記事を掲載したもので、しかも右雜誌は國民黨部の機關紙であり不敬記事は中央黨部の檢閲を經てゐることが明瞭となつたので、陸軍中央部では黨部がかくの如き記事を掲載許可したその根本觀念は日支兩國の親善關係を阻害するものであるとして頗る重大視し取敢ず磯谷駐在武官に對し[illegible]の下に協力これが是正に努るべく二日磯谷大使館附武官に對して訓令を發した

しかして軍中央部においても外務當局と連絡を密くまで支那におけるかくの如き排日觀念の是正に邁進すべく態度を準備してゐる

北支權益の確保留意
英外相の答辯

【ロンドン一日發國通】イギリス下院の一日の質問時間中、保守黨の一議員は北支那の最近の情勢に基き、外相は北支那におけるイギリスの權益擁護のため善處せられたいと述べた、それに對しホーア外相は

北支那の情勢については日支兩政府から兩國駐在イギリス大使に對し刻々その推移を報告して來てゐる、勿論同方面のイギリスの權益確保については充分留意して居る

と答へた、右に依つて見るにイギリス政府としては現在の所北支那問題については何等積極的に動く模樣は見えない

米國海軍主力艦七隻の代艦建造
新協定不成立の場合

【ニューヨーク一日發國通】一日のニューヨーク・ヘラルド・トリビューン紙、ワシントン特電によれば、米國官邊の消息として軍令部においては新國際協定不成立の場合には每年一隻づゝ代艦建造を行ふに決したと報じてゐる、而して新條約が成立しても米國海軍としては出來るだけ主力艦の代艦建造を行ひたき意向でその豫算を要求するものと解される

米國海軍の暫定的計畫によれば一九三七年の一月に艦齡を超過する主力艦は七隻に達するので新條約不成立の場合には每年一隻づゝ代艦建造を行はんとするものである、而して米國海軍當局はロンドン條約の限度を超えて建艦する意向はないといつてゐる

佛、伊兩國との會談結果を報告
イーデン無任所相、下院で

【ロンドン一日發國通】イーデン無任所相は一日午後の英下院において、パリ及びローマ訪問につき初めて公式發表を行つたが、特に兩國首腦部訪問の目的につき左の如く語つた

余の目的は佛政府當局に對し英獨海軍條約につき率直な說明を加へてその諒解を求め、更に佛政府と共に二月三日ロンドン覺書の計畫條項實現方法につき協議する所あつた、ムッソリーニ首相との會見も亦同樣である、但しムッソリーニ首相とはこの外特にアビシニア問題につき懇談を重ねた、余は英政府の最後的解決方式としてエチオピアに對して英領ソマリランドの海峽接續地域を與へて、エチオピアに海港利用の便宜を與へると共にエチオピアをして伊政府の要求をある程度まで容認せしめる案であつたが、ムッソリーニ首相は[illegible]三者の介入を排擊しこの最後的提案をも拒否した

なほイーデン無任所相はムッソリーニ首相の英國案拒絕に遺憾の意を表して曰く

惟ふに英政府の解決案は、英國がエチオピアに或る特典を與へればエチオピアも亦イタリーに對し領土上及び經濟上の利權を與へ得るに吝かならずと思惟するに至るべきを期待したものである、而も英としては何等自ら代償的利益を要求するものでなく一に聯盟の正委員として和協的解決を企圖したものに外ならない

次いで今次の平和行脚の總括を下して曰く

ラヴアル首相及ムッソリーニ首相との會談によりロンドン覺書の履行につき更に協力を進めることゝなつたが、之に關する方式は最短期間內に發見される見込である

出淵大使濠洲へ

【東京二日發國通】本日の閣議で出淵大使を濠洲に特派使節として派遣する事に決定した

津田司令官赴哈

【新京電話】津田駐滿海軍部司令官は二日哈爾濱における滿洲國砲艦進水式に參列のため八木參謀帶同一日午前十一時發列車で哈爾濱へ向つた

往來 (二日)

汽車【出發】 ▲(午後四時五十分)伊藤太郎氏(滿鐵經調委員)奉天へ▲野中時雄氏(同)同上▲三隅英雄氏(同)湯崗子へ▲平山良吉氏(東拓元山支店長)北行▲梅津理氏(奉天工業土地專務)奉天へ▲林禮吉氏(瀋陽居留民會長)瀋陽へ▲細矢權吉氏(同在鄉軍人分會長)同上▲高木儀三郎氏(同實業會長)同上▲渡邊德重氏(同地方委員會議長)同上▲高田克氏(同朝鮮銀行支店支配人)同上▲(午後八時)伍堂卓雄氏(昭和製鋼社長)鞍山へ

挨拶 ▲大迫元光氏(滿鐵用度事務所倉庫課長)新任挨拶のため來社▲前田政次郎氏(吉林省立長春兩級中學校長)神明高女教頭より轉任挨拶のため同上

大觀小觀

「支那とは何ぞや」ワシントン會議に於ける警句が今さらに思ひ出させられる▲「南京政府とは何ぞや」此の命題に向つて日本は今こそ明快な解決を世界に與へる義務と權利とを持つ▲親日が本意か排日が眞意か、親日でなく排日でもなく又排日でもあり親日でもある機會主義者が各自己本位の言動を續けて睨み合つてゐるのが彼等である▲汪精衛一派が親日方策を決定したのも事實であるが忽ち覆へされたのも事實▲行政院長外交部長の言動がアテにならぬことは南京政府そのものがアテにならぬと同一▲此方さへ默かりしてゐれば相手の內部狀勢の變化に一喜一憂する必要を見ない▲ソ聯政府が何事か抗議を寄せた▲此方から見れば國境線を侵犯したものはそちらであつて「危險極まる挑戰行爲」とは當方からの言分である▲第一に「平和を熱愛し」北樺太まで譲らうとするのがソ聯の眞意であつたならば國境線をいつまでも曖昧にして置かぬ筈であり▲又國境の防備なども備く[illegible]事端の頻發を避けるのが當然である▲やはり時々は探りを入れて抗議を出しそれを以て對日反感と「愛國心」とを國內に鼓吹する魂膽らしい。

社說

兩烈士遺骨の凱旋

中村、井杉兩烈士の遺骨は遺族に護られて二日新京發、大連經由凱旋することになつた。思ふに滿洲事件の直接の動機は柳條溝事件であつたが、その直前に最も強く人心を刺戟したのは中村井杉兩烈士の被害とそれに對する舊東北政權の無誠意であつた此の刺戟が柳條溝事件と略んで滿洲事件を惹起した。その後四星霜、滿洲國漸く固成を見る今日、兩烈士の忠烈記念碑が現地に建立され、去る六月二十六日その除幕式が執行された。而してその工事中日滿警務官必死の搜査により六月六日遂にその遺骨を發見したのであるが、その遺骨は一部分新京忠靈塔に葬むられ、他は遺族に抱かれて凱旋することになつたのである。

◇

中村大尉事件として當時喧囂たりし時の滿洲を回顧して之れを今日滿洲の天地と比較すれば、その差異實に雲泥も啻ならず、吾國人の誰しも感慨無量ならざるを得ざる所である。今や兩烈士遺骨、遺族に護られて當地を通過するに遇ふ。此處に更めて烈士の偉勲を弔ひ、且つは聊か以て遺族を慰め、且つは滿洲國の固成に益々努力してその忠烈を空しくせざらんことを深思すべきである。

新興倶樂部と行政廳

新興倶樂部事件の公判廷に於て、倶樂部役員と監督官廳官吏部との關係が開陳されてゐる。その事件の法律的解釋には檢事と辯護人との間に意見の相違ありて、判決を待つにあらざれば確定はしないが、倶樂部側にも之れに關聯せる警察官側にも暗黒面あることは爭ふ可からざる事實と見られる。事の此處に至つたのは、各被告にそれ〴〵の缺點があつたに由ることはいふまでもないが、その原因の一つには當時の滿洲の社會一般の空氣が斯樣な事件を釀すに適當であつたことを回顧せねばならぬ。これは先づ以て一般の反省すべき所である。更に最も重要な觀察點は監督當局者の人格問題である、吾人は嘗に此問題が暴露した時に此事件は監督當局者の人格の反映と見らるゝ點があるのではないかと說いた。

◇

當時、多く人心を刺戟するを好まないからそれ以上には言及しなかつたが、此頃の公判廷にて開陳さるゝ被告や證人の言よりて見ても、此事は首肯され、吾人の前言が必ずしも獨斷でなかつたことを證するやうだ。勿論被告や證人の言を全然信用することは出來ないが、當時の狀況から察して、被告に名を列する倶樂部側や警察側の人達ばかりの腕だけでは起り得ない事件たることは誰にも直覺さるゝ所である。現在の被告以外に、刑法上の責任者があるや否やは固より不明であるが、道德上の責任者は他にもあることを看取される。吾人は今更それを追究するがよいといふのではない。そこには刑事政策も社會政策も必要である。

◇

但し、官吏選任の際には人格如何を第一の要件となさねばならぬことを銘記するのである。單なる技術官でも、その人格が各方面に及ぼす影響は敢て少なしとはしないが、行政官、司法官に於ては殊に人格がその職務に關係を持ち、それが民心に反映することの多い事實を認めねばならぬ。殊に一行政廳の長官たる者の人格は、會員は固よりのこと、一般人にも反映し、甚しきはそれが犯罪の誘因にもなることは敢て稀有の例ではない。人事の局に當る者の最も考慮せねばならぬべき問題であるが、先づ根本的に政府全體の機構並に官吏任用の試驗制度に關する法規、延いては教育問題にも論及考慮すべきものである。

北樺太讓渡問題 未だその時機熟さず
わが外務當局の見解

【東京特電二日發】ソ聯政府が三國々境委員會設置に關し、北樺太讓渡の意圖を表明せんとの情報に對し外務當局では右問題は未だその時機熟さずとの見解を洩してゐる、即ち北樺太讓渡協定成立に續き、廣田外相は對ソ平和工作を積極的に押進めんとし前議會でも〝ソ聯側に北樺太讓渡の意あらば日本も考慮する意あり〟と述べたるも、これに對しソ聯側は適當の時機來らば必ずしも讓渡に反對ではないとの意嚮を有する如くなるも、何分微妙なる問題なるため正式には未だ意察がない。しかし國境紛爭問題が圓滿解決すれば、その暁、問題の一石を投ぜんとの考へがソ聯政府部內にもある模樣にて、右問題は依然として潛伏期にあると見らる

〝日滿軍越境す〟と捏造記事掲載
二日のモスクワ各紙

【モスクワ二日發國通】タス通信社は東京駐劄ソ聯大使ユレニエフ氏が一日本國政府の訓令に基きソ滿兩國々境線侵犯事件に關し、廣田外相に抗議通牒を提出したと報じ、之が事件の內容として二日のモスクワ各紙は左の如き記事を掲げてゐる即ち

日本兵四十名が去る六月二十三日並に二十六日の兩回に亘り國境を越えてソ聯領土に侵入したがソ側は發砲を差し控へた、更に又日滿兩國國境軍所屬砲艦二隻は六月二十七日黑龍江のソ側領水に侵入したがソ側は之に對しても發砲を差控へた

反省要望

【東京二日發國通】ユレニエフ大使から外務省に通達されたソ滿國境に關する抗議は、外務當局に於て目下飜譯中なるも、その內容の大體はモスクワに於て發表されたところと大差なく、只ソ側にとり都合惡しき事實のみは發表されてゐないとの事であるが、ソ側が何故に斯くの如く國境に當然起り得べき事件を捉へて日本に抗議するに至つたかの眞意に就いては不可解なりとしてゐる、恐らく北支問題其他の影響により疑心暗鬼の結果に出たものであらうが、それにしても右事件により抗議の內容を直に發表する事に依つて「日本國內の平和論者の反省を喚起せんと努むるが如き態度」は斷じて許すべからずとしてゐる

當局としては右抗議に對してはソ聯側が列擧するが如き事件は國境に起り勝ちの事件に過ぎないからこれに依つて日滿ソ關係がどうこういふ筋合ひのものでない事を强調し將來とも斯くの如き事件の發生に關しソ側の自重と反省を求める筈

蘇聯の抗議要旨

【東京二日發國通】ユレニエフ大使は一日午後七時外務省に書翰を以て最近のソ滿國境事件に關するソ聯政府の抗議通牒を傳達するところあつた、抗議の要旨は次の如きものである

一、最近における頻々たる日滿軍隊並に艦船のソウエート領土及び領內水路侵犯事件は日蘇國交上重大なる結果を孕むものと信ずる、ソ聯政府は余に對し日滿軍事當局の行動につき抗議し、その責任は日本政府が負ふべきものなる事を通告する權限を與へた

一、ソ聯政府は日滿艦船のソ聯領內水路航行を許し得ざる事、並に若し總ての警告を無視してソ聯內水路に入らんとすればその結果に對する責任は日滿政府當局の負ふべきものなる事を余は本國政府より與へられたる訓令に基き日本政府へ通告す

一、將來も日滿軍隊がソ聯領土を侵犯せる場合、その責任は直接日本政府が負ふべきものである

一、ソ滿國境における日滿軍事當局の行動は危險且つ許すべからざるもので、ソ聯政府は日本政府當局が國境地方の平和的關係を維持し、日滿軍事當局の挑戰的行動を阻止するため速かに斷乎たる處置を執ることを期待するものである

儀禮を辨へざる挑戰的暴擧
わが外務當局の見解

【東京二日發國通】ソ滿國境における越境事件につきソ政府は一日午後七時抗議覺書を外務省に寄せ來り、ついで二日午前右の事實中一、二の誤りありとて訂正を申込んで來た、わが外務當局は兩駐滿大使より現地報告を待ち善處する方針であるが、左の如き立場をとつてゐる

一、かゝる越境事件の發生は國境線の不明確に起因するもので、先づ國境紛爭調停委員會に誠意ある回答をなすことを期待する

一、又かゝる外交々涉にあたり相手國政府に未だ文書通告をなさゞるにモスクワでその內容を發表するは甚だ外交上の儀禮をわきまへぬ挑戰的態度であつて日ソ外交上遺憾とする、この點につきソ側の注意を喚起する

しかして日本政府としてはソ聯がヨーロッパ方面における危機を打開するために目を極東に向け、日本を挑戰せんとする動きに充分注意し、更に新しく日ソ國交關係が北鐵讓渡を機會に軌道に乘り來りつゝある折柄、極めて冷靜慎重なる態度を以て臨むものと見られる、なほ外務當局は目下ソ聯の抗議書を逐一檢討中で、相手國に非あれば確固たる態度で臨むはずで

外蒙の不誠意に關東軍憤慨
今後の對策を講究

【新京電話】去る六月二十三日發生したハイラステンゴール附近における外蒙兵の不法越境及びわが大養測量手の不法拉致事件は先方から釋放方を申出で來たため關東軍としては問題を極めて穩便に解決する意向であつたが、その後實情を調査した結果外蒙側に何等反省の責がなく、しかも明らかに我が關東軍を侮辱する態度を執り、且つ外蒙側の不法行爲を隱蔽せんとする事實も明かとなつたので、關東軍當局では外蒙側の不誠意を極度に憤慨、慎重今後の對策を講究してゐる、即ち正確な調査の結果は次の如くである

六月二十三日ハイラステンゴール附近に於て測量中拉致せられた大養測量手は關東軍の嚴重なる抗議の結果、二十八日還附國境附近に引きずられ來り甘珠爾廟警察署員に引渡された、その際外蒙兵は「外蒙は不法越境した者を拉致したが、兩國親善保持のため返還するものである」との護符を弄したが、しかも測量器械などは未だ返還されて居らず、剰へ引渡し直前外蒙兵は言語不通の大養測量手を脅迫し內容不明の蒙古文字の書面に署名せしめたが、恐らく大養測量手が外蒙領內に侵入して測量したことを强要して外蒙側の不法行爲を糊塗せんとするものと想像される

米國の新募兵

【ワシントン一日發國通】米國政府は新募兵に基き一日より全國に亘り新兵の募集に着手した新兵總數は約六萬人で內譯左の通である▽陸軍兵卒四萬七千人▽海軍兵卒一萬一千人▽海兵團一千百人▽陸軍士官學校學生六百人▽海兵團士官二百五十人▽海軍第一線士官一千三百三十二人

建國功勞賜金
總額八百十五萬圓
公債法公布されん

【新京二日發國通】滿洲國では建國功勞者表彰の意味を以て功勞金を交付すべくこれに伴ふ建國功勞賜金公債法を立案中であつたが此の程參議府會議における審議の手續きを經たので愈々御裁可の上兩三日中に公布する運びとなつたが公債發行金額は總額八百十五萬圓と決定

西日本一帶の水害耕地狀況
農相閣議で報告

【東京二日發國通】西日本一帶における今次の大水害の被害に關し山崎農相は二日の閣議で左の如く報告した

一、浸水耕地面積　十四萬四千三百六十五町步

▼內譯

▽九州　九萬五百七十二町步（この內主なるものは福岡縣五萬三千町步、熊本縣一萬九千町步）

▽近畿地方　二萬五千百二十一町步（この內京都府七千町步、大阪府は七千五百町步）

▽中國地方　一萬四千六百五十六町步（この內山口縣が八千町步、廣島縣六千町步）

▽四國地方　九千百六十町步（この內高知縣四千町步、愛媛縣四千町步）

▽岐阜縣外一縣　四千八百五十六町步（浸水耕地面積中九州を除く各地方を通し耕地の埋沒流失せるもの二千二百十一町步）

であるが、九州方面よりの報告が來れば埋沒流失耕地は五千町步を突破する見込みである、山崩れ堤防決潰の程度は目下調査中で明白に判明しないが、西日本一帶の山林地帶は被害甚大なる見込みである、なほ假植においては米は田植後であるため收穫の上に大した影響はあるまいと思はれる、野菜等は全滅してゐる

北鐵讓渡協定支拂狀況

【東京二日發國通】在京滿洲國大使館財務官は二日北鐵讓渡協定に依る現金支拂狀況（但し昭和十年六月三十日現在）を左の如く發表した

【一】契約要項所定失權數七十六件

【二】契約總額一〇、一三三、〇二二圓六九錢

▼內譯　▽第一期（調印の日より最初の六ケ月間）六、三六四、二五一圓九八錢▽第二期（次の六ケ月間）二、八二四、八三九圓七一錢▽第三期（次の六ケ月間）二九一、五二〇圓▽第四期（次の六ケ月間）三五九、八五〇圓▽第五期（次の六ケ月間）三九一、五六〇圓▽第六期なし

▼支拂濟額　一、八九五、八〇三圓七四錢

滿洲國新銳兩艦
きのふ進水式を擧行

【哈爾濱特電二日發】滿洲國海軍の新銳艦定邊、親仁兩艦の進水式は二日午前十時三十分から江防艦隊造船所において擧行、于軍政部大臣、津田駐滿海軍部司令官、佐々木顧問、佐藤總領事、關濱江省長、呂市長その他文武官及び民間代表滿洲國學生徒など二百餘名出席、于大臣の命名及び艤裝切斷と共に一切の裝備をした艦附き最新式の兩艦は一同の拍手裡に見事に進水した、右終つて別席において一同乾杯兩艦の武運長久を祈り、播磨造船所代表者の工事報告、于大臣の祝辭、津田司令官の挨拶あり、佐藤總領事發聲で滿洲國海軍の萬歲を三唱十二時式を終つた

定邊、親仁兩艦は何れも二百九十噸、速力十二・五ノット、デーゼル機關二基を有し高射砲その他一切の完備した裝備を有し、播磨造船所の手で去る五月四日以來工事に着手してゐたもので滿洲國の國境河川防備に一段の異彩を添へた

苦力の入滿を支那官憲が阻止
日本の抗議は當らぬ……と
無料で故國に送還

【新京電話】當地入報に依れば反滿抗日の指令に躍らされて居る各地支那側出先機關では、日本側の抗議に對し表面嚊りを潜めた形であるが、支那側では國內問題だから抗議を受ける筋のものではないとの理由の下に、青島公安局の如きは滿洲國に出稼苦力の入滿を阻止し（近く日支間に紛爭が起ると稱し）無智な住民苦力を押へた上再び無料で故鄕に送還して居り、曩に此の無責任な出先官憲に依つて青島まで出て來た苦力で送還された者一千數百名に及んで居る何れも反滿抗日分子に非ざれば官吏となる資格無きものとされて居る

レプラ療養所愈よ設置に決定
まづ調査の萬全を期す

滿洲癩豫防協會では二日午後四時から市役所議員控室において理事會を開催、會長小川市長をはじめ熊谷、隈田、森川各市議、柳川、豐田兩博士、各警察署代表、方面委員等二十五名參集、先づ隈田市議よりさきに市內に發生した癩患者及びこれが處置に關する經緯を說明、續いて懇談事項に移り癩療養所設置の件を滿場一致可決、これが寄附金募集に關しては別に實行委員を選任することとなつた、癩患者の調査に關しては右實行委員より關東局警務部當局に乘り出しを陳情するほか滿洲國政府、滿鐵その他の各方面へも調査を依賴しその萬全を圖ることに決定、午後五時散會した

寸想

投書歡迎　十五行以內

强制聚落

◇大連の或女學校では七月上旬より全校擧げて夏家河子にて海濱聚落を行ふにつき授業は毎日一時間で切り上げて、しかも不參加者は三時間の缺課にするとて强制的に參加せしめてゐる

◇暑中休暇を目前に控へてわざわざ學業を放擲してまでもそんな事をせねばならぬのであらうか而も夏家河子あたりまでも遠遊せなくとも保健が目的ならば今少し金がかゝらぬ方法と場所とがありはしないか、夏家河子でなければならぬならば不經濟のみにすべきである

◇數人の子女を中等學校を卒へさせた親としての經驗では、一體に滿洲の學校では內地の學校に比して實費で何かにつけて出費が多いとの世評も滿ち無根の說では無いやうに思はれ、そんなに金を要せねば滿洲では教育が出來ぬのであらうかと考へさせられる

◇學校當事者も新聞紙上で內地の東北地方や九州地方の昨年の凶作や、先般の關西の災害や、昨今の關西、九州方面の風水害の記事を御覽のことゝ思ふ、此際贅澤は遠慮すべきではなからうか

◇凶作地方の農家では食ふに食なく、山野の草根木皮も食ひ盡して、或小學校で二、三年の兒童に作文を書かせたら殆ど一樣に三度の御飯が食べたいと書いたのがあつたといふ悲慘な例は枚擧に遑ない

◇また或處では娘賣の狀態なしとまでいはれ、東北六縣で約六萬餘人の女子が食はんが爲め家のため或は身を賣られ、或は女工となりて溫かき父母の膝下を離れてゐる慘澹たる狀態を回想する時、聚落行きを强ひ、不參加者は缺課にするなどとは心ある教育者の言として聽くことを缺くの誹りは免れまい、何とか考慮の餘地はないものであらうか、學校當事者の熟慮を煩はし大方諸賢の御批判を乞ふ（一父兄）

奉天郵便局が手形交換所加入
いよ〳〵五日から

【奉天二日發國通】奉天における金融界は事變後一段の發展を見るに至り毎月の手形及び爲替總額も相當の額に達する樣になつた然るに從來より奉天郵便局は當地手形交換所に加入してゐなかつたために郵便預金を有するものに非常な不便であつたがいよ〳〵五日より手形交換所に加入する事に決した

靜岡縣代表離滿

靜岡縣を代表し滿洲各地駐屯軍を慰問せる同縣參事會員井浪茂三郎、大村直、佐藤六平、縣廳代三郎、庄司一雄の五氏は三日午前十時出帆の扶桑丸にて歸途に就くと

橫濱市長決定
青木元鐵道次官

【東京二日發國通】豫て橫濱市長に擬せられて居た元鐵道次官貴族院議員青木周三氏は二日市長就任を承諾し十七日の市會で正式選擧さるゝことゝなつた

長谷部少將
滿鐵囑託に

滿洲事變に勇名を馳せた長谷部照俉少將は退役後は滿洲永住の決心を固め一家を擧げて大連に居を定めたが、最近滿鐵囑託となり總務部附鐵田、山井氏等と机を並べ勤務してゐる

屠殺場取締法
來る六日公布

【新京二日發國通】滿洲國屠殺場取締法規は現在各省縣區々で屠獸に對する檢查の如きも皆無の狀態で屠殺場としてより寧ろ屠獸に對する衛生設備の缺ありて不良肉等に對する檢查なきため國民保健衛生上寒心すべきものがあるので、民政部衛生司ではこれが取締法規を改正することになり、先般これを完成したので法制局に廻附、國務會議の議決を經て二日參議府會議の諮問を經七月六日勅令により公布の筈

熱河省災民救濟
省公署、協和會が盡力

【承德二日發國通】熱河省農民救濟に關しては嚮に省公署、協和會主催となり、第一回打合せ會を開き大綱建官側に對しては省公署、一般に對しては協和會が働きかけることゝなつたが協和會では一日午後二時卅分より總務長外中銀、農商會その他慈善團體各代表二千餘名出席し、その具體策を協議し同四時三十分散會したが決定せる救濟方法左の如くである

一、義捐金募集および救濟方法に關しては各縣の事情に鑑みて適宜各縣別に取極める

一、承德縣においては承德市內より義捐金を募集し地方に及ぼさず

一、災民救濟委員會を組織し會長に趙縣長、副會長に平山協和會事務局長外顧問二名、市民側各團體代表者を以て委員とす

一、承德における募集および救濟法は三日の次回會合にて協議す

因に省公署においては各縣公署に指令を發し各縣長は各分會と協力救濟に乘出す筈

羅國藏相訪英

【ロンドン一日發國通】ルーマニア外相チチュレスコ氏は一日ロンドンに到着、直にボールドウイン首相と會見協議を遂げた、更に二日ホーア外相イーデン無任所相とも會見を遂げる筈である

奉天フ社再起

【奉天二日發國通】米商フレイザー・フエデラル會社は自動車電氣器具等を取扱ひ本店を天津に支店を大連、奉天、新京、哈爾濱等に有してゐるが日本品の滿洲市場進出による外國商人衰退の御多聞に洩れず最近著しく營業不振に陷つたのでこれが挽回策として在滿支店を天津本店より切離し會社の組織を改正、日本系資本を入れ總資本金三十萬圓の亞細亞貿易株式會社を設立日本人重役三名を置くことゝなつた

ヤマトホテル支配人會議

滿鐵直營の大連、旅順、星ケ浦、奉天、新京各ヤマトホテル並に五龍背溫泉、北平扶桑館等各ホテル支配人會議が來る十五日大連ヤマトホテルに於て開かれるが營業狀態その他諸事項の打合せを爲すと

本日局報を添ふ

兩烈士の芳骨に 遺族最後の告別

【新京】(寫眞說明)關東軍將士並びに市民多數の御送りを受けた故中村少佐、故井杉特務曹長兩勇士遺骨は一日午前十時、滿洲事變の當時護國の鬼と化した幾多戰友の靜かに眠る新京忠靈塔内に分骨されて納められる事となつたが、中村、井杉兩勇士遺族は忠靈塔に納骨された最後の告別をなした

圍碁〃布石哲學〃

チチハル副官　清水長策氏

談天說心

▲…人生に少、壯、老年期がある樣に圍碁にも布石、中盤、寄せの時代がある。苦しい紛れに名手の發見で思はぬ勝を獲する事が無いではないが、そんな事は例外で普通の場合布石時代既に勝負は定つて居る。少年時代を眞面目に歩かなかつた者は中年以後になつて落伍する樣に、布石を堅實に打つて置かぬと中盤以後になつて全く手も足も出なくなつて仕舞ふ。偶には少年時代成績不良の者が中年以後間違つて思はぬ幸運に惠まるゝ事のある樣に圍碁にも敵の見落しや

▲…圍碁位個性の現れるものはない。攻むる事のみを知つて退くことを知らぬ猪武者があるかと思へばその反對に退嬰的で守ることのみに汲々たる保守黨もある。或は隴を得て蜀を望む慾張り屋等もあつて人各々の個性を遺憾なく發揮するがこれ等は何れも成績が良くない、矢張り攻防宜しきを得るに越したことはない。

▲…見苦しいのは待つたをよくやる癖のある碁打だ、碁だから待つたも出來るが人間が病氣に罹つた時待つた等出來はせぬ、況んや死に於てをやである。初代の本因坊算砂の辭世に 碁ならばや劫にもたてゝ生くべきに、死ぬる道には手一つもなし

▲…碁打にはたつた一つ丈け性格を超越した共通點がある。夫れは勝つた事は旺に吹聽するが負けた話は噯氣にも出さない、話さなくても相手が話すから話し漏れにはならぬと云ふが、此れは少々狡猾い。

▲…對局のポンチ繪を見ると必ず一方は老人だが碁は七、八十歳迄位打てるらしい、老後の樂しみには持つて來いの遊びである。自分は一向に下手碁の域は脫しないが繪にされる場合遠からず老人組に入れられ相に思ふ、難有い事だ。(チチハル)

羅津滿鐵收用地 五割强を値上げ
追加支拂六十萬圓に達す 三年越の懸案解決

【羅津】本紙既報の通り滿鐵羅津收用土地追加支拂は地主百五十名に對し總花的に五割强値上げすることを二十八日公表し七月一日附て各地主に對し支拂方を通知した、これで世人注視の的であつた三年越しの懸案も圓滿解決した理であるが、曩に朝鮮總督の裁定で値上りした二十六萬三千圓と同時の追加支拂三十三萬五千圓は收用當時滿鐵も豫想しなかつた支出であり、結局羅津第一期建設費三千五十萬圓の内六十萬圓はどこにか建設工事縮小の餘儀ない結果を來し而も追加支拂の恩惠に浴したものは所謂不在地主である關係上羅津そのものにとつては餘り芳しい話ではないと一般は觀て居る

平均率の割出し
滿鐵の野本庶務長談

【羅津】土地收用裁定に依り羅津滿鐵收用地の値上りを見たのであるが其の後裁定にかゝらざる部分の土地に對し滿鐵が如何なる態度に出るか注目の焦點であつたのであるが此の問題に關し野本庶務長は左の如く語る

本年二月十三日土地收用裁定に依り總額二十六萬三千二百六十三圓七十四錢の値上りを見たのは

誠に遺憾 とする所であるが然し一旦定つた以上は如何ともする事が出來ない、これ以外の大部分の土地に對して羅津買收に當り弊社において羅津埠頭並に鐵道用地の買收單價を値上せる場合には實價に對しても値上の平均率に依りて値上するものとすと云ふ實質條件を付して居る、即ち平均率といふものを如何にして割出すかといふ事が殘された問題である、第一全收用土地に對する支拂金額を以て裁定に依る値上りの額を除したるもの(一割九分强)に依るべしとの說がある、第二收用地内價格の決定したる土地の支拂の金額を以て裁定に依る値上り額を除したるもの(四割五分七厘弱)に依るべしと云ふ人もある、第三道切事の裁決額に依り裁定に依る

値上り額 を除したるもの(四割七分三厘强)に依るべしと主張するものもある、第四總督の裁定せられたる土地に對する會社查定額により裁定に依る値上り額を除したるもの(五割强)に依るべしと云ふ人もある自分は總督の裁定に依る値上が發表されるや否や總督の裁定に依り不幸にして値上をみた以上は滿鐵の查定に依り實價に應じた地主に對しては決して迷惑を掛けない、尤も公平妥當に之を解決する所存であると聲明して居つたのであるが前記四つの内何れに依るが妥當であるか愼重考慮して居つたのである、總督の裁定は新安洞停車場附近の土地を最高五圓と查定し漸次

南するに 從つて低價して居り廢峴洞、明湖洞方面は値上りを見ないのである、然るに滿鐵は收用地全體に對して前記の實質條件を付して居る、滿鐵は前記四つの率中第四案即ち五割强の率に依つて値上する事を最も妥當なりと信じ居るのであるがこれに依つて一律に値上する場合には總督の裁定と違つた値段が表れる事になる、であるからして廢峴洞、明湖洞は値上げをする必要がないから新安洞の土地を總督の裁定に倣つて値上をしてくれと主張する地主がある、併しこれは一旦滿鐵の土地買收に應じながら更に總督の裁定といふ行政處分を要求するに等しいものであつて全く地形の違つた今日不可能な話である、元來收用地九十萬坪は一體として見るべきものであつて廢峴洞、明湖洞、新安洞と云ふが如き

行政的の 區劃を見る必要がないのであるから收用地を一括して五割强の値上をするものとせば總督の土地收用裁定に比して明湖洞、廢峴洞に近き新安洞の土地を有して居る地主には有利であつて停車場附近の土地を有してる地主には不利益な結果となるのである、各方面の土地を持つて居られた地主は非常に好都合となるのであるが新安洞のみ土地を有して居つた地主は總督の裁定價格に比して不利益となるのである、これ等の地主に對しては誠に同情に耐へない次第ではあるが日本が滿洲に於ける經濟的の發展並に軍事上の點から國家に代つて滿鐵が羅津の築港並に鐵道施設をやつて居るのであると云ふ點を考慮しこれに同情し

之を後援 すると云ふやうな意味で多少の不平は我慢して戴き度い、五割强を支拂ふとなれば滿鐵は更に三十三萬五千圓の追加支拂をしなければならないのである、總督の裁定に依つて六十萬圓の支拂をしなければならない結果に到達したのであるから追加豫算其の他の手續の爲め今日に及んだのであるが近々支拂ふ所存である

降雨感謝祭

【營口】先頃旱天に苦しんだ營口滿洲側有志は楞嚴寺寶定和尙に雨乞祈禱を請うた所其後降雨があつて農民は愁眉を開いたので有志及輔忱外數名は六月二十九日より七月一日まで三日間降雨感謝祭を楞嚴寺で執行したが多數の參詣者あり賽錢の如きも五百元以上の喜捨があつた

職業婦人禮讚
在吉滿洲女性の傾向

【吉林】滿洲の女性は働かずと言ふのが傳統的に慣習づけられ建國前にあては恐らく女性の職業線上にあるのを見なかつたが、建國以來文化知識の向上に從つて豕年女性が生活戰線の第一線に立ち、職業婦人として活躍する樣になり、現在では職業を持たぬ女性は婦人としての價値なきが如く考へられるに至り、自然女學生等も在學中に就職の猛運動を開始し懇意な邦人を求めては依賴するもの、直接履歷書を持つて出頭する者等激烈な就職戰を展開して愈々過去一切の弊は漸次解消の一路を辿り家庭生活の向上改善は婦人の手よりと提唱されて居る

×　×　×

黑龍江道場 落成式
引續いて武道大會 二十一日擧行

【チチハル】チチハルに建設中であつた黑龍江道場は六月末までに完成を告げたので來る二十一日午前八時から落成式を擧行し引續き武道大會を開催することゝなつたが當日は劍道の高野佐三郎、同茂義兩範士、柔道の小谷澄之、弓道の福島德壽氏等の各師範を招聘し更に滿洲各地の武道選手多數の出席を勸誘する筈である

牡丹江・林口間 十日から假營業
豫想外に工事進捗す

【新京】圖佳線牡丹江—林口間(一一〇キロ)は工程豫想外に進捗し從て建設列車で貨物輸送が試驗的に行はれてゐたが、いよ〳〵來る七月十日から假營業を開始することゝなつた、これで圖們—牡丹江間(二九四キロ)の本營業線の利用價値は增大する譯である

圖佳線本營業

【新京】七月一日より圖佳線(新圖們—牡丹江間二四八・七キロメートル)は滿鐵建設局から鐵路總局に引繼がれ本營業を開始した

因みに圖們發一二時の旅客列車二二時一五分牡丹江着、圖們發七時二五分の混合列車は一七時一五分牡丹江着、牡丹江發七時の旅客列車は一五時五五分圖們着、一五時五五分牡丹江發の混合列車は二〇時三〇分圖們に到着する

瓜子兒

事變後奉天の滿人卸商の取引は漸次現金主義に變つて來るには來たがそれでは到底やつて行けず營業成績槪ね不振狀態なので最近卸商同業組合で討議した結果、毎月一日と十六日とを淸算日とする自由式な掛制度に改めやうといふことに一致した。

◇

奉天省總務廳總務科長永尾龍造さんの新宅建築を請負つた利發公司の張樹桂といふ男、懷ろ工合が悪いことからいろ〳〵怪しからんからくりをやり永尾さんにたいへんな迷惑をかけたにも拘らず永尾さんが始終寬大な態度で相待つたのに自責改悛し自ら懺悔聲明書を新聞に出して永尾さんに徳を謝してゐる。

◇

支那の廣東に女子職業振興のため女子理髮習藝所が設立されこゝを出る女理髮師が毎年六百名に上り何處からか資本を引つ張り出してドシ〳〵開業し婦人客はむろん男客まで押すな〳〵の大賑ひ、こんなあんばいで五年もたつたら男子の床屋さんは干あがつてしまふに違ひないといふので男子の理髮職大同盟で斷乎たる自衛態度に出やうといふ、廣東の男女職業鬪爭は社會問題として漸く深刻化しつゝある。

奉天・壺蘆島間 海濱週末列車
ホテル・貸別莊等設備 理想的海水浴場

【錦州】奉天鐵路局では暑熱に喘ぐ都會人のため海水浴場としての處女地——壺蘆島を紹介すべく來る六日から奉天驛發、壺蘆島行の海濱週末遊覽列車を運轉することになつた、同地には今年よりホテルのほか貸間、貸別莊の設備あり海水浴場もホテル下とホテル後方山の裏側との二ケ所にあつて何れも白砂長汀、波靜かな淺瀨であるしかも水淸く海水浴場として絶好な場所なれば相當賑ふことであらう、因に列車は六、十三、二十、二七日、八月三、十日の六回で午後九時三十五分奉天驛を發車し翌朝錦縣經由壺蘆島驛に到着することになつて居りゆつくり遊んで歸りは午後八時二十分壺蘆島驛を發車することになつてゐる

夏の芝罘 港の油虫・舢舨 B
埠頭の偉觀・洋車待機陣
寫眞と文　あひざは生

ウエルカム—チーフー・ハトバは舢舨と汽艇と洋車が卍に駈けめぐり夏の狂騷曲をかり立て旅行者の感覺に忙しい、汽船が港に入るとすがすがしい夜明けの波を切つてスイー〳〵と舢舨があちらからもこちらからも姿を現し忽ち船のまはりへ南京蟲のやうに喰ひつく、すると、船の後尾からボーイが包をソツと投げ落す、それを受取つて舢舨は意氣揚々何處へともなく漕ぎ去つて行く、こんな方法で毎年一千數百萬圓からの密輸が公然的に行はれてゐる、船から上がつて驚くのは埠頭にズラリと列ぶ洋車の待機陣—なんと物凄い行列であらう、洋車は芝罘第一の交通機關であつた、一日中市内を駈け廻つても自動車の姿といへば二十年型の自家用が二ツ三ツ……こゝにも有閑地チーフーの特異性がある(寫眞は船に集るサンパンと洋車の待機陣)

小說 儒林外史 (卆)

原作　吳敬梓
譯　瀨沼三郎
挿畫　河野久

彼はさう決心するとその事を兄弟の耳には入れぬやうにして張鐵臂に賴み、喪服を質に入れて來て貰ひ、五百文を得たのでそれを枕元に置いた。

その日終日、激亭に在つてあたりの眺望に心醉し、夜やうやうと部屋に戻り、枕元に手をやると五百文の錢が一枚殘らず消失してゐた。

「この部屋には誰も別人はゐない筈だが。楊執中の獃馬鹿の倅を除いては……」

と思ひながら彼は正門の門番部屋に往つてみると、老六は其處に腰掛けて門番共と馬鹿囃をしてゐた。

「老六、一寸話があるが」

獃馬鹿の老六は一杯機嫌で泥醉らず泥醉の態であつた。

「叔父さん、俺に何ぞ用かえ」

「拙者が枕元に置いた五百文をお前見なかつたかえ」

「見たとも」、

「何處へ片附けて臭れたかえ」

「ありや、晝過ぎに俺が持出してすつかり賭博ですつてしまつただ。まだ十五六文、この巾着に殘つてゐるが、また後で燒酒でも飲むべえと思つてゐるだ」

「おい、老六、こりやまた奇怪の事を聽くものだね、俺の錢をお主が持出して賭博ですつてしまつたとは!」

「叔父さん、あんたと俺はもともと一人の人間なのだ。あなたは即ち俺で、俺は即ちあなただ。彼我の分ちはねえ筈だ」

獃馬鹿の老六はさう言ひ終ると横を向き、顎を上げてふいと外に立去つてしまつた。權勿用は憤怒に燃えた眼を瞬つて出て行く老六の後姿を睨みつけた。彼は怒るには怒つたが口を固く閉ぢて一語も吐かなかつた。眞實に彼は言ひ出すことの出來ぬ苦しみを味はされたのであつた。この事以來權勿用と楊執中の間は面白くなくなつた。權勿用は楊執中を馬鹿だと言ひ、楊執中は權勿用は氣狂ひだと言つて互に罵り合つた。兄弟は權勿用が上着を着てゐぬのを見て淡黄色の緞綿の着物を彼に贈つた。

兄弟は賓客を遍く招待し大盛の二艘の船を用意した。厨役、酒番召使ひ、茶汲み等のために別に一艘仕立てられ、ひと組の囃子方を乘せた舟も加へられた。

時は四月中旬、天氣晴朗。主客はみな單衣の鰹袴の手に團扇を使つてゐた。この會合は大會とは謂へないまでも濠山の人が集まつた雅集の人物は蘧玉亭、婁琫亭、蘧駪夫、牛布衣、楊執中、權潛齋、張鐵臂、陳和甫の面々で魯編修公は招かれたが顏を見せなかつた。八名士の外に楊執中の獃馬鹿倅老六も同乘を許され、一行は九人であつた。

舟中、牛布衣は詩を吟じ、張鐵臂は劍を使ひ、陳和甫は例の觥籌で人を笑はせ、二人の公達は雍容爾雅、蘧女婿は俊俏風流、楊執中は古貌古心、權勿用は怪模怪樣(奇怪極る姿)といふ姿で納まり眞に一時の盛會であつた。兩側の舟窓は明け放たれ、小舟からは妙なる樂が奏ぜられ、ゆるやかな櫂に送られて鶯脰湖に達した。

直ぐ酒宴の席が準備され十幾人の召使は交る〳〵肴を運び、酒を酌み、肴を運んだ。料理の新鮮、酒茶の淸香は謂ふまでもなかつた

盃の數、重なりて月の昇る頃に到れば二艘の船上には五六十盞の羊角燈が點され、水面に光る月色に映え、白日のそれのやうに輝き照つた。

囃子方の奏樂の音は澄み渡る虛空に響き、瀏喨たる音を十餘里の彼方にまで傳へた。兩岸に集へる見物人は湖中の神仙を望む心地して羨望せぬものはなかつた。一夜を湖上に遊び明して歸途に就いた。蘧女婿は歸つて叔父に見えると編修公はかう言つた。

「あなたの叔父さん方が歸宅されたのは門を閉ぢて學業を治め家名を擧ぐためである。何故あの樣な者ばかりと交を結ぶのか。斯樣な輕率な手輩を近づけてゐたなら碌ちくいゝことはあるまい」

匪賊の損害には "保險金を支拂はず"

近藤林業事件を繞って 滿洲保險界の大論爭

【哈爾濱特電二日發】匪賊襲撃による保險物件の損害支拂ひに關し保險會社と被保險者間に意見の對立を見てゐる即ち被保險者たる北滿東部線ヤブロニヤ驛附近の近藤林業公司では去る五月二十四日匪賊の襲撃を受け八十萬圓の損害保險契約を附せる木材の約八割六十餘萬圓を燒失せしめられた結果、契約會社たる帝海、日滿、大連火災、扶桑、三井の五社に對しこれが支拂ひを要求したところ會社側では「暴動一揆內亂による損害に對しては保險料を支拂はず」との商法上の條項を引用して支拂の義務なしと主張したので近藤公司で近く訴訟を提起することになつた

訴訟になれば 保險會社不利か

哈市消息通の觀測

同問題に關し當地消息通は次の如き觀測を下してゐる、即ち會社側の契約履行の義務なしと主張する「暴動…」の條項を檢討するに掠奪を目的とする匪賊とその性質に於て相違してをり、且つ現行海上保險は海賊襲撃による保險物件の損害に對しては支拂義務を有してゐる以上滿洲の特殊的存在とも認めらるべき匪賊襲來による損害は當然支拂ふ可き義務ありと見てゐる

特産輸送に ドイツの自國船主義

海運市況不振

最近の滿洲特產物相場崩落につれ歐洲よりの引合ひも生氣を回復せる模樣で六月中同地向輸出は七萬噸を超えると見られるが大連、歐洲向運賃は依然不冴商狀にて目下十四志から十六志見當を唱へてゐる、浦鹽、上海その他東洋各地に荷待停船を餘儀なくされてゐる外國船は未だ四十五萬噸に上り四散せず延いて當地海運市況を壓迫してゐるが、特に頭來注目すべき現象としては滿洲大豆の最大の顧客たるドイツが自貨自國船主義を同國向大豆の輸送に當つても強行せんとする傾向である、即ち最近ドイツとの大豆引合中には自國船による輸送を條件とするごときものも散見されるのである

しかし海運營業者の觀測によればドイツの自貨自國船主義は滿載船に適用することは殆んど不可能で現實には單に定期船にのみ可能であり隨つて數量も一、二千程度以上には上らずとし樂觀的態度を持してゐる

今後通關業者の資格制限か

大連水上署で座談會開催

密輸その他の弊害防止の見地から關東州廳では近く通關業者の取締單行法規を制定して、この統制を計ることになつたが、これがため二日午後一時より大連水上署において關東州廳石橋保安課長、大和田庶務課長、淺子水上署長、大連稅關矢田副稅關長、滿鐵長岡經調員、山根通關組合長その他商船、國際等代表者約十數名出席し通關業者統制に關する座談會を開催した

現在 大連には百二十數名の通關業者があり、荷主の代人として一般通關事務を取扱つてゐるものであるが、これは單なる許可營業であつてその取締は一般營業取締規則の手ぬるい規定に過ぎない結果、種々弊害を生じ犯罪事故さへ續々惹起してゐるので遂にこの單行取締法が要求されるに至つたものである、本日の會議においては稅關側より嚴重なる警察當局の取締が要求され、また滿鐵側よりは荷物の迅速な捌きが要望されたが州廳當局側は大體の意向としては新取締法規に於ては通關業者に對し一定の資格制限を附しその統制ある取締を行ふ模樣である

廣東荷捌活況

對日空氣漸次好轉し 大連港の對支貿易復活せん

所謂北支問題も安定し日支關係は逐次好轉を見つゝあるが、當地業者への入電によれば廣東においても同地排日團體たる民衆救國會は總司令陳濟棠氏の排日行爲彈壓方針を極め、事實上解散に等しき狀態となり同地排日團體もその跡を絕つに至つた結果、同地經濟界は愁眉を開き貨物の移動も漸增傾向を辿り荷捌も良好であると、かくて北支の和平と相俟ち中南支の空氣緩和とともに、漸次日支間の貿易も殷賑を來すべく、またこれに伴れ事變後衰退を辿りつゝある大連港の支那諸港向仲繼貿易も復活するものと見られる

管船局長更迭

【東京二日發國通】遞信省管船局長淺野平二氏は今回新設せられるジャワ航路會社に入社する事になつたので、これに伴ふ異動は二日の閣議で左の如く決定を見た

任遞信省管船局長 熊本遞信局長 小野猛

任熊本遞信局長 遞信省管船局監理課長 伊勢谷次郎

今年度の棉作 昨年より二割減か

旱魃で播種期遲る

【奉天電話】昨年度收穫面積九萬二千町步、收棉量三千萬斤をあげた南滿洲並に奉山沿線の棉花は今年度は氣候不順のため意外の不作で早くも昨年度に比して同は平均三割方の減が豫想されてゐる、即ち冬期降雪なきに加へて久しく降雨を見なかつた爲に播種期において土地の乾燥甚だしく四月中、下旬に至り漸く播種を開始したが水分なきため發芽成績至つて惡く、地方によつては、二、三回に亘り蒔かへを行つたところもあり棉作を斷念して他作物に轉換したものも尠くない、五月二十六日の大降雨によつて漸く發芽を見たがその後の發育狀態は播種、發芽の遲延から、依然香しくなく、十日乃至十五日の遲延を見せてゐる、かゝる有樣から發芽面積において既に平均三割方の減少が見込まれ、今後順調に恢復し發育するものとしても昨年の如き收穫を擧げることは至難とされてゐる、而して右の播種の減少は單に旱魃のみならず、棉作が非常な技術を要し昨年の不作から農民がこれを忌避し、雜作容易にして有利な高粱作に轉向したことも有力な原因として見逃せない、主要棉作地方の本年度耕作狀況は左の如くである

遼陽地方 例年穀雨（四月二十一、二日）前後播種を行ふのであるが、本春は旱魃のため播種著しく遲延、四月中に播種したもの僅か二、三割に過ぎず、降雨を待つたが、待ち切れず南部の陸地棉地帶は灌水によつて播種するものさへあり、五月中旬までには昨年度の耕作面積の七割內外の播種成績で、二十六日に三二粍の雨量あり一齊播種にかゝつたが既に播種期を逸して生育の遲延を蒙り、他作物に轉換を試みたもの多く、六月中旬現在にて播種面積は前年より二割減の約二萬八千町步內外と見込まれてゐる、發芽狀況も香しくなく五月末現在で、前年の約四割見當といふところであつたが、六月に入り降雨續き十八日迄に八四粍といふ降雨量に全部發芽を見たが、前記の如く播種の遲延から生育も著しく遲延し陸地棉にあつては約半ケ月在來棉で約一週間遲れ、生育不整であるが、今後氣溫次第では必ずしも悲觀を要しない

遼中縣地方 四月下旬より五月中旬に亘り播種、五月五六日ごろが播種最盛期であつたが高粱その他の特用作物へ轉作するもの多く、昨年より減少した五月二十六日、二五粍の降雨ありこれで發芽が著しく促進され中旬ごろ播種したもので一齊に發芽したが、發育惡しく昨年より十二、三日遲延してゐる

海城大石橋地方 この地方は遼陽附近に比しより溫暖な關係上、四月十日ごろより播種するのを例としてゐるが旱魃の爲め播種出來ず、土質や水分が比較的良好の地や部落附近で灌水容易な地が辛うじて穀雨前後に播種した、それも從來行はれなかつた低畦播種法を行ひ或は發芽不振の爲め同一圃場に二三回播種するなどの非常對策を講じてこの結果で四月末より五月上旬が播種最盛期であつた、しかし一般に發芽成績非常に惡く缺株を生じたり、改作したものも少くなく、播種面積は海城縣五萬七千七百畝と前年より二割方減、更に發芽の不成績や、發育の不齊から今後も樂觀できない

黑山地方 四月二十日ころより五月上旬にかけて播種したが豫定面積の約八割外であと一割は十五日の小雨に漸く播種、殘り一割は棉作を斷念他に轉作した模樣で更に發芽成績香しくなく二十日ごろ一割方他作物への轉作を試みた、下旬の降雨で六月四日ごろまでに一齊發芽したが、降雹の被害に一部はまた改作かくして發芽面積は前年より三割方減じ發育も例年より十日乃至二週間の遲延を來してゐる

土建協會火曜會 大連土建材料商協會では二日正午より土建協會會議室において協會役員からなる火曜會を開催した

滿洲棉作に 貴重な經驗

樂觀する棉花協會

【奉天電話】本年度の棉作は別項の如く極度に悲觀視すべき狀態ながらその原因が旱魃といふ自然現象であつて人智を以ては如何ともすることが出來ず、滿洲棉花協會でも策の施しやうなく拱手傍觀の態であるが同協會では必ずしも悲觀するを要せず、却て滿洲棉花の二十ケ年計畫遂行上貴い試練を與へたものとして今後の增殖獎勵上に裨益するところ尠くないとしてゐる

即ち昨年度の實績は出穗狀況より歸納して實際收穫面積九萬二千町步、三千萬斤といふ成績を擧げてゐる、勿論一昨年に比すれば減作で從來の統計が杜撰を極めたものであつた點よりすればこの成績も左程喜ぶべきではないが、所謂二十ケ年計畫よりすれば甚だ行過ぎた憾なしとしない、從來棉作が有利だといふことから何等經驗のないものまでが棉作を行ひ、棉作に最も關係ある水分や土質などに就て考慮を拂はなかつた結果、加速度的に增產を來し不自然な發達を遂げたものである昨年偶々不成績からと高粱が暴騰したことから又他作物に轉向するものが多かつた、今年は又豫期しない旱魃で不運が續いたが、これにより農民も耕作上貴い經驗を得て今後に處するし、指導員も非常な參考資料を得、今後いろいろ研究することとならうから長い目で見れば却つて好結果を齎らさう、既に二十ケ年計畫が行過ぎてゐるのであるから、一年や二年足踏時代があつた方が將來にとつて好ましい、この見地より決して悲觀などする必要はない

北支那經濟の展望（七）

平津財閥を凌ぎ 重きをなす浙江資本

一八六〇年天津の開港が十數國と資本主義商品を結ぶ機となるや間もなく諸外國銀行支店は貿易の媒介機關として、又對支借款、事業投資等を目的とする帝國主義的進出の足場としてこの新市場に殺到し、錢莊と華商銀行の間に割込み、今や天津金融界は外銀の跋扈舞臺と化しつゝある、現在天津の外國銀行支店は日本資本系の正金、朝鮮、正隆、天津四行、英國資本系の匯豐、麥加利二行、米國資本系の美豐、大通、花旗、運通四行、佛資本系の東方匯理、中法工商二行、白の華比、獨の德華、伊の華義等十五行である、これ等の諸外銀は一方に於ては自國貿易商の活動と結び付き實權を握つて天津貿易の大半を操縱しつゝ、他方に於ては在津華商銀行、錢莊の上に君臨してゐる

◇

錢莊、華商銀行、外國銀行の三者間に於ける最も顯著な對立は錢莊と華商銀行の間にある、その要因は兩者が大小の規模こそ違へ共に商業高利貸資本といふ同性質を保持し、その故に往々競爭的立場に置かれるためである、併しながら華商銀行は錢莊に對しても資金の援助をなす上層の地位にあり、從つて兩者間には勢力分野を劃分し得るに足る分業關係をも發見し得る、外國銀行はそれ等とは異質的な資本を擁するために兩者の對立關係に超然として支配的地位に立つてゐる、天津における三者の資本額は詳らかでないが、支那全國の例をとれば外銀四十三、外支合辦二十、華商百四十で資本額の比較は（單位百萬元）

	公稱資本	拂込資本
外國銀行	九一〇	六八〇
外支合辦	一五〇	一〇四
華商銀行	三七五	一五八

これによつても外銀の支配的地位を理解することが出來やう

◇

天津金融界の問題で最も興味をそゝるものは平津財閥と浙江財閥との實力關係である、支那で財閥といつてもそれは日本の三井、三菱財閥の如きものではなく、例へば浙江財閥は上海を本據として活動する金融業者、實業家、その他財界の有力者等の漠然たる集まりを總稱するものである、浙江財閥が南京政府の御用財閥として各地の金融界に君臨することは周知の事實であるが、それと平津財閥との勢力關係は如何なる數字を表してゐるだらうか？上海系華商銀行（上海に本店のみの二行、上海に本店、外埠に支店あるもの十八行、本店が外埠上海に支店あるもの九行）の在上海資本額の推定は十二億六千萬元、平津華商銀行（天津に本店他埠に支店あるもの四行、他埠に本店天津に支店あるもの十三行、他埠に本店、北平に支店あるもの十六行）の在平津資本額の推定は五億九千萬元で上海の約半數を示してゐる、然し在平津銀行即ち中平津財閥系以外の各系銀行即ち「他埠に本店を有し平津に分支店ある」銀行の資本推定額は在天津十三行が約三億一千萬元、在北平十六行が一億八千萬元、計四億九千萬元で總額の八二%を占めてゐるが、これ等の諸行は前述の如く直接に浙江財閥の支配を受けてゐることによつても平津財閥の勢力が如何に微々たるものであるかを知り得るだらう

◇

天津の金融界はアメリカの銀政策が導火線となつて勃發した全國的金融パニックの嵐に捲き込まれて瓦解の前後に直面してゐる、それは先づ潮の引く樣な勢ひで流出する現銀の流出となつて表れ、是に伴ふ金融梗塞、更に今年に入つて舊正、端午節句を境目に續出した錢莊の倒產は天津金融界關係筋を驚愕せしめてゐる、支那金融パニックの原因は近因としては全くアメリカの現銀買上政策に由來するものであるが、その遠因は半封建的、半植民地的支那經濟の行詰りにある、組織の缺陷と政府の銀政及び帝國主義の重壓等によつて全く去勢された支那經濟は人智の耐へる抵抗性が缺乏してゐた、併しその崩壞を「今か今か」と待たれながら、なかなか倒れない粘着力——原始動物の如き執拗な生產力こそ支那經濟機構の特性である天津における錢莊の倒產を從來の例に見れば倒產の後には多くの場合新らしい錢莊が現れてゐる、これは錢舖、小工業等の資本家が殆ど昔の軍閥、政客等で利に敏い彼等は利潤の少い企業から資本をとりあげ新らしい企業に投資することを常套手段としてゐることに基く、かくの如き特殊事情は續出する錢莊の倒產に表れてをり、それは又かゝる官吏資本の逃避期に臨む態勢と看做の表徵を遺憾なく描出してゐる

後場市況（二日）

錢鈔 焦付き

後場は無材料に閑散焦付き

◇定期（單位錢）

	寄付	高値	安値	大引
七月十三日限	三六五〇	三六五五	三六五〇	三六五五

出來高 二十六萬圓

◇現物（單位錢）

	銀對金	銀對洋	金對洋
一時	三六五〇	一〇六〇	[illegible]
二時	三六五〇	一〇四〇	[illegible]

出來高（銀對金十六萬六千圓 銀對洋一萬三千圓）

株式 頭重い

後場は小甘く寄付あと軟弱保合ひにて頭重い商狀であつた

◇定期（單位十錢）

銘柄	當限	先限
五品 寄	一五九	一六一
五品 中	—	—
五品 引	一五九	一六一

◇延取引

銘柄	寄値	高値	安値	大引
五品	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新豆	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—
錢鈔	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—
氷新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—
電々	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—
電乙	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—
滿鐵	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—
同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—
土木	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—
大新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日產	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝取	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—

商品

綿糸、麻袋 出來不申

人絹 出來不申

▲東京人絹（單位十錢）

限	一節	二節
七月	六〇九	六〇八
八月	六一四	六一四
九月	六一三	六一三
十月	六一六	六一五
十一月	六一六	—

▲大阪人絹（單位十錢）

限	一節	二節
七月	六〇六	六〇六
八月	六一一	六一〇
九月	六一三	六一二
十月	六一四	六一三
十一月	六一四	六一三

奥地市況

▲奉天國幣對金票 現物 一〇三、九〇 一〇三、八〇

▲奉天金票對國幣 先限 九六、三〇 九六、三〇

▲奉天鈔票對國幣 現物 一二一、八〇 一二一、八〇

市場電報

株式（單位十錢）

大阪（長期） 寄値 引値: 大株 九〇 九〇; 鐘紡 [illegible]; 日穗 — —; 滿鐵 — —

大阪（短期）: 大新 [illegible]; 鐘新 [illegible]; 滿鐵 [illegible]; 東新 [illegible]

東京（長期）: 東株 [illegible]; 東新 [illegible]; 鐘紡 [illegible]; 日產 [illegible]; 帝人 [illegible]; 滿鐵 [illegible]

東京（短期）: 五品（當・中・先） — — —; 新豆（當・中・先） [illegible]

期米

大阪（寄値・引値）、神戶（寄値・引値）、東京（寄値・引値） 當限 中限 先限 [illegible]

大阪綿糸（單位十錢） 七月 八月 九月 十月 十一月 十二月 一月 [illegible]

橫濱生糸（單位十錢） 七月 八月 九月 十月 十一月 十二月 [illegible]

神戶特產 大豆現物 豆粕現物 滿洲小麥 [illegible]

兵法全集

中央公論社版

世界に誇る東洋精神の結晶

吾々日本人は、未だ曾て敗戰の慘さを味はつた事がない。然し個人としての日常生活に於て、吾こそ凡ゆる場合に勝つ、と豪語し得る人があるか。世の中には、要領が悪い斗りに、折角の才能を發揮できない人が多い。不經濟な話であり、殘念至極な事である。兵法は好運な人の武器である斗りでなく、又不遇者の武器でもある。

古代から有名な一巻は
孫子の兵法
御申込と同時に配本致します

實物は各書店にあります

政治の要訣・處世の秘法

平田晉策氏曰く

東洋の兵法の生命は、近代科學が起つていよ〳〵輝きを増し、孫子や三略を知つてをれば、航空戰隊でも、機械化兵團でも、使ひ方が違つて來る。天下一品の冴え切つた大場少將の講義は、通俗兵學の最高峰で、どんな軍談や軍事小説よりも面白い。しかもそのまゝ各國陸軍大學の兵術教科書にしたいほどつこんで書いてある。よくもこれだけ興味ある軍談が、山盛りに出來たものだと、つく〴〵感服させられてしまふ。この全集を讀めば、誰でもたちまち兵術通になり、しらず〳〵の間に、政治の駈引の裏の裏までが見えるやうな眼光が養はれる。そも〳〵、兵法書は實は公にしては政治の秘訣、私にしては、處世の秘法である「孫子」に「この本だけは、應用したい」と思はれるであらう。

兵法を戰場だけの仕事だなどと考へるのは、愚の骨頂で、兵法書は實は公にしては政治の秘訣、私にしては、きつと、「この本だけは、應用したい」と思はれるであらう。「兵法全集」の六巻。みなこれ立身出世の教科書で諸君が若しこれをひもどけば、とにかく、これを讀めば、眼光が冴えて物の見通しがよくつくやうになり、何事につけても、二段構へ、三段構への不敗の人生陣を敷く事が出來るやうになるであらう。それに・わが國の神代からの傳統の、義勇公に奉ずる精神をもつてすれば、諸君は必ず人生の勝利者たることを疑ひないのである。

兵書七書とは何であるか

古來兵學の聖典と云はれてゐる兵書七書とは孫子、呉子、六韜、三略、司馬法、尉繚子、李衛公問對の七つてす。斯う云ふ書物の名前を列記すると、非常に古い物のやうに思はれますが實は「孫呉の兵法」と云つたり「六韜三略虎の巻」などと云へば、知らない人はないでせう。兵書、兵法などと云ふからと云つて、單に戰爭の場合のみに限るなどとお考へなきよう。日常生活に於ける他人との交渉、處世戰術、立志修養訓としても、古今獨歩の指南者なのです。

■講者は學術界の■
大場氏は陸軍切つての兵法家。日露戰役には旅順攻撃に参加、シベリヤ出兵には鬼参謀として謳はれ、後名古屋第三師團の参謀、太刀洗の飛行隊長、陸軍航空本部第二課長、所澤飛行學校、明野飛行學校教育部長を歴任、昭和六年少將に任ぜられ待命となつた。「空中戰」「空軍」「狩獵」等の名著が多い。

■譯者は漢學の權威■
公田氏は初め、文學博士根本通明氏の門に入り、爾來四十年間漢學研究に終始した、我國漢學界の隠人である。漢學悲運の時も最後の孤壘を護り、漢學復興と東洋精神の闡明に盡した功績は大である。國譯漢文大成四十巻。續國譯漢文大成四十八巻の大事業も、氏の編纂に依つて達成された不滅の業である。

申込規定

配本期間。昭和十年七月より毎月一冊宛刊行同十一年一月を以て全七巻を完結します。
體裁。菊大判。各巻約四百五十頁。
讀み易い工夫。活字は讀み易い大活字を多く用ゐ、製本は特別かゞりですから、夜間の讀書、車中携帶用としても頗る便利です
會費と送料。毎月拂一圓五十錢及左記送本料一時拂は九圓(及左記送本料)に割引

【送本料】	市内	地方	台・樺・滿鮮・關東州	海外
毎月拂	〇・〇六	〇・一四	〇・二四	〇・三四
一時拂	〇・四二	〇・九八	一・六八	二・一〇

申込の方法。〆切までに第一回分の會費一圓五十錢に豫約申込金五十錢(是は最終會費の一部に繰入)を添へて、書店へ御申込下さい。全額一時拂の方は申込金不要です。申込金は解約の場合にも返却いたしません
御送金は。直接本社へ御註文の際には振替東京三四番を御使用下さるのが御便利です。
申込締切日。昭和十年七月二十日。

(無代進呈) 内容見本及び便箋の兵法(十六頁もの)。

東京驛前丸ビル五階 中央公論社 振替東京三四番

全七巻 總振假名付 箱入の美本 堂々五百頁 特價各冊一円五十銭

百戰必勝、世渡り百般應用の意ま〻!!

現代は兵法の世の中——諸君の成功不成功は一つに戰術の巧拙にある。思ひ當る筈だ!!

陸軍少將 大場彌平講・碩儒 公田連太郎譯

感激の坩堝の裡に 外山本部隊出發
☆堂々！昨夜三回に分れて☆ 大連驛に大歡送陣

皇國の生命第一線死守の重大任務を帶びて勇躍大連に上陸せる名譽の精鋭駐滿交代部隊外山本部隊將兵は長途の疲れを癒やす暇もなく二日午後八時五分第一回〇〇名、同九時二十分第二回〇〇名、同十一時四十分第三回〇〇名に分れ感激堂々大連驛を出發、驛頭白のエプロン姿も甲斐々々しい國防婦人會員をはじめとし市内各代表團體各學校生徒並に一般市民等はプラットホームに溢るゝばかり力強くも銃後を守る老若男女が熱誠こめた萬歳の歡呼の聲、打ち振る日の丸の旗、響きわたる太鼓の響に送られて凜々しい國民的一大感激の坩堝と化した中を一路〇〇へと向つた

忠靈塔に參拜

同第四回〇〇名は三日午前七時三十五分、第五回〇〇名は同九時四十分大連驛を出發する

上陸の交替部隊は一たん休憩所に落着き、晝食後身體を淨めてより各部隊長引率し忠靈塔並に大連神社へ參拜した

日滿中等學校長會議

十一月上旬新京で開催される日滿中等學校長會議は滿洲教育界の綜合會議として日滿學生の融和親睦教育上大なる意義がかけられてゐるが、同會議は南滿洲教育研究會並びに滿洲帝國教育會の省立四十校學校長が新京中學に會合し、日滿精神結合強化促進の具體策を研究する第一日の總會と第二日の學校合同視察、展覽會、學藝會、運動會等が開催

七月一日大連神明高女で例會を開いた南滿洲教育研究會十二校々長會議でもよりよく日滿精神教育の具體案を協議した

先祖の犀
リノサウルス
水枯れの松花江河底で發見 五十萬年前のもの

【哈爾濱特電二日發】松花江は昨年の洪水で水流が變化したところへ本年は例年にない減水で從來河底であつたものが隨所に露出し、飛んだ拾ひ物があつて夏の夜に好個の話題を提供してゐる

數日前には一滿人漁師が投網に掛つた長さ三米餘もある野牛の角を發見したが三十日には又復一滿人が哈爾濱上流古郷屯の河中でリノサウルス（現在の犀の祖先）の頭骨を發見したのを野ロドクトルが買込んで、哈爾濱博物館長ルカシキン氏の鑑定を乞うたところ

リノサウルスの頭骨は昨年ル氏がインテンダンスキで發見したのが北滿では初めてゞ、今度は二回目だが、今回のものは昨年のものより大きく洪積期（約五十萬年以前）のものであると

なほ右頭骨は下顎を完全に殘し七本の齒がついたまゝの珍しいもので、この頭骨によつて全骨格を想像して見ると現在のアフリカ象位の大きさである

被害二十府縣

【東京二日發國通】一日午後五時までに各府縣より警保局へ達せる報告によれば水害被害は二十府縣死傷者二二七名▲家屋被害二二〇七四戸▲橋梁被害八一五▲堤防決潰一、〇三二▲道路二、二三三ケ所▲田畑浸水七七二、二六九町歩▲鐵道破損六三ケ所で[illegible]縣最も甚しく[illegible]、佐賀これに次ぐ

水害の後に 惡疫が流行

【大阪二日發國通】風水害に見舞はれた大阪は二日一週間振りに晴れたので罹災民は布團干しや壁片附等に復興氣分横溢してゐるが赤痢、腸チフス、[illegible]等傳染病猛襲の兆現れ

一日大阪府下の傳染病發生數は百十二名（赤痢六十二名、腸チフス二十四名、其他二十六名）を算し前日に比し四十六名の激増を示し、大阪府衞生課では赤十字社支部と協力防疫陣を張つて活動して居る

阪神外市内各電車は阪神電車を除として何れも全通した

久留米市民に 政府米拂下げ

【門司二日發國通】水禍に見舞はれ食糧缺乏に追ひ込まれた久留米市民救濟のため、農林省門司米穀事務所では本省の指令により二日取り敢ず久留米港川倉庫に保管中の政府米二千石を久留米市當局に引き渡す事となつた

今後事態に應じ第二第三の拂ひ下げをする事となつたので、久留米市の米の脅威は完全に解消されたわけである

不備と矛盾を指摘 檢察官に肉薄
高橋辯護人〝無罪〟を強調す
新興賭博事件公判

新興倶樂部賭場開張事件の辯論二日目は二日午後一時三十分再開、午前に引續き高橋辯護人は今中、赤塚、武田、佐志四被告のため舌鋒鋭く事實論に入り、檢察官の調査に就きいち〳〵その不備と矛盾を指摘して、相變らず檢察官に肉薄し午後三時四十分一先づ休憩、二十分後三度開廷、法律論に移り前後四時間に亘つて起訴の失當を鳴らして無罪を強調した、その後を承けて玉置、米岡兩辯護人は倶樂部理事辻慶太郎被告のため起ち玉置辯護人は

辻被告が苦學力行、立志傳中の人物であることを賞揚し事件連坐後被告は自分の修養と徳の足らざることを歳六十にして初めて知つたと悔悟してひたすら謹愼、宗教に歸依し判決を俟つて日本全[illegible]の神々を行脚すべく決意してゐる位で改心の情顯著なるものあり

と情狀論一點張りで寬大を歎願、次いで米岡辯護人は情狀論、事實論、法律論の三段論法で約一時間辻氏のため熱辯を揮ひ、午後六時閉廷

【寫眞】大連忠靈塔に參拜した外山本部隊の勇士(上)大連驛を出發(下)

星島氏を訪問
オリンピック招致反對運動の代表等

【新京電話】オリンピック日本招致反對運動を起した[illegible]體育同志會では、[illegible]議員會議に出席の途次來京した衆議院議員星島二郎氏を一日午後九時ヤマトホテルに訪問、代表岡部平太氏以下數名が反對運動について説明の結果、星島氏より次の如き約束を得たと

余としてはオリンピック招致運動には關係せず、單に副總裁バイオツール氏を日滿視察に招致する運動に止める

都市對抗野球州外豫選
3A—2 奉天軍に凱歌
◇……對撫順優勝戰

【奉天電話】全國都市對抗州外豫選の奉天倶樂部對全撫順の[illegible]戰は二日午後四時十分より奉天國際球場にて山口（球審）安藤、大貫、平田（壘審）諸氏審判、撫順先攻で行はれ3A—2で奉天軍優勝し晴ある滿洲代表權を獲得した[illegible]時四十五分

撫順 000 000 200＝2
奉天 021 000 00A＝3

戰評

大盤大會開始當初より盛りを示してゐた打撃のチーム撫順も此の日奉天の柴田君の下手投に[illegible]の核心をなす上位打者振はず二、三、五、七、九回と五度訪れた[illegible]を僅かに七回をものにして二點を擧げたのみに反し奉天は二、三、七、八回の四度訪れた好機を二、三の兩回キャッチして三點を擧げ遂に[illegible]を得た奉天の先陣投手柴田君の下手投はスピードにさほど見るべきものはないが球の變化して打者に對しては[illegible]を立てた之に對し撫順の大石君も柴田君に劣らない投球を示したが一外看の[illegible]

攻撃陣に於ける味方の不振は勝利への一歩手前で遂に恨みを呑むに至らしめた卽ち二[illegible]奉天に先取の得點を奪取せられて以來撫順打者の焦慮は徒らに惡球を強振して打上げ好球を見送つては三振し、僅かに七回其の打撃力を示して[illegible]を緊張せしめたに過ぎなかつた結局バランスの攻守力を有した奉天の今日あらしめたといひ得やう

(撫順)

守	選手	打數	得點	安打	犠打	盜壘	三振	四死	刺殺	補殺	過失
9	小寺	5	1	2	0	0	1	0	0	0	0
2	小島	5	1	0	0	0	0	0	3	2	0
5	白川	5	0	1	0	0	1	0	1	5	1
8	田[illegible]	4	0	0	0	0	2	0	12	0	1
4	井下	3	0	0	0	0	0	1	3	0	0
3	工藤	4	0	1	0	0	1	0	3	0	0
7	西山	1	0	0	0	0	0	3	2	1	0
6	森下	4	0	1	0	0	0	0	0	5	0
1	大下	3	0	1	0	0	2	0	0	2	1
PH	(根岸)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	35	2	6	0	0	7	4	24	15	3

(奉天)

守	選手	打數	得點	安打	犠打	盜壘	三振	四死	刺殺	補殺	過失
7	針[illegible]	4	1	2	0	0	0	0	3	0	0
8	西尾	3	0	0	1	0	0	0	1	0	0
2	今市	3	0	0	1	0	0	0	8	0	0
1	柴田	3	1	1	0	0	1	0	0	0	0
1	(小)[illegible]	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	米松	3	0	0	0	0	0	0	1	4	1
4	阿田	2	1	0	1	0	0	0	4	2	0
3	大隅	3	0	2	0	0	0	0	7	0	0
6	山崎	3	0	1	0	0	0	0	1	1	0
9	香川	3	0	0	0	0	0	0	2	0	[illegible]
	計	28	3	6	3	0	1	0	27	7	1

△三壘打—白川△二壘打—小寺、工藤、柴田、大隅△試合時間—1時間35分

はるびん丸船客

（四日大連入港豫定）西田源太郎、一等軍醫藤井[illegible]、西[illegible]吉太郎、杉原武之助

淡路丸 三日午後七時大連着外着の豫定（船客四十名）

見るからに好々爺
〝今秋は日本へ行つてみたい〟
エストニア名譽領事 ルーテ氏

大廣場から約二丁、午前十時に近い業外線がさんさんとふりそゝぐ山縣通りにもの靜かな影を投ずる正隆ビル——

入口の扉に かかる〝三頭の青獅子〟はエストニヤ國旗のシムボル、そしてエストニヤ名譽領事アルフレッド・E・ルーテ氏は正隆ビル内〝ルーテ商會〟のマスターである。

來意を告げると、執務中快よく握手を以て記者を迎へる。見るからに親愛と好意を抱かせられる好々爺——さながら十年の知己にめぐりあつたやうだ。

「滿洲日報は大きな新聞ですネ」と大へん愛想が良い。昨年七月名譽領事就任の際は本社を訪問してその挨拶をしたさうな……。始終にこやかな柔和な顏に、その髭と云ひ又大きな八角眼鏡と云ひその奧から覗くまなざしと云ひ、實にルーテ氏の人柄にしつくりと調和がとれてゐる。

氏は一八八八年七月廿六日誕生——小學校、商業學校を卒へて

師範學校に 進んだが、卒業後直にエストニヤ國團に二年間服役 それから露亞銀行に職を得てザバイカル州ヴエルフネウヂンスク同行支店を振出しに哈爾濱、コーカサス、上海等を經て一九二一年同行大連支店長に任ぜられて二年勤め、次に英國シベリア農業會社支配人並に極東ユダヤ商業銀行哈爾濱取締役として一九二六年迄哈爾濱に、その後北支モーター會社重役として青島に一年間ゐたことがあり、一九二九年以來大連で現在のメリケン粉、材木、鑛油貴金屬その他手廣く輸出入を業とする〝ルーテ商會〟を經營してゐる……大連は非常に好きでこれからも永らく

安住の地と したいといふ希望は、今までが忙しい仕事にたづさはつてゐた關係上、未だ日本を訪れる機會に惠まれなかつたが、いつも日本のことは本を讀んでその國情を愛し在連日本人にも知己が多いが、今年の秋は是非日本に行つてみたいとのこと。

滿洲國の同問題は非常にデリケートな難かしい問題ではあるけれど、心からその建國を祝んでゐることは勿論で、殊にその建國に當り日本が獻身の努力を惜まなかつたことに對しては大いに敬服して居り、且又今後とも滿洲國の

健全な發展 同國の爲には日本の優秀な人々が必要でありそれを衷心期待してゐると——

少年時代からスポーツを愛し、殊に水泳、ボート、自轉車等は得意だつたさうで、三十歳前後までは盛んに身體を鍛へた。そのお蔭で今も尚健康を保つことが出來ると、立ち上つて傍らの椅子を片手で輕々と眼の高さまで持ち上げ悠々支へて見せる元氣振り……「昔はもつと〳〵鍛つてゐたんですよ」と云ひながら、若者のやうにたくましい腕の筋肉を示して見事な力こぶをつくつて見せる。それでゐて、ピアノの鍵盤をたゝきこなす[illegible]を持つて居り音樂は大好きなものゝ一つ

又、餘暇を利しては商業經濟學或ひは文學等讀書を樂しむ

良き趣味を 持ち合はす。家庭はオリガー夫人（四三）愛孃アタリエ（一八）さんの少家族であり、寺内通り七番地露ロシヤ領事館跡がその自宅。ルーテ氏の良きパパぶりが偲ばれて微笑ましい（寫眞はアルフレッド・E・ルーテ氏）

滿洲の國際色 (30)　大連の卷（I）

兩烈士の遺骨
遺族に護られ着連

井[illegible]兩烈士の遺骨は二日午後[illegible]三十分着連、驛頭には[illegible]大連市助役、岩井在郷軍人大連聯合分會長をはじめ在郷軍人、青年團、國防婦人、學生其他官民二千五百名が迎へた

[illegible]の花環を先頭に中村少佐の遺兒[illegible]君、井杉曹長遺兒[illegible]君の捧持する二柱の遺骨は靜かにホームに降りたつ、つゞいて[illegible]中村イヨ子未亡人、長女ヤス子さん、井杉未亡人、羽山少將等が涙を紊らしてデツキを下りる、迎へるものも涙、迎へらるゝものも涙、歔欷の聲が悲しく耳を打つ中に在郷軍人團の最敬禮の號令が響く

やがて花環を先頭にホームを出た二柱の遺骨は二臺の自動車に[illegible]され宿舍[illegible]水ホテルに向つた

寫眞（向つて右より）井杉未亡人、中村未亡人、同長女ヤス子さん、遺骨を捧げる井[illegible]君同中村義君、左端羽山少將

稲田稔氏離滿 送別會を開く

多年大連獵友會長として斯會の向上發展に盡力した稲田稔氏は今回家庭の都合上東京に引揚げることとなり、五日出帆のうらる丸で離滿に決定大連獵友會では四日午後六時より吉野町大連亭において同氏の送別會を開催することとなつた、會費三圓當日持參のこと多數會員の出席を希望すると、申込所電二七三二四及電二二六〇四番

深夜の衝突

一日夜十一時十分頃黑石礁方面より疾走して來た若狹町豆タク一九一六號運轉手西山勝登（三〇）と用事を果して歸途の市内岩代町八メツセンヂヤースハトのボーイ村田孝男（二一）の乘つた自轉車とが正面衝突、村田は自轉車に跳ね飛ばされ、顏面を強打し人事不省に陷つたので直に赤十字病院へ收容手當を加へたが全治三週間の負傷で生命には別狀ない

けふの催

▼三角實思氏大講演會　午前八時半羽衣高等女學校、午後八時半大連語學校で學生の爲、午後一時一般の爲東本願寺
▼盛花、投入講習會　[illegible]水曜日播磨町滿鐵家事講習所
▼防空協會旅順支部打合式　午後二時市役所
▼滿洲國軍紹介講習會　午後七時より小崗子公學堂
▼市内小學校長會議　早苗小學校

スポーツ
◇庭球…▼高津五郎主宰座間大會第二日（午後四時半より）中央公園滿鐵テニスコートで

倶樂椅子

大連水上署司法係に入つた途端、薄いオツムがずらりと並んでゐるのには一寸驚かされる

織田司法主任以下僅か七名の世帶といふのに先づ谷本刑事の「跳遊頭」を筆頭として、安武刑事の「禿の白髮」栗林部長の「落松葉」岩木巡査の「禿始」といつたところ。

……◇……

ところがこれには用事のある一般人が入つて來た時少からず驚らされる、といふのは揃つて頭の薄い連中なので、誰が主任やら一寸見當がつかず、話のもつて行き場所がないといふわけ。

……これを知つてゐる司法の連中努めて薄い頭を撫で上げては遊ず癖がついてしまつた、それで何時も主任自ら「何んですか」と聞いてやらざるを得ない有樣これにすつかり主任腐つてしまひ「頭の薄いのはそんなに偉さうに見えるかな」と言へば、一同異口同音に「主任、どうやらさうらしいですな」

……◇……

これでは自分の自慢の濃い頭の毛とチヨボ髭の自信を失ふ恐れありと僻つた司法主任色々考へた揚句の一策「司法に一人頭フル〳〵の明朗止水樂を配して貰はう、そしたらやつて來る連中はそこに集まるからな」

異人劍法（132）

伊藤行男　金子清之介畫

双心（その八）

まるで申し合せたやうに、初音と巳之助が落ち合つたので、船宿一家は久しぶりに、にぎやかな歡びにつゝまれてゐた。行燈の灯もいつもより明るいやうに思へるのだつた。

これで嘉吉さへ戻つてくれればと、誰の胸にも嘉吉の事がうかんで來た。

「初音さん……」

と巳之助は一家の人々にかこまれ乍ら、

「あなたにはいろ/\と御苦勞をかけましたが、喜んでおくんなさい、あなたの探し求めてゐる長谷さんに逢ひましたぜ」

「えつ」

初音の顔にさつと血がのぼつて來た。風の音さへどこかで新九郎が呼んでゐるやうに聞きなされて、逢へさうな氣がしきりにしたのも、それではやつぱり蟲の知らせだつたのだ。夢ではないかと、初音はたちまち飛び立つ心を抑へ乍ら、

「新九郎さまに、いつどこで……」

「たつた今別れたばかり……」

「えつ」

「あなたが此處にゐやうと思へば、すぐにもお逢はせ出來たものを、まさかこんな事とは知らねえから、惜い事をいたしました。あつしの話に、長谷さんも、とてもあんたに逢ひたがつてゐたのになア……」

と、いかにも口惜しさうな巳之助の口ぶりに、

（では新九郎さまも私を……）

と初音は胸が一杯になつて來た。今度こそ逢へると思ふと、もう矢もたてもたまらない。辛苦をなめた甲斐はあつたと、初めて喜びにふるえ乍ら、今更巳之助の心づくしを伏拝みたい位に思つた。

「巳之助さん、有難うございました。お禮は言葉に盡きませぬ。それでは私、これよりさつそく新九郎さまをお訪ねしてまゐります」

「いゝや、いけねえ初音さん、はやるのは尤もだが、長谷さんはいま何處にゐるか御存知でござんすか」

「はい、わきまへてをります」

「えつ、ぢやアそれを承知で初音さんは……」

「はい」

「いけねえ」

と巳之助は手をふつた。

「そんな事をしちやアまた騒動がおこるばかりだ。何しろもう夜ふけの事、今夜はまア我慢をして、明日まで待つておくんなせえ。巳之助きつとおふたりを、お逢はせいたしますでござんす。それにまたひどくお疲れの御様子らしい。今夜はどうかゆつくりとお寝みなすつておくんなさい」

「ねえ、どうかさうして下さいまし」

お縫もとも/\とめるので、初音は漸くうなづいた。

夜ふけになると、まるで死んだやうな黒船の町だつたが、いつか灯を消した闇の中に、巳之助もお縫も初音も、今夜はどうしても眠れなかつた。

（さては小梅が何もかも……）

巳之助は泪乍らの初音の話に、と唇をかんでゐたし、初音は

（明日は逢へる、明日こそは新九郎さまに……）

とたのしい期待で夜明けが待たれてならないのだつた。●

お縫はまた寝返りを打つて、そつと吐息をついてゐたが、それは誰にも聞えなかつた。

親鸞聖人 (259)

女人篇 吉川英治 作 [illegible]村耕花 畫

火焔舞(二)

鉦をたゝく、鉦をたゝく。山刀を抜いて、突如、一人が踊り出すと、又二人、又三人、浮かれ騒ぎ出して、道化た踊をしはじめる。

行きたやな
八瀬の[illegible]の
夕されば
呼ぶよ 招くよ
こひしやな
[illegible]の[illegible]の
君しおもへば
よぶよ 招くよ
行いて何聞はん
會うて何云はん
否とよ
ものも得云はず
たゞ羞ましを
秋は長々し夜を
冬は戸さして
春は[illegible]も容ぐる
夏は黒髪のねばきまで
世を外に
たゞ羞ましものを

「あはゝゝッ。つまらねえ歌を謡やあがる。だが、おもしれえや、わけもなくおもしろいぞ。もつと底抜けの道化歌はねえか」

[illegible]郎が、手をうつてよろこぶと、図に乗つて、

「あるとも！」

と、踊をめぐり廻つて、又唄ひだした。

住吉御所のおん前にや
[illegible]よき女[illegible]ぞ[illegible]します
[illegible]は誰ぞと尋ねれば
松が[illegible]なるすき男

[illegible]ぶりが可笑しいと云つて、一同は、やんやと手拍子をあはせて爆笑した。

野人にも野人の理想があり哲學があるとみえて、こゝにゐる限りの人間共は、かうして家なきを憂へない、妻なく子なく身寄りなきを悲しがらない、又、明日の生活もなく、明日は縣吏の手にかゝつて河原のさらし首とならうも知れない一寸さきの運命さへも、決して悲しまうとはしない。

しかも、今の一瞬は、大満足をしてゐるのだつた。この刹那さへ楽しくあればよいとして——

ところへ。

野末のはうから風に乗つて宙空のやうに素ッ飛んで来た一箇の黒い人影があつて、近づけば、それは子供か大人かわからない例の蜘蛛太であつた。

「頭領、行つて来ました」

新しく加はつた仲間を見ると、連中は、彼の首つ玉にからみついて、

「ご苦労、ご苦労」

「さあ、飲め」

蜘蛛太はその手や[illegible]を振ひ避けて、

「頭領に話をすましてから飲むよ。酒はいゝから、少し静かにしてくれ」

エンゲイ

蒲田の傑作 お琴と佐助
"春琴抄"の映畫化
中央映畫館上映

松竹蒲田が総太鼓で総出動してゐる大作——又松竹が誇るのももつともと思はれる傑作である、名[illegible]島津保次郎監督が約半年に亘つて苦心を重ねた労作で、原作は大谷崎の名作、主役は蒲田の田中絹代に下加茂から高田浩吉、これに佐行が待つ腕達者なバイプレーヤーが総出動してゐる、この大スタッフが描き出す物語りは

明治十五年大阪道修町で老舗の薬種商鵙屋安左衛門の娘お琴、お琴は非常な佳人であるが、九つの時盲目となり、琴の道一筋に生きて来た、そしてお琴をいつも師匠のもとに手曳きするのは店の手代佐助である、

お琴は盲に生きるもののもつ驕慢な勝気な性格であり、佐助はひとの愛に臆いまでに気弱い男である、盲とは云へ妖しい迄に美しいお琴に戯れの恋慕を寄せる若ぼん利太郎、然しお琴は利太郎を手ひどくはねつける、そして一夜お琴は何者ともわからぬ曲者に顔面一ぱいに熱湯を浴びせかけられ、一瞬にして失はれた美貌お琴は變り果てたであらう醜い顔を、佐助だけには見せたくない、そのためにお琴の心は堪らない焦燥に駆りたてられる、佐助はお琴のこゝろを感じて自ら縫ひ針で瞳を突き盲目となり、美しかつたお琴の姿をまつ暗な眼底に描き続け、お琴と佐助は盲と盲の暗黒の境に「美」と「幸福」に酔ふ

この原作に現れる一つの大きな特徴は大谷崎の持味とも云ふべき官能的色彩——男を屈従さして愛しようとする女、女の支配的愛に溺れやうとする男——サディズムとマソヒズムを美の観念によつてロマンチックに謳られてゐることであるが、島津監督は多少の映畫的潤色は施したが、決して原作の[illegible]藝術的気品を傷けることなく、映畫の世界へ持つて来ることに成功してゐる、これは文學の映畫化における最高なるものであらう、唯ラストに到つて二人の心[illegible]面を[illegible]れてアナウンスする、これは一つの手ではあるが、折角の労作の綻びとも思はれる卑怯な手である

俳優では絹代の春琴が断然光るその小さな體をつゝむ妖氣鬼気も味ひ得るし感銘させられる演技、高田の佐助は役半かいゝ、[illegible]るのは斎藤の道修屋子熱演は認めるが全體の調和を破つてゐる
——S——

"丹下"上映の新富座
初日より盛況

大好評裡に大連の上映を終つた日活の大作"丹下左膳"は一日より奉天新富座に上映されたが、一日晝間既に立錐の餘地もなき入場者で大盛況を呈し、奉天における成績も亦記録的な数字を示すものと見られてゐる

16ミリ ニュース

蒲田「果樹園の女」 松竹蒲田島津保次郎監督、北村小松原作サウンド版「果樹園の女」は来月早々着手するが、キャストは左の如く決定した「[illegible]人」以来大年振りの島津、栗島のコンビ 父(藤野秀夫) 北見(山内光) 娘さん(栗島すみ子) その妹フミ子(大塚君代) 春の醫者(水島亮太郎) 小學校の先生(新人[illegible]) 大學生宇佐美(新人[illegible]達雄) レビューガール秀子(龍田静枝) 樵夫(野寺正一) その他

滿洲日報
朝夕刊共十四頁
發行所 大連市東公園町三十一番地 株式會社滿洲日報社
振替大連一六〇

國防第一線の聖軍

任重き外山本部隊 大連に上陸第一歩

埠頭に描く盛な歡迎譜

重任 を帶びる山本部隊長外各隊の精鋭を乘せた御用船〇〇丸は紺碧相映み堂々大連港に入港、こゝに滿洲への上陸第一歩を印し埠頭一帶に勇ましき軍國譜が展開された、これよりさき出迎への歡迎隊が國旗、日章旗を潮風になびかせて早曉より續々と埠頭につめかけ、埠頭待合所屋上一ぱいに溢れるやう、午前五時半頃港を衝いてまづ外山本部隊長以下の乘込んだ御用船が港外はるか水平線にその萬歳の嵐、天地を壓する歡迎の汽笛、燦然と輝く旭光、爽かな潮風を浴びて二日午前八時國防第一線守備の

雄姿 を現し、これに續き本部隊の各船が續き、いづれも滿艦飾に彩られて堂々と入港する、折柄港内碇泊中の各船より歡迎の汽笛一齊に鳴り響き、屋上の[illegible]にワッと萬歳の歡呼が湧きあがつた、この天地を壓する熱誠の歡迎譜の裡に午前八時二十分各船とも九區、六區、二區、二十二區の岸壁にそれぞれ横づけした、かくて軍裝凛々しい各部隊の精鋭は相次いで上陸、甲バース、乙バースの廣場に整列、點檢が行はれた、なほ小見山部隊長の御用船は午前十時半入港七區に横づけした、午前十一時各部隊長の點檢が終つてより各部隊とも休憩地に向ひ島本部隊は北公園、梅村部隊は電氣遊園に向け條虜を物語る

軍旗 を先頭に喇叭の音、軍靴の響きも勇ましく歩武堂々出發した、なほ三日朝北行の横田部隊は關東倉庫に宿營、[illegible]部隊は埠頭待合所において出發時刻まで休憩することになつた

上陸第一歩の外山本部隊勇士

幸先よき征途

勇躍する部下將兵は元氣潑剌

外山本部隊長語る

重大使命に赴く外山本部隊長は二日午前八時廿分第二埠頭甲バース[illegible]に繋留の御用船より上陸、栗村運輸部出張所長の案内にて埠頭ビル三階の出張所應接室に入りひとまづ休憩し、訪問の官民二十餘名の挨拶を受けたが、元氣潑剌たる顏に笑みを湛へながら往訪の記者團に左の如く語つた

航海はいけの間を巧みに避けて非常に平穩であつた、武運さいさき良しと喜び、部下將兵は元氣一ぱいである、自分は六、七年ぶりにやつて來たのだが住みなれた土地だけによそへ來たやうな氣がしない、當[illegible]柳樹屯に居て濟南戰爭に出征したものだつた、當時と比べると與地はだいぶ變つたさうだが、この附近は相變らず昔の俤が殘つてゐて大變懷かしい、これから新京へ行つて軍司令官へ申告して命令を受けた上で軍の行動を決定することになつてゐる、何卒貴紙を通して在滿の同胞によろしくお傳へ願ひたい

本部隊長出迎 侍從武官御差遣

【新京二日[illegible]通】滿洲國皇帝陛下には三日午後五時半新京到着の

首相以下閣僚に 渡滿を進言

林陸相昨日閣議席上

【東京二日發國通】林陸相は滿洲視察歸京後各方面の有力者に渡滿を慫慂し、特に岡田首相以下各閣僚に適當の機に渡滿視察することを[illegible]對[illegible]策樹立のため絶對必要と進言し、二日の定例[illegible]議席上において首相、外相に重ねて渡滿につき説得した模樣である

災害豫防對策

【東京二日發國通】政府は[illegible]九州方面の水害に對し應急的救濟策を急いでゐるが、一方恒久的災害豫防に關し内閣調査局にて根本對策を樹立する意向を有してゐる、從來の災害から見ると、自然的條件に支配される一方

一、[illegible]務、農林關係省の土木工事植林政策、交通施設が不完全な事

一、災害豫防施設は各省[illegible]な連絡をすべきであるのに、從來動もすれば各省分離の傾向があつた事

等に原因し、被害程度を最少限度に喰ひ止めなかつた爲めであるから調査局で相互的根本對策を樹立せんとの意向である

内審委員會

【東京二日發國通】内閣審議會特別委員會は政府の諮[illegible]第一號審議のため二日午後一時半より首相官邸で開催、委員長に水野錬太郎氏を互選した後、過般審議會總會の承認した中央地方の租税制度公課政策及び將來の財政計畫並に地方財政の[illegible]目につき孰れを先議すべきかにつき協議するか、[illegible]會の意向と政府の希望が一致してゐるので地方財政の先議を決定するものと見られる

外山本部隊長出迎へのため進侍從武官を御差遣あらせられること〻なつた、なほ張國務總理大臣は[illegible]日午後六時半同本部隊長をヤマトホテルに招待し歡迎會を催すはず

『新生』事件に關し 嚴重な申入れ

有吉大使南京政府に

【上海特電二日發】「新生」の不敬事件の根本責任は既にその機關機關にあることは明かとなり、機關機關の責任者は中央黨部なるため本事件は愈々大使館において處理されることになつたが、有吉大使は本事件の重大性に鑑み、一日磯谷陸軍武官、佐藤海軍武官と大使館で重要會議を開き、これが具體的措置につき協議した結果、三者の意見完全に一致を見たので直にその結果を本省に傳へ、請訓したが右に對する回訓は二、三日中に來る筈で、回訓あり次第、有吉大使は有野書記官帶同、南京に乘込み支那當局に對し嚴重なる申入れをなす筈である、有吉大使の南京入りは遲くとも三日頃となる

謝駐日初代大使 信任狀捧呈

四日午前宮中に參内

【東京二日發[illegible]通】駐日初代大使謝介石氏は四日午前十時三十分隨員[illegible]氏以下八名の隨員を從へ、宮中に參内[illegible]間において、天皇陛下に拜謁仰付けられ信任狀並に前任丁公使の解任狀を捧呈する事となつた、當日、天皇陛下には謝大

汪氏、行政院長辭任か

北支問題處置を非難されて

歐米派勢力擡頭せん

【上海特電二日發】汪精衞氏が一日突如臟石病と稱して上海フランス租界の病院に入つたのは、北支問題解決に對する汪氏の措置が國民政府内部や黨部の反感を買ひ

窮地 に陷つたゝめで結局行政院長も辭するのではないかと見られる、即ち嚴て汪に反感を抱く歐米派は反汪派今回の北支事件に際しての汪氏の行動は蔣氏より全權を委任されたものとはいへ獨斷的行爲であると非難を加へ黨部も北支の根據を失つた喪態せに絶好の氣勢を揚げ政府部内及び黨部内における反汪熱盛んなるものあり、既に黨部において責邪、殷同、黃良、李撰一、唐有壬氏に對し「媚日賣國の徒」殷汝耕六氏に對し「媚日賣國の徒禁斷決議」をなして汪氏を窮地に陷れ、更に數日前國防委員會に於て于右任、居正、覃振等が汪氏の復活

對抗 して張群、陳儀、熊式輝氏等各省主席を招き會議を開きたるも四圍の情勢が最早これ以上對日政策を强行し得ず、四面楚歌に陷るため病院に避難したるもの〻如く、政府主席林森氏を始め各要人が慰留に努めてゐるが、再び南京に歸る意なしと傳へる向きさへあり、行政院長の後任には早くも宋子文、孔祥熙、李石曾、吳稚暉、王正廷氏等が擧げられて居り、若し汪氏が辭職すれば誰が後任となるにしろ、歐米派の勢力擡頭は疑ひなく、從來の親日態度が變轉するだらうと見らる

更生する北支那

不良軍閥と黨部撤退により 新なる建設に意氣込む當局

來連の けさ 土肥原少將談

北支問題發生後關東軍の意向を體して天津に赴き、支那駐屯軍當局と連絡、これが解決に當り、次いで發生された張北事件に關し北平に赴いて關東軍代表として察哈爾省[illegible]と折衝、覺書の交換を了した奉天特務機關長土肥原賢二少將は現地におけるすべての處置を完了したので、一日天津發長平丸にて二日午[illegible]七時三十分大連着遼東ホテルに入つた、少將は同ホテルにおいて北支問題の解決、察哈爾省當局との覺書交換に伴ふ北支の狀態その他に關し左の如く語つた

明朗北支出現 今度北支問題が圓滿解決を見たことは日本の爲めばかりでなく北支那自體のために結構な事で、今後北支當局者はどうして行くか向ふのことであるから詳しいことは判らぬが、北支の新しい[illegible]は大いにやるといつて[illegible]る采氣になつてゐるから、相當の決意をもつて今後の建設に當らうとしてゐることは看取された、これらの連中の中にも一[illegible]は我方の方針なるものを測りかねてゐたやうであるが、白堅武軍の兵變騷ぎがあつてからの我方の態度の公明正大なのにこれらのものも我方には何等の野心なきことを知つて初めて安心したやうだ、北支の安寧と繁榮を希望する以外野心をもたぬ我方としてはあんなとさくさは斷然排除するものであり、再びあのやうなことが惹起されてはならないと云ふのであるが、妙なことだは白軍の兵變は偶發的に[illegible]果をもたらした、これまでの北支那は不良軍閥の橫暴搾取にゲ・ペ・ウのやうな黨部の陰險な策動と秘密[illegible]社のやうな[illegible]の暗躍とがあつて、政治家といはず一般住民といはず冗談にも大きな聲で話も出來ぬやうな[illegible]鬱な狀態にあつたものである、それが今度我方のとつた處置によつて不良軍閥が撤退し黨部その他のゲ・ペ・ウのやうなものがなくなつたので陰鬱な氣分がすつかり晴れて北支人は全く心からホッとした形である、今後北支は面目を一新するだらうそして遠からず明らかな更生北支を出現するであらう

我眞意を諒解 我方の眞意を向ふに知らしめる結果となつて禍を[illegible]じて福とした形だ、ある要人などこれで日本[illegible]の眞意がほんとに判つたから今後は安心して大いに北支建設に當るといふやうなことをいつてゐた

白の兵變疑問 白堅武軍の兵變は全く譯が判らない、一時これには色んなデマが傳へられたが、丁度北支がこれから安定しようといふ時に起つただけに吾々としても非常に困つた、我方に何かの繫りがあるやうにいふにいたつては我方の眞意を知らな過ぎるも甚しい話だが、あんな事が起つては安定しかけた事態が再び動搖する

新な北支建設 そんな譯で今後の北支はよつて行くだらう、これら新北支建設には王克敏、商震が當つて行くだらう、將來のことは詳しい構想は出來ないが、これらの人達のための北支、支人のための北支、即ち[illegible]によつて薦められた北支[illegible]を建設して行くだらう、支那の獨立政權といつたものになつて策動があつたやうに[illegible]

察哈爾善後策 察哈爾當局と關東軍との所謂覺書交換なるものは別に條約でも協定でもなく、たゞ當事者同士の約束で從つてその内容は發表するほどのものではないから將來も發表しないだらう、その内容は[illegible]するに察哈爾當局が遺憾の意を表し、今後お互ひ當事者として一層の誠意をもつて斯る不祥事件を繰り返さぬことを約し、それがための處置を申合せただけである

岩佐司令官檢閲

津田司令官赴哈

八田副總裁歸任期

蛇角

往來

はるびん丸船客

社說

兩烈士遺骨の凱旋

中村、井杉兩烈士の遺骨は遺族に護られて二日新京發、大連經由凱旋することになつた。思ふに滿洲事件の直接の動機は柳條溝事件であつたが、その直前に最も強く人心を刺戟したのは中村井杉兩烈士の被害とそれに對する舊東北政權の無誠意であつた此の刺戟が柳條溝事件と絡んで滿洲事件を惹起した。その後四星霜、滿洲國漸く固成を見る今日、兩烈士の忠烈記念碑が現地に建立され、去る六月二十六日その除幕式が執行された。而してその工事中日滿警務官必死の捜査により六月六日遂にその遺骨を發見したのであるが、その遺骨は一部分新京忠靈塔に[illegible]められ、他は遺族に抱かれて凱旋することになつたのである。

◇

中村大尉事件として當時喧傳されし時の滿洲の天地を回顧して之れを今日滿洲の天地と比較すればその差異實に霄泥も啻ならず、吾國人の誰しも感慨無量ならざるを得ざる所である。今や兩烈士遺骨、遺族に護られて當地を通過するに過ぐ。此處に更めて烈士の偉業を弔ひ、且つは靈を以て遺族を慰め、且つは滿洲國の[illegible]成に益々努力してその忠[illegible]を空しくせざらんことを深思すべきである。

新興俱樂部と行政廳

新興俱樂部事件の公判廷にて、俱樂部役員と監督官廳首[illegible]部との關係が[illegible]されてゐる。その事件の法[illegible]的解釋には檢事と辯護人との間に意見の[illegible]違あり、判決を待つにあらざれば確定はしないが、俱樂部側にも之れに[illegible]聯せる警察官側にも暗黑面あることは爭ふ可からざる事實と見られる。事の此處に至つたのは、各[illegible]にそれ〲の[illegible]點があつたに由ることはいふまでもないが、その原因の一つには當時の滿洲の社會一般の空氣が斯樣な事件を醸すに適當であつたことを回顧せねばならぬ。これは先づ以て一般の反省すべき所である。更に最も重要な觀察點は監督當局者の人格問題である。吾人は[illegible]に此問題が暴露した時に此事件は監督當局者の人格の反映と見らるゝ點があるのではないかと說いた。

◇

當時、多く人心を刺戟するを好まないからそれ以上には言及しなかつたが、此頃の公判廷に於て開陳さるゝ被告や證人の言より見ても、此事は首肯され、吾人の[illegible]言が必ずしも獨斷でなかつたことを證するやうだ。勿論被告や證人の言を全然信用することは出來ないが、當時の[illegible]から察して、被告に名を列する俱樂部側や警察側の人達ばかりの腹だけでは起り得ない事件たることは誰にも首肯さるゝ所である。現在の被告以外に、刑法上の責任者があるや否やは固より不明であるが、道德上の責任者は他にもあることを看取される。吾人は今更それを追究するがよいといふのではない。そこには刑事政策も社會政策も必[illegible]である。

◇

但し、官吏選任の際には人格如何を第一の要件となさねばならぬことを痛感するのである。單なる技術官でも、その人格が各方面に及ぼす影響は敢て少なしとはしないが、行政官、司法官に於ては殊に人格かその職務に關係を持ち、それが民心に反映することの多い事實を認めねばならぬ。殊に一行政廳の長官たる者の人格は、[illegible]員は固よりのこと、一般人にも反映し、甚しきはそれが犯罪の原因にもなることは敢て稀有の例ではない。人事の局に當る者の最も考慮を[illegible]ぬべき問題であるが、先づ根本的に政府全體の機構的に官吏任用の試驗銓衡に關する法規、延いては教育問題にも遡及考慮すべきものである。

北支投資會社の内容
之を母體に事業會社を設置
日滿支三國の資本糾合

【新京電話】滿洲國政府では過般北支方面に特派せる財政部顧託高橋康吉氏及び横山理財科長、實業部美濃部文書科長の報告並に土肥原少將の意見に基き、停戰協定區域内における日滿支經濟ブロックの結成の具體化を圖るべく十分に研究を進めつゝあつたが、[illegible]財政部、實業部等の聯合協議會の結果、大體の具體的大綱を決定、直に中央政府及び日本財界との交渉に乘り出すことになつた。計畫の内容は左の如くにして日本は勿論滿洲、支那の資本を糾合する巨大な投資會社で、眞に日滿支[illegible]ブロックへの具[illegible]表現として注目されてゐる、即ち

一、北支にだける鑛業、商業、工業、農業等の發展に對し總括的投資をなす一大投資會社を設立

一、右會社は純然たる融資機關として滿鐵、東拓等の特殊會社が參加するも、日本内地資本の加入を認める

一、右投資會社を母體として各產業別事業會社を設立、これら會社は專ら日支[illegible]辦とし、日本側は資金を支出し、支那側は現物出資とし、この場合現在既に營業中の合辦事業會社はこれを改組擴充して當該事業に當らしむ

一、而して北支における資源並に產業現狀に照し、右事業會社中最初に活動が開始されるものとしては鑛山、交通、貿易、棉花栽培の四事業である

▲鑛業 鑛山中重要視すべきは石炭にして、山西省東北兩部地方は殆ど一帶が炭田にして、現在出炭高は北部のみにて全支の六割を占めてゐる、現在既に同方面には山東鑛業會社がある

▲交通 經濟の根幹をなし、又治安維持の動脈をなす交通は專ら山西、察哈[illegible]方面に主力を注ぎ東方旅行社の擴充が計畫されてゐる

▲貿易 北支貿易の伸張を圖るべく尨大なるヒンターランドを有する天津その他重要貿易市の繁榮に努力する

▲棉花栽培 山東における[illegible]の棉花栽培施設を大規模に擴充し將來日本に必要な棉花は全部供給し得るまで邁進せしむ

以上の如くで、この一大投資會社設立に關して重大視される日本財界の資金投資問題も既に滿洲國政府、日本政府の盡力により大體可能と見られ、一大投資會社の設立は時日の問題のみになつてゐる

北樺太讓渡問題
未だその時機熟さず
わが外務當局の見解

【東京特電二日發】ソ聯政府が三國々境委員會設置に關し、北樺太讓渡の意嚮を表明せんとの情報に對し外務當局では右問題は未だその時機熟さずとの見解を洩してゐる、即ち北鐵讓渡協定成立に續き、廣田外相は對ソ平和工作を積極的に押進めんとし前議會でも〃ソ聯側に北樺太讓渡の意嚮あらば日本も考慮する意あり〃と述べたるも、これに對しソ聯側は適當の時機來らば必ずしも讓渡に反對ではないとの意嚮を有する如くなるも、何分微妙なる問題なるため正式には未だ定案がない、しかし[illegible]境諸問題が圓滿解決すれば、その曉問題の一石を投ぜんとの考へがソ聯政府部内にもある模樣にて、右問題は依然として潜伏期にあると見らる

〃日滿軍越境す〃と 捏造記事掲載
二日のモスクワ各紙

【モスクワ一日發國通】タス通信社は東京駐箚ソ聯大使ユレニエフ氏が一日本國政府の訓令に基きソ滿國々境侵犯事件に關聯し、廣田外相に抗議通牒を提出したと報じ、之が事件の内容として二日のモスクワ各紙は左の如き捏造記事を掲げてゐる即ち

日本兵四十名が去る六月二十三日[illegible]に二十六日の兩回に亘り國境を越えてソ聯領土に侵入したがソ側は發砲を差し控へた、更に又日滿兩國海軍所屬[illegible]船二隻は六月二十七日黑龍江のソ側領水に侵入したがソ側は之に對しても發砲を差控へた

蘇聯の抗議要旨

【東京二日發國通】ユレニエフ大使は一日午後七時外務省に廣田外相を訪問以て[illegible]のソ滿國境事件に關するソ聯政府の抗議通牒を手交するところあつた、抗議の要旨は次の如きものである

一、最近における頻々たる日滿軍隊並に艦船のソウエート領土及び領内水路侵犯事件は日蘇國交上重大なる結果を孕むものと信ずる、ソ聯政府は余に對し日滿軍事當局の行動につき抗議し、その責任は日本政府が負ふべきものなる事を通告する權限を與へた

一、ソ聯政府は日滿艦船のソ聯領内水路航行を許し得ざる事、並に若し總ての警告を無視してソ聯内水路に入らんとすればその結果に對する責任は日滿政府當局の負ふべきものなる事を余は本國政府より與へられたる訓令に基き日本政府へ通告す

一、將來も日滿軍隊がソ聯領土を侵犯せる場合、その責任は直接日本政府が負ふべきものである

一、ソ滿國境における日滿軍事當局の行動は危險且つ許すべからざるもので、ソ聯政府は日本政府當局が國境地方の平和的關係を維持し、日滿軍事當局の挑戰的行動を阻止するため速かに斷乎たる處置を執ることを期待するものである

于軍政相來哈

【哈爾濱一日發國通】二日[illegible]司令部前の江岸にて擧行される新銳艦定遠、親仁二隻の命名式並に進水式列席のため軍政部大臣于芷山上將は一日午後二時五十分着列車で官民多數の出迎へを受けて來哈、北滿ホテルに入つた

北支權益の確保留意
英外相の答辯

【ロンドン一日發國通】イギリス下院の一日の質問時間中、保守黨の一議員は北支那の最近の情勢に鑑き、外相は北支那におけるイギリスの權益擁護のため善處せられたいと述べた、それに對しホーア外相は

北支那の情勢については日支兩政府から兩國駐在イギリス大使に[illegible]し刻々その推移を報告して來てゐる、勿[illegible]方面のイギリスの權益確保については充分留意して居る

と答へた、右に依つて見るにイギリス政府としては現在の所北支那問題については何等積極的に動く模樣は見えない

學聯軍を迎へる
全滿軍の堅陣整ふ
期待される激勵競技

南滿洲陸上競技協會主催の渡滿學聯陸上軍一行の激勵陸上競技大會は愈々六日午後二時半より(雨天の場合は七日午後二時)大連運動場にて擧行されるが、滿洲側選手の銓衡は一日午後一時より滿鐵運動會に役員參集、技術委員會を開催、競技順序及び選手左の如く決定した

◇學聯軍 總監督工學博士山本忠興、監督[illegible]、大島鎌吉

◇滿洲軍 監督仲田岡一、生駒[illegible]貞一

◇百米 ▽學聯谷口睦生(關大)鈴木聞多(慶大)矢澤正雄(早大)原田正夫(京大)村上正(早大)▽滿洲西貞一(滿鐵)張[illegible]賢(滿鐵)吉任猛(滿鐵)太田正明(滿鐵)池田敏(大一中)

◇砲丸投 ▽學聯菊本勝作(文理大)大江季雄(慶大)▽滿洲吉村[illegible](滿鐵)安部二郎(滿鐵)林十郎(滿鐵)伊藤一雄(滿鐵)

◇八百米 ▽學聯青地球磨男(立大)田中秀雄(中大)村社講平(中大)▽滿洲[illegible]口晃(滿鐵)金[illegible](滿鐵)濱田常盛(滿鐵)渡邊健次(滿鐵)濱中幸一(奉天)

◇走高跳 ▽學聯朝隈善郎(明大)田中弘(早大)村上正(早大)西田修平(早大出)▽滿洲武内友章(滿鐵)久本正延(滿鐵)岡田和好(滿鐵)

◇二百米 ▽學聯谷口睦生(關大)鈴木聞多(慶大)矢澤正雄(早大)原田正夫(京大)▽滿洲西貞一(滿鐵)池田敏(大一中)吉任猛(滿鐵)井上勳(滿鐵)

◇高[illegible] ▽學聯村上正(早大)原田正夫(京大)西田修平(早大出)▽滿洲[illegible]平郎(滿鐵)武内友章(滿鐵)久恒木[illegible](滿鐵)岡田和好(滿鐵)山田俊夫(滿鐵)

◇五千米 ▽學聯村社講平(中大)田中秀雄(中大)青地球磨男(立大)▽滿洲北本健二(滿鐵)金[illegible](滿鐵)

◇[illegible] ▽學聯菊本勝作(文理大)大江季雄(慶大)▽滿洲林十郎(滿鐵)伊藤一雄(滿鐵)安部二郎(滿鐵)吉任猛(滿鐵)濱田常盛(滿鐵)[illegible]戸年男(岩倉)濱中幸一(奉天)

◇三段跳 ▽學聯田島直人(京大)原田正夫(京大)大島鎌吉(關大出)西田修平(早大出)▽滿洲金子[illegible](滿鐵)岡田和好(滿鐵)

◇四百米 ▽學聯鈴木聞多(慶大)矢澤正雄(早大)青地球磨男(立大)▽滿洲[illegible](滿鐵)西貞一(滿鐵)張[illegible]賢(滿鐵)吉任猛(滿鐵)太田正明(滿鐵)池田敏(滿鐵)井上勳(滿鐵)

◇棒高跳 ▽學聯西田修平(早大出)大江季雄(慶大)朝隈善郎(明大)▽滿洲久恒木[illegible](滿鐵)安部[illegible](滿鐵)

◇[illegible]投 ▽學聯長尾三郎(關大)菊本勝作(文理大)▽滿洲吉任猛(滿鐵)[illegible]和好(滿鐵)米津[illegible]郎(滿鐵)

◇千五百米 ▽學聯田中秀雄(中大)青地球磨男(立大)村社講平(中大)▽滿洲北本健二(滿鐵)金[illegible](滿鐵)濱田常盛(滿鐵)[illegible]戸年男(岩倉)

◇走巾跳 ▽學聯田島直人(京大)原田正夫(京大)大島鎌吉(關大出)村上正(早大)▽滿洲張[illegible]賢(滿鐵)金子[illegible](滿鐵)岡田和好(滿鐵)

◇四百米繼走 ▽學聯谷口睦生(關大)鈴木聞多(慶大)矢澤正雄(早大)原田正夫(京大)村上正(早大)▽滿洲西貞一(滿鐵)張[illegible]賢(滿鐵)吉任猛(滿鐵)太田正明(滿鐵)池田敏(滿鐵)井上勳(滿鐵)

滿洲國側の選手きまる

【新京二日發國通】八日西宮グランドで擧行される日本學生選手を迎へる日滿交驩陸上競技大會滿洲國側選手左の如し

佟允頴(百米)于清雲(走高跳)唐[illegible]仕(五十米)[illegible]清(槍投)郭清榮(國際校)アンフイノゲノフ(國際校)トルビン(國際校)于希清(八百米、千五百米)

學聯軍出發す

【神戶二日發國通】國際學生陸上大會參加の我選手一行十五名は二日正午神戶出帆の熱河丸で出發した

北支經濟工作の重要打合せ
土肥原少將・石本部長會見

二日早朝來連した奉天特務機關長土肥原少將は滿鐵ホテルに落着くや直に滿鐵石本總務部長を招き二階〃二二四號室〃において午前十時より十一時十分まで一時間餘に亘り重要協議を遂げた、會談の内容については兩氏とも語るを避けてゐるが、傳へられるところによれば同少將の來連の目的は石本總務部長との會見にありといはれ、最近漸く北支政局も安定し日滿支間の經濟提携が具體的内容をもつて噂に上つてゐる折柄、滿鐵の北支經濟工作に關する[illegible]打合せがなされたものと見られてゐる

滿洲國新銳兩艦
きのふ進水式を擧行

【哈爾濱特電二日發】滿洲國海軍の新銳艦定遠、親仁兩艦の進水式は二日午前十時三十分から江防艦隊造船所において擧行、于軍政部大臣、津田江防艦隊司令官、佐々木顧問、佐藤總領事、[illegible]濱江省長、[illegible]市長その他文武官及び民間代表滿洲國學校生徒など二百餘名出席、于大臣の命名及び綱切斷と共に一切の裝備をした檣附き最新式の兩艦は一同の拍手裡に見事に進水した、右終つて別席において一同乾杯兩艦の武運長久を祈り、播磨造船所代表者の工事報告、于大臣の祝辭津田司令官の挨拶あり、佐藤總領事發聲で滿洲國海軍の萬歲を三唱十二時式を終つた

定遠、親仁兩艦は何れも二百九十噸、速力十二・五浬、デーゼル機關二基を有し高射砲その他一切の完備した裝備を有し、播磨造[illegible]所の手で去る五月四日以來工事に着手してゐたもので滿洲國の國境河川防備に一段の異彩を添へた

私設鐵道法
七月下旬公布

【新京電話】滿洲國私設鐵道法の審議は更に法制局參事官を加へて一日から連日開かれてゐるが、大體四日頃までに終了の筈でこの修正案を基礎として再度交通部で立案の上大體七月下旬公布されることゝなつた

漁業條約改訂交涉
蘇聯我覺書に回答
相當歩み寄りを示す

【東京二日發國通】日蘇漁業條約改訂のわが覺書に對しソ聯側は二十八日の[illegible]談でカズロフスキー會談の[illegible]答を以つて左の回答をなし來つた

一、漁區安定の方針につき日本の[illegible]案は原則として承認し、廣田カラハン協定の延長を認めるが、その年限は日本側主張の十年には贊成出來ない

一、交渉範圍は日本側提案事項を中心とする

一、競爭制の廢止については回答せず

右により我外務當局はソ聯側の細目各條項を愼重協議をなしたる後、廣田外相より我代表へ訓電し第三回會談、カズロフスキー會談を行はせる豫定である、ソ聯側は相當の歩み寄りを示してゐるが、延長[illegible]は三年乃至五年を固執してゐるやうで交渉成立に相當時日を要せん

愛婦旅順支部

去る二十五日より奧地見學に赴いてゐた愛國婦人會旅順支部の安永支部長を始め竹下州廳長官夫人以下一行七名は鞍山、奉天、撫順、新京、哈爾濱の見學を終へて一日午後六時三十分着あじあで歸連直に[illegible]汽車で歸旅した

南大阪の紡績
損害約六十萬圓

【大阪特電一日發】南大阪方面では水害のため大日本、岸和田等紡績工場の浸水二十三に達し、損害六十萬圓に上ると云はれてゐる

建國功勞賜金公債法公布

【新京電話】滿洲國では建國に功勞のあつた人々に對し功勞金を贈るため財政部において建國功勞賜金公債法を立案中であつたが、既に國[illegible]會議を通過參議府の諮詢も得たので、愈々四日附を以て公布することになつた、なほ右に關する公債發行金額は總額八百十五萬圓の豫定である

屠殺場取締法
來る六日公布

【新京二日發國通】滿洲國屠殺場取締法規は現在各省縣區々で屠獸に對する檢査の如きも皆無の狀態で屠殺場としてより寧ろ屠獸に對する徵稅機關の觀あり、不良肉等に對する檢査なきため國民保健衞生上寒心すべきものがあるので、民政部衞生司ではこれが取締法規を改正することになり、先般これを完成したので法制局に廻附、國務會議の議決を經て二日參議府會議の諮問を經七月六日勅令により公布の筈

寸想 (投書歡迎 十五行以内)
強制聚落

◇大連の或女學校では七月上旬より全校擧げて夏家河子にて海濱聚落を行ふにつき授業は每日一時間で切り上げて、しかも不參加者は三時間の缺課にするとて強制的に參加せしめてゐる

◇暑中休暇を目前に控へてわざわざ學業を放擲してまでもそんな事をせねばならぬのであらうか、而も夏家河子あたりまでも遠征せなくとも保健が目的ならば今少し金がかゝらぬ方法と場所がありはしないか、夏家河子でなければならぬならば希望者のみにすべきである

◇數人の子女を中等學校を卒へさせた親としての經驗では、一般に滿洲の學校では内地の學校に比して贅澤で何かにつけて出費が多いとの世評も強ち無根の話では無いやうに思はれ、そんなに金を要せねば滿洲では教育が出來ぬのであらうかと考へさせられる

◇學校當事者も新聞紙上で内地の東北地方や九州地方の昨年の凶作や、先般の震災の災害や、昨今の關西、九州方面の風水害の記事を御覽のことゝ思ふ、此際贅澤は遠慮すべきではなからうか

◇凶作地方の農家では食ふに食なく、山野の草根木皮も食ひ盡して、或小學校で二、三年の[illegible]に作文を書かせたら[illegible]飯が食べたいと書いたのがあつたといふ話も少なくしては聞かれぬ悲慘な例は枚擧に遑ない

◇また或家では妙齡の娘なしとまでいはれ、東北六縣で約六萬餘人の女子が食はんが爲め家のため或は身を賣られ、或は女工となりて温かき父母の膝下を追はれてゐる悲慘たる狀態を回想する時、聚落行きを強ひ、不參加者は缺課にするなどとは心ある教育者の言として誠意を缺くの誹りは免れまい、何とか考慮の餘地はないものであらうか、學校當事者の熟慮を煩はし大方諸賢の御批判を乞ふ(一父兄)

兩烈士の芳骨に 遺族最後の告別

【新京】(寫眞說明)關東軍將士並びに市民多數の御通夜を受けた故中村少佐、故井杉特務曹長兩勇士遺骨は一日午前十時、滿洲事變の爲護國の鬼と化した幾多戰友の靜かに眠る新京忠靈塔内に分骨されて納められる事となつたが、中村、井杉兩勇士遺族は忠靈塔に納骨された最後の告別をなした

羅津滿鐵收用地 五割强を値上げ

追加支拂六十萬圓に達す 三年越の懸案解決

【羅津】本紙既報の通り滿鐵羅津收用土地追加支拂は地主百五十名に對し總花的に五割强値上げすることを二十八日公表し七月一日附て各地主に對し支拂方を通知した、これで世人注視の的であつた三年越しの懸案も圓滿解決した理であるが、總督の裁定で値上りした二十六萬三千圓と同時の追加支拂三十三萬五千圓は收用當時滿鐵も豫想しなかつた支出であり、結局羅津第一期鐵■費三千五十萬圓の内六十萬圓はどこにか建設工事縮小の餘儀ない結果を來し而も追加支拂の恩惠に浴したものは所謂不在地主 である 關係上羅津そのものにとつては餘り芳しい話ではないと一般は觀て居る

平均率の割出し 滿鐵の野本熈務長談

【羅津】土地收用裁定に依り羅津滿鐵收■地の値上りを見たのであるが其の後裁定にかゝらざる部分の土地に對し滿鐵が如何なる態度に出るか注目の焦點であつたのであるが此の問題に關し野本熈務長は左の如く語る

本年二月十三日土地收用裁定に依り總額二十六萬三千二百六十三圓七十四錢の値上りを見たのは

誠に遺憾 とする所であるが然し一旦定つた以上は如何ともする事が出來ない、これ以外の大部分の土地に對して滿鐵は買收に當り弊社において羅津埠頭並に鐵道用地の買收單價を値上せる場合には實際に對しても値上の平均率に依りて値上するものとすと云ふ實質條件を付して居る、即ち平均率といふものを如何にして割出すかといふ事が殘された問題である、第一全收用土地に對する支拂金額を以て裁定に依る値上りの額を除したるもの(一割九分强)に依るべしとの說がある、第二收用■内■■の決定したる土地の支拂の金額を以て裁定に依る値上り額を除したるもの(四割五分七厘强)に依るべしと云ふ人もある、第三道知事の裁決額に依り裁定に依る

値上り額 を除したるもの(四割七分三厘强)に依るべしと主張するものもある、第四總督の裁定せられたる土地に對する會社査定額により裁定に依る値上り額を除したるもの(五割强)に依るべしと云ふ人もある、自分は總督の裁定に依る値上が發表されるや否や總■■裁定に依り不幸にして値上をみた以上は滿鐵の査定に依り實質に應じた地主に對しては決して迷惑を掛けない、尤も公平妥當に之を解決する所存であると聲明して居つたのであるが前記四つの内何れに依るが妥當であるか愼重考慮して居つたのである、總督の裁定は新安■停車場附近の土地を最高五圓と査定し漸次

南するに 從つて低價して居り■■、明湖洞方面は値上りを見ないのである、然るに滿鐵は收用地全體に對して■記の■■條件を付して居る、滿鐵は■記四つの率中第四案即ち五割强の率に依つて値上する事を最も妥當なりと信じ居るのであるがこれに依つて一律に値上する場合には總督の裁定と違つた値■が表れる事になる、であるからして臨湖洞、明湖洞は値上げをする必要がないから新安洞の土地を總督の裁定に倣つて値上をしてくれと主張する地主がある、併しこれは一旦滿鐵の土地■收に應しながら更に總督の裁定といふ行政處分を要求するに等しいものであつて全々地形の違つた今日不可能な話である、元來收用地九十萬坪は一體として見るべきものであつて臨湖洞、明湖洞、新安洞と云ふが如き

行政的の 區劃 [illegible] がないのであるから [illegible] を一括して五割强の [illegible] ものとせば總督の土 [illegible] 比して明湖洞、臨湖 [illegible] 近き新安洞の土地を有して居る地主には有利であつて停車場附近の土地を有してる地主には不利益な結果となるのである、各方面の土地を持つて居られた地主は非常に好都合となるのであるが新安洞のみ土地を有して居つた地主は總督の裁定價格に比して不利益となるのである、これ等の地主に對しては誠に同情に耐へない次第ではあるが日本が滿洲に於ける經濟的の發展並に軍事上の點から國家に代つて滿鐵が羅津の築港並に鐵道施設をやつて居るのであると云ふ點を考慮しこれに同情し

之を後援 すると云ふやうな意味で多少の不平は我慢して戴き度い、五割强を支拂ふとなれば滿鐵は更に三十三萬五千圓の追加支拂をしなければならないのである、總督の裁定に依つて六十萬圓の支拂をしなければならない■果に到達したのであるから追加豫算其の他の手續の爲め今日に及んだのであるが近々支拂ふ所存である

奉天・壺蘆島間 海濱週末列車

ホテル・貸別莊等設備 理想的海水浴場

【錦州】奉天鐵路局では■■に■く部會人のため海水浴場としての處女地——葫蘆島を紹介すべく來る六日から奉天驛發、葫蘆島行の海濱週末遊覽列車を運轉することになつた、同地には今年よりホテルのほか假■、貸別莊の設備ありホテル下とホテル後方山の裏側との二ケ所にあつて何れも白砂長汀、遠淺かな遊濱である しかも水清く海水浴場として絕好な場所なれば相當賑ふことであらう、因に列車は六、十三、二十、二十七日、八月三、十日の六回で午後九時三十五分奉天驛を發車し登朝錦縣經通過葫蘆島驛に到着することになつて居りゆつく■遊んで歸りは午後八時二十分葫蘆島驛■發車することになつてゐる

降雨感謝祭

【營口】先頃旱天に苦しんだ營口滿洲側有志は楞嚴寺禪定和尚に雨乞祈禱を請うた所其後降雨があつて農民は愁眉を開いたので有志發起外數名は六月二十九日より七月一日まで三日間降雨感謝祭を楞嚴寺で執行したが多數の參詣者あり賽錢の如きも五百元以上の喜捨があつた

職業婦人禮讃

在吉滿洲女性の傾向

【吉林】滿洲の女性は働かずと言ふのが傳統的に慣習づけられ■■前に於ては恐らく女性の職業線上にあるのを見なかつたが、建國以來文化知識の向上に從つて逐年女性が生活戰線の第一線に立ち、■■婦人として活躍する樣になり、現在では職業を持たぬ女性は婦人としての價値なきが如く考へられるに至り、自然女學生等も在學中に就職の猛運動を開始し熱意な邦人を求めては依賴するもの、直接履歷書を持つて出頭する者等激烈な就職戰を展開して愈々過去一切の弊害は漸次解消の一路を辿り家庭生活の向上改善は婦人の手よりと提唱されて居る

× × ×

牡丹江・林口間 十日から假營業

豫想外に工事進捗す

【■■】[illegible] 來る七月十日から假■■を開始することゝなつた、これで圖們—牡丹江間(二九四キロ)の本營業線の利用價値は增大する譯である

黑龍江道場 落成式

引續いて武道大會 二十一日擧行

【チチハル】チチハルに建設中であつた黑龍江道場は六月末までに完成を告げたので來る二十一日午■八時から落成式を擧行し引續き武道大會を開催することゝなつたが當日は劍道の高野佐三郎、同茂義兩範士、柔道の小谷澄之、弓道の■島德寧氏等の各師範を招聘し更に滿洲各地の武道選手多數の出席を勸誘する筈である

園碁〃布石哲學〃

談天說心

チチハル驛長 清水長策氏

▲…人生に少、壯、老年期がある樣に園碁にも布石、侵分、寄せの時代がある。少年時代を眞面目に步かなかつた者は中年以後になつて落伍する樣に、布石を堅實に打つて置かぬと中盤以後になつて全く手も足も出なくなつて仕舞ふ。偶には少年時代成績不良の者が中年以後間違つて思はぬ幸運に惠まるゝ事のある樣に園碁にも敵の見落しや苦し紛れに名手の發見で思はぬ勝を獲する事が無いではないが、そんな事は例外で普通の場合布石時代既に勝負は定つて居る。

▲…園碁位個性の現れるものはない。攻むる事のみを知つて退くことを知らぬ猪武者があるかと思へばその反對に退嬰的で守ることのみに汲々たる保守黨もある。或は隴を得て蜀を望む慾張り屋等もあつて人各々の個性を遺憾なく發揮するがこれ等は何れも成績が良くない、矢張り攻防宜しきを得るに越したことはない。

▲…見苦しいのは待つたをよくやる癖のある碁打だ、碁だから待つたも出來るが人間が病氣に罹つた時待つた等出來はせぬ、況んや死にがてをやである。初代の本因坊算砂の辭世に

碁ならばや劫にもたてゝ生くべきに、死ぬる道には手一つもなし

▲…碁打にはたつた一つ丈け性格を超越した共通點がある。夫れは勝つた事は吐に吹聽するが負けた話は噯氣にも出さない、話さなくても相手が話すから話し漏れにはならぬと云ふが、此れは少々狡猾い。

▲…對局のポンチ繪を見ると必ず一方は老人だが碁は七、八十歳迄位打てるらしい、老後の樂しみには持つて來いの遊びである。自分は一向に大碁の域は脫しないが檜にされる場合遊からず老人組に入れられ相に思ふ、難有い事だ。(チチハル)

圖佳線本營業

【■■】七月一日より圖佳線(圖們—牡丹江間二四八・七キロメートル)は滿鐵建設局から鐵路總局に引繼がれ本營業を開始した

因みに圖們發一二時の旅客列車二一時一五分牡丹江着、圖們發七時二五分の混合列車は一七時一五分牡丹江着、牡丹江發七時の旅客■車は一五時五五分圖們着、一五時五五分牡丹江發の■合列車は二〇時三〇分圖們に到着する

夏の芝翠

港の油虫・艀飯 B

埠頭の偉觀・洋車待機陣

寫眞と文 あひざは生

ウエルカム・チーフー・ハトバは艀飯と叛兌と洋車が正に駆けめぐり夏の狂躁曲をかり立て旅行者の眼玆に忙しい、汽船が港に入るとすがすがしい夜明けの波を切つてスイー〳〵と艀飯があちらからもこちらからも姿を現し忽ち船のまはりへ南京蟲のやうに喰ひつく、すると、船の後尾からボーイが飯をソツと投げ落す、それを受取つて艀飯は悠然揚々何處へともなく漕ぎ去つて行く、こんな方法で毎年一千數百萬圓からの密輸が公然的に行はれてゐる、船から上がつて驚くのは埠頭にズラリと飛ぶ洋車の待機陣!なんと物凄い行列であらう、洋車は芝罘唯一の交通機關であつた、一日中市内を駆け廻つても自動車の姿といへば二十年型の自家用が二ツ三ツ……こゝにも有閑地チーフーの特異性がある(寫眞■■船に集るサンパンと洋車の待機陣)

瓜子兒

事變後奉天の滿人御商の取引は漸次現金主義に變つて來るには來たがそれでは到底やつて行けず營業成績は■ね不振狀態なので最近御商同業組合で討議した結果、毎月一日と十六日とを淸算日とする自由式な掛制度に改めやうといふことに一致した。

◇

奉天省總務廳總務科長永尾龍造さんの新宅建築を請負つた利發公司の張樹桂といふ男、懷ろ工合が惡いことからいろ〳〵怪しからんからくりをやり永尾さんにたいへんな迷惑をかけたにも拘らず永尾さんが始終寬大な態度で相待つたのに自責改悛し自ら懺悔聲明書を新聞に出して永尾さんに德を謝してゐる。

◇

支那の廣東に女子職業振興のため女子理髮養成所が設立されこゝを出る女理髮師が毎年六百名に上り何處からか資本を引つ張り出してドシ〳〵開業し婦人客はむろん男客まで押すな〳〵の大賑ひ、こんなあんばいで五年もたつたら男子の床屋さんは干あがつてしまふに違ひないといふので男子の理■■大同盟で斷乎たる自衛態度に出やうといふ、廣東の男女職業鬪爭は社會問題として漸く深刻化しつゝある。

小說 儒林外史 (㐧)

原作 吳敬梓
翻譯 瀨沼三郎
挿畫 河野久

彼はさう決心するとその事を兄弟の耳には入れぬやうにして張■■に縋み、喪服を質に入れて來て貰ひ、五百文を得たのでそれを枕元に置いた。

その日終日、激亭に在つてあたりの眺望に心醉し、■やうと部屋に戾■、枕元に手をやると五百文の錢が一枚殘らず消失してゐた。

「この部屋には誰も別人はゐない筈だが。楊執中の薄馬鹿の倅を除いては……」

と思ひながら彼は正門の門番部屋に往つてみると、老六は其處に腰掛けて門番共と馬鹿騒をしてゐた。

「老六、一寸話があるが」

薄馬鹿の老六は一杯機嫌で相變らず泥醉の態であつた。

「叔父さん、俺に何ぞ用かえ」

「拙者が枕元に置いた五百文をお前見なかつたかえ」

「見たとも」

「何處へ片附けて呉れたかえ」

「ありや、書過ぎに俺が持出してすつてんてんに賭博ですつてしまつただ。まだ十五六文、この巾着に殘つてゐるが、また後で燒酒でも飲むべえと思つてゐるだ」

「おい、老六、こりやまた奇怪の事を聞くものだね、俺の錢をお主が持出して賭博ですつてしまつたとは!」

「叔父さん、あんたと俺はもともと一人の人間なのだ。あなたは即ち俺で、俺は即ちあなただ。彼我の分ちはねえ筈だ」

■■■の老六はさう言ひ終ると横を向き、脚を上げてふいと外に立去つてしまつた。楊勿用は憤怒に燃えた眼を睜つて出て行く老六の後姿を睨みつけた。彼は怒るには怒つたが口を固く閉ぢて一言も吐かなかつた。眞事に彼は言ひ出すことの出來ぬ苦しみを味はされたのであつた。この事以來楊勿用と楊執中の間は面白くなくなつた、楊勿用は楊執中を鄙ひ、楊執中は楊勿用は氣狂ひだと言つて互に罵り合つた。兄弟は楊勿用が上着を着てゐぬのを見て

黃色の綿紬の着物を彼に贈つた。兄弟は賓客を遍く招待し大型の二艘の船を用意した。厨役、酒肴を召使ひ、茶掬み等のために別に一艘仕立てられ、ひと組の囃子方を乘せた舟も加へられた。

時は四月中旬、天氣晴朗。主客はみな單衣の輕裝の手に團扇を使つてゐた。この會合は大會とは謂へないまでも灤山の人が集まつた參集の人物は蘧玉亭、婁瓚亭、蘧■夫、牛布衣、楊執中、權潛齋、張鐵臂、陳和甫の面々で魯編修公は招かれたが顏を見せなかつた。凡名士の外に楊執中の薄馬鹿倅老六も同乘を許され、一行は九人であつた。

舟中、牛布衣は詩を吟じ、張鐵臂は劍を使ひ、陳和甫は例の能辯で人を笑はせ、二人の公達は雍容爾雅、蘧公孫は俊俏風流、楊執中

は古貌古心、權勿用は怪模怪樣(奇怪極る姿)といふ姿で納まり眞に一時の盛會であつた。兩側の船窓は明け放たれ、小舟からは妙なる樂が奏ぜられ、ゆるやかな櫂に送られて鶯脰湖に達した。

直ぐ酒宴の席が準備され十幾人の召使は交る〳〵酒を運び、酒を掬み、肴を運んだ。料理の新鮮、酒茶の濃香は謂ふまでもなかつた

盃の數、重なりて月の昇る頃に到れば二艘の船上には五六十盞の羊角燈が點され、水面に光る月色に映え、白日のそれのやうに輝き照つた。

囃子方の奏樂の音は澄み渡る虛空に響き、嚠喨たる音を十餘里の彼方にまで傳へた。兩岸に集へる見物人は湖中の神仙を望む心地して羨望せぬものはなかつた。一夜を湖上に遊び明して歸路に就いた。蘧女婿は醉つて叔父に見えると編修公はから言つた。

「あなたの叔父さん方が罷免されたのは門を閉ぢて學業を治め家名を繼ぐためである。何故あの樣な者ばかりと交を締ぶのか。斯樣な素性な手輩を近づけてゐたなら恐らくいゝことはあるまい」

家庭

可愛い赤ちゃんおなか診斷法

全身症狀に注意して下さい

お母さまの醫學讀本

夏は可愛い赤ちゃんに、とかく腸疾患が多い時期です。ところで物をいはない赤ちゃんのお腹工合を、どうしたら一番手つとり早く診斷出來るでせう？

こんな症狀

必ずお腹をこはしてゐます

大連醫院・小兒科醫長　飯尾純三氏談

赤ちゃんがお腹を壞すと次の如き症狀を呈します。

◆吸啜不良　これはお乳を飲みたがらなくなるのをいひますが飲みたがるから何でもないと思つてゐると案外それが酸中毒のため喉が渇いてお乳を欲しがるのだつたりして、その區別を見分けるのがちよつと難しい。たとこんなのは乳の代りに水をやつても喜んで飲むから、その邊で判斷を下せばいゝ。なほ酸中毒は口渇のほか吐乳、元氣不良、多眠、發熱などの症狀を見せることが多く、注意を要する病氣とされてゐます。

◆吐乳　先づ溢乳と區別して戴かなければなりません。ブカツと吐くのが吐乳でダラダラが溢乳です。同時に乳を飲ませたあと直に抱いて歩き廻つたため乳を吐くこともあり、これは吐乳とは違ふからちよつと區別の必要があります。吐乳で更に注意すべきは腦膜炎の場合と、人工榮養兒が吐乳する場合。

◆下痢　これに綠便、顆粒便、粘液便などの各症狀があり、すべて腸疾患に考へられるかたが多いものですが、これが案外素人の考へるほど恐るべきものでない――といふわけは、例へば綠便にしても必ずしもそれが腸疾患を意味しないことがある。排泄後しばらく經つて綠色になるのなどがそれで、こんなのは放つておいて差支へない。また直後に綠色であるものでも、乳を與へることまで中止するには及びません。反つて榮養不良になる事が多いからです。

顆粒　便、粘液便も一般に恐れるに足りぬ場合が多く、母乳による榮養兒であつて、而も一日四五回顆粒便や少量の粘液を混じへた便をすることが少くないが、それは生理的現象であつて別に心配は要らないものなのです。但し人工榮養兒の場合は別と心得て下さい。それよりもつと大切なのは以上のやうな下痢症狀が必ずしも腸疾患をのみ意味してゐないといふことで、赤ん坊は風を引いても麻疹をやられても直ぐ下痢するものですから、醫者が便を見ただけで腸が惡いといつてもそれで安心してはいけない。氣を付けなければならぬのは例へば綠便なら綠便、顆粒便なら顆粒便そのことにあるのでなく

全身　の症狀はどうかといふことにあり、それを素人が知る良法は先づ體重に目安をおくのが一番です。つまり少しでも體重が減るやうだつたら何處かに異常があると申していゝので、だからその逆に體重が增えてゐる時なら、少しぐらゐ便の回數が多くなつたつて、ちつとも怕がるに當らないといつたやうなものです。殊に人工榮養で育兒してゐるかたは常に體重に注意していたゞきたい。體重測定の大切なことは下痢の際のみならず、他のあらゆる症狀の場合にも云ひ得られることです。

◆發熱　これも原因はいろいろで、熱が出たからといつて腸疾患と決めることが出來ないのはもちろんです。赤ん坊の腸疾患を知るには、だいたい以上のやうな症狀を注意すればいゝでせう。然しその順序は必ずしも右の通りにはいかないだらうし、また一つ一つ獨立して現れる場合、幾つかゞ合併して現れる場合といふやうにそれぞれ違ふこと、ならびにこれらの局所的症狀のみならず、赤ちゃんの全身症狀に注意することをくれぐれもお願ひします。

〝重い水〟

涙一滴の價

アメリカのコロンビア大學の教授ユーレー氏は、われわれの日常使用してゐる水の中に微量の〝重い水〟と稱する水が存在してゐることを發見し一九三五年度のノーベル賞を獲得しました、尤もその〝重い水〟の作用については未だ具體的な結果がわかつてをりませんが、しかし、この中へ水すましやおたまじやくしを入れると忽ち死んでしまふさうです、現にアメリカの同位原素製作所では、この水を賣出してをりますが、普通の水から、この〝重い水〟をとり出すのが非常に困難なため、僅か涙一滴位の量で、その價が實に二百八十四圓もするといふから驚くではありませんか。

ご存じですか？

藥の利用法

家庭常備藥の用ひ方

家庭で手輕に求められ手輕に用ひ得る藥品を案外家庭で利用してゐないものですが硼酸、明礬、硼砂、グリスリン、重曹などを常に家庭で常備する心掛は是非持つてゐたいものです。

◇…たと　へば硼砂なども消毒用許りと考へてゐないで、これをグリスリンと混じて化粧に用ひれば肌あたりの柔かい立派なベルツ水が出來ます。明礬の用途は千分の三位に薄めて濕布又は含嗽に用ひるのが一般ですが、これを漬物の色止めにも使へます。即ち漬ける前に極少量の明礬水をかけ、漬物樽の中へは十本位の金釘を入れて置くと茄子、青菜など、そのまゝの生々した色をいつまでも保ち卓上を新鮮に飾ることが出來ます

◇…硼酸　は酸の中でも最も弱く而も殺菌力の強いものですから、家庭の消毒劑、含嗽劑として最も理想的です。同時に防腐劑として食料品に用ひることも出來ます。又砂糖の代りにサツカリンを用ひるなど糖尿病の場合として大いに役立つものです。但しサツカリンは糖分ではありませんから、人體に榮養分を與へる目的には零です。有害ではありません。甘さにかけては砂糖より遙かに強く、極少量を薄めて用ひ、充分に砂糖の甘さを出します。飲み難い藥をのむ時にこれを混じて用ひれば樂に飲めませう。安いものだし砂糖を用ひたものゝやうに醱酵腐敗を來さないから藥を犯してお菓子製造者が用ひたがるのも無理はありません。

◇…アル　コールなども消毒やランプだけにでなく濕布にもどんどん用ひることです、それから洗濯に使ふサラシ粉は殺菌力の大きなものですから、濁物をする前に、一寸このサラシ粉を溶した水につけてからにすると寄生虫の卵を除くことが出來ます。その他グリスリンを肌や手足の荒れに使ふばかりでなく、家庭で浣腸に使ふぐらゐ、もつと普及して欲しいものです（中橋大連醫院藥局長談）

ダリアの栽培

側芽の配置と蕾の制限

大切な〝こつ〟です

ダリアもぼつぼつ蕾をもたげ始めました。肥料は窒素質のものを多く與へると枝葉のみが繁つて、外觀はいかにも見事だが、分枝が多く全體の容姿が亂れ、しかも大きな花が咲きません。窒素質のものは控へめにします。

先づ　一週一回、油粕汁に少量の過燐酸石灰、硫酸加里又は灰汁を混ぜたものをやる程度です。枝芽の出るのをそのまゝ放つておいてはいけません。主莖の下から三、四節まで殘してそれから上の枝芽は全部摘みとります。この頃になると蕾は頂上に三つ見え出すものですが、中央の大きいのだけ一つ殘して他の二つを取除けば一輪だけ大きく咲きますから、その花が終つたら下から三、四節目の所で切り取り、下に殘した芽の伸びて來た側枝を下二節目位まで側芽を殘して摘み、その頂上に花を持たせるといふ風にします。

この　側芽の出し方、蕾の制限がダリア栽培の最も大切な所です。又各節に（葉のつけね）から左右同じやうに二本の芽を出しますから、株が混み過ぎないやう、どちら一つ殘しても他は小さい中にかきとります（久保田明雄氏談）

至極簡單なソーダ水の製法

皆さまご存じですか

夏の　お客様はよくお水を一杯要求されますが、この時お水の代りに手製のソーダ水を差上げたらどんなに氣がきいてゐるでせう。家庭用のサイフォンなども出てゐますが、その場で飲んで頂くなら、それも要らず、ラムネの瓶なども要りません。ご存じの方も案外少ないやうですが、重曹と酒石酸か枸櫞酸を一つずつ用ひればよいので、コップ一杯に砂糖を入れ先づ砂糖水を作り、これに小匙一杯の枸櫞酸、もしくは酒石酸を入れてよくかき混ぜ、最後に同じく小匙一杯の重曹を投ずれば忽ち泡立つて來ます。これを一氣に飲めばよいので至極簡單です。酸と重曹は大體等量、コップ一杯に小匙一杯と覺えて下さい。酒石酸は枸櫞酸に比して多少苦味がありますから、味の點では枸櫞酸の方がいゝでせう。

然し　酒石酸は粉末のがあつてすぐ溶けますが、枸櫞酸は結晶になつてゐて、水に溶けるまで多少（二、三分）暇どります。ですから、豫め砂糖水に枸櫞酸を溶かしたものを瓶詰に用意して、重曹を入れるばかりにしておけば直に出せるわけです。砂糖の代りにシロップを使つたり、果汁のエツセンスなど一滴落せば、更に立派なものになりませう。酸、重曹ともに五百瓦入一瓶あれば、一夏ぐらゐは使へます。

酒石酸（五百瓦入）一圓五十錢
枸櫞酸（同）一圓六十錢
重曹（同）二十五錢

家庭顧問

法律、身上、育兒、衛生相談、宛先〝家庭顧問係〟

〝子供がない〟と歎かれた姉

結婚したら大違ひ

【問】　昨年の末、私の姉が後妻として結婚しましたが、前妻の子供が一人有りましたのを先妻の子は或る所に養子としてやつたから、ぜひ來て呉れとの事で、子供が居ないのならと思ひ結婚しました。人にも頼んでしらべて頂きましたが、三ケ月目に、やつたはずの子供を主人が引取りましたさうです。あまり約束が違ふので、姉もだまされたと言つて泣いて居ります。姉は内地に住んで居ますが、離婚してよいかどうしたらよいでせうか。光明の道へと進ませて下さい。（迷へる姉弟）

夫を愛してゐる限り

そんな事問題てないてせう

【答】　いつたん結婚したのに、たゞ子どもがゐた、ゐないで破談にしたいなどゝはあなたの姉さんは少しわがまゝ過ぎるのではないかと思ふ。第一さうなる前に調査の行き屆かなかつたといふのが手落ちといへるし、たとひ子どもがゐたとしても、現に夫を愛してゐる限りそんなことが問題にならうとは凡そ考へられないことです。一たん他家に嫁入つたからは、それくらゐのことは覺悟してかゝつてゐなければならぬ筈のもの。その覺悟のないやうなかたなら歸つて來たところで幸運が待ち設けてゐようとは考へられません。どこまでも辛抱して幸福な家庭を作り上げるやうに、あなたは姉さんをさとして上げることが大切でせう。（島田道彌）

つり

◇蘆甘井子　三十日、蘆甘井子で海水浴半分の釣りをしましたが、滿化工場前の棧で二尺半の年に五十尾ほどかゝりました。めばるが多く大きいのは五寸位、但し丁度汐の惡い午前十一時から午後四時頃までの釣りです。石炭棧橋の邊では大きいのが上つてゐるやうでした。歸つてテンプラにしたが美味しいと思ひました（市内・ロシア町素人氏・報）

◇傅家庄沖　昨日、日曜日傅家庄沖へ五人で出かけて、漁は餘り多くはなかつたが、めばるの柄が大きい。五人ともめばる六百匁、五百匁といふ所を二三尾づゝ釣りあげた（市内・東公園町Y氏・報）

◇三山島　三十日、三山島の漁はめばる平均四百匁、相當の成績であつた。（市内・大和町狂氏・報）

◇夏家河子　三十日、夏家河子のキスは朝から北風強く全然駄目。泊りの大公園連も多くは歸り、午後まで待つて出たものも、三十尾そこそこ。ダチは相變らずよく食つて十尾以上入つた。（市内・岩代町K氏・報）

◆甘井子行き　甘井子行の船はロシア町波止場より三十分毎に發、片道十五錢。

季節料理

（C）

◆豚肉と酢蓮根

◆材料…豚ロース百匁、古生姜一個、葱一本、酒少々、ハス一本、甘酢五勺、芥子粉大匙半杯、味噌三十匁、砂糖、鹽、パセリ、味の素

◆方法…百匁の豚肉を二つ割りにして鍋にいれ、それに古生姜を薄く刻んだもの、葱を二、三分の長さに切つたもの、酒大匙一杯を加へて煮ます。箸が楽に通るやうになつたら引きあげて冷し、うすく刺身におろす。蓮根は酢を加へて眞白に茹で縱二つ割にして横に薄く刻み甘酢に浸す。右の二品をきれいに盛り込みパセリを飾つて芥子味噌を添へかけて備めます。芥子味噌は灰汁ぬきした芥子を熱湯でとき、白味噌三十匁をすりこんで砂糖と酢で味をととのへつゝゆるめたものです。（今西先生案）

灯りの下の彼女達

【上】

窪川稻子

一度見物したいと思つてゐたダンスホールを、たまたまある會の歸りに立ち寄つて見ることが出來た。

連れの人たちのあとからホールに入つて行く私は、いさゝかお上りさん氣分であつたらしい。ホールは忽ち踊りの最中であつた。

踊りの最中、といふやうな氣分で氣輕ひ込んで見物し始めた私の前に、踊りは、すぐおしまひになつた。丁度、映畫館の幕がするすると兩方へあがつてゆくやうな、ダンサーたちと客たちとの別れ具合である。何故私はそれを映畫面の幕に感じたのかしら。それはダンサーたちの服が淡い銀色の薄い布の服なのだらう。客の服よりも、ダンサーの薄い布の方が感じが強い故で、私は映畫館にかかつてゐるヴエールのやうな布を想像したのであらうと思ふ。それから、もひとつはダンスが一回おしまひになると灯りが明るくなることも。

その明るくなる灯りの下で兩方へ別れてゆくのが、丁度映畫がはつと始まる時の明るい幕面の中であがつてゆく幕を想像させたのかも知れない。

踊りは、私にそれらの感想を起させる隙間もなくすぐ始まつてゐた。一生懸命に見てゐる私は、どうも目の前に邪魔な布でもぶらさがつてゐる氣持ちである。何だか目の前をかき分けたい衝動にかられる。これは電燈が暗くなる故である。もつとも、そのダンスホールは本式のホールではないので、天井が低いといふことであつたが、まつたく天井も低い、せめて電燈だけでも少し明るくしてよからうと思ふ。氣分を出すためだよ、と連れが言ふ。何故暗くなければ踊の氣分が出ないのかと思ふ。だが私のこの疑問は、今日のダンスホールの踊りと、私の求める踊りとの本質的な相違を忘れた瞬間的な疑問に過ぎなかつた。

踊りは、またすぐ一回の終り、そして灯りの明るくなる間はなく次の踊りが始まる。僅に流れる蓄音機の騒がしいもの〻の主題歌で、紳士たちとダンサーとの一組づゝの踊りがまはりながら、すれ合ひ、いてゆく、と見る間もなく、一曲の切り目、踊りの氣分に引き入れられて見栄と明けつぴろげで見てゐる私の感興が崩壊する間もなくぶつッぶつッと打ち切られる。まるで文章の一字一字に句讀點があるやうなうるささである。

これも、また仕方のないことであつた。十一時、ホールがお終ひになつた時、客はぞろぞろと出口へ向つて流れ出す。その時ダンサーたちは、どうしてゐたかといふと、ずらつとホールの壁の上に白押しに並んで、みんな腰の上に頭を下げ、熱心にチケットを數へ始めたのである。一字一字の句讀點のうるささはここで理解された。彼女たちは緑色や、黄や、さんし色の、薄い絹の服を垂らして、よく統制のとれた舞臺の踊り子のやうに、みんな同じ姿勢で頭を下げ兩手をすばやく動かしてチケットを數へてゐる。客はそれを帰ひ側に見ながら歸るのである。

私がここで驚いたのは、このダンサーたちの露き出された生活の妻に對して、そこにある「恥も外聞もない」的な激しさに對して、客は何も關心がないと云ふことである。素朴めるわけでもないらしい。

ブルジョア的享樂といふものは實に、その本來的な性質の故に鈍感な、無情なものであると感じさせられた。

學藝

鐵道博物館に就て

（上）

新井光三

歴史的北鐵接收事業は、滯りなく完了された。北鐵鐵路な五哩の鐵軌線に、我が日本人の操縦する列車が北滿の曠野を驀進しつゝあるとき、誰か感慨なしでそれを見る者があるであらうか。

北鐵接收と共に、鐵路局總部によつて計畫された記念事業は、十指を折しても向は足らざるものあるであらうが、市井に佐藤局長案では、鐵道博物館とは何ぞや、といふ質問も出るであらうが、名稱の示す如く鐵道に關する專門博物館である。

創業三十有餘年の歴史を有する北鐵の鐵道史は、これまで政治的に或は經濟的に凡ゆる文獻によつて、我が國の朝野に紹介し盡されたが、同鐵道に於て使用された物件資料を一堂に蒐集陳列し、恰も一卷の書物を讀むと同じやうな意味にて、目に訴へる北鐵鐵道史の博物館化は、それが鐵道専門家であつても、科學愛好家であつても學生であつても、一般人であつても、彼我を對照することに於て、百聞は一見に如かず、その施設は實物教育の最良のものであると思ふ。

斷つて置くが、鐵道博物館は一部好事家の夫婦骨董の陳列所ではない――勿論美術品と名のつくものはないが、鐵道で使用された物品（？）に類似のものが、陳列される場合があるかも知れない、例へば三十五、六年前露國軍に使用されたと稱される車輛――木製ホイル・センター等は、鐵中の鐵として特筆に値するものであらうが、幾年出紀風雨にさらされた機關の核心はビクともせず、已が運命を我等蒐集員に何ものかを物語つてゐるもの〻やうである。然し斯く語つたからとて單に珍稀な物件を目標として、蒐集せんとするものではない、目的は何處までも、鐵道物件資料によつて、目に訴ふる教育施設としての科學博物館であり、産業博物館であり、鐵道博物館であることを強調して置きたい――換言すれば鐵道に關する限りにおいて民衆知識の向上と文化の發展とに利用せんとする施設である。

あふれこ

好い所だよ！

今を時めく滿洲國外交部大臣張燕卿氏に一枚の肖像畫を贈呈しようとして先頃入滿した洋畫家神保盛三郎君は張大臣を國都新京に訪ひ持參の力作を贈呈した。張大臣の父張之洞大人のポートレートで嘗て在りし日の繪筆の糸をたぐり、父と父の追憶談に花を咲かせた。お蔭で各大臣にも面接出來、特に前國務總理にもお目通りの光榮に浴し、是非展覽會を開けくの懇談に、すつかり嬉れたやうな氣になつてゐる。この頃繪具やキャンヴアスを仕入れに大連に現れたが〝滿洲國は好い所だよ〟と盛んに滿洲をほめて歩く

北鐵接收が歴史的事業であつたと同時に、その鐵道において、永年使用された各種物件資料が、同博物館の專門家によつて蒐集保存され、これを後世に傳へられることは、正に歴史的記念事業の最も大なるものではなからうか。

として傳へられる鐵道博物館設立問題は、偶然各方面にセンセイションを投じ、各新聞のトピック・ニュースとして、特に露字紙までにそれが報道された。

ブック・レヴユウ

經濟記事の基礎知識（ダイヤモンド編輯局編）本書は新版で舊稿の他に公社債、銀行、炭業、工業、電力、産金、銀の六篇が追加され内容も一段と整備されてゐる（東京、麹町、内幸町二經濟雜誌ダイヤモンド社、一・八〇錢）

◇・・・神正成兵法（竹田安次編）東京、京橋、銀座一皆川ビル世界公論社二〇錢

◇・・・祖國（七月號）東京、杉並、井荻三學苑社、二五錢

◇・・・遼東詩壇（一一五號）大連、星ケ浦星稿吟社同文社、三〇錢

◇・・・人間完成（七月號）神奈川縣都筑郡新治村新井新田和眞社、一五錢

◇・・・養鶏界（六月號）愛知縣中島郡奥町旭町其社、一五錢

◇・・・女性文化（七月號）東京小石川江戸川町交藝社、二五錢

◇・・・大衆經濟（六月十五日號）東京麹町內幸町一其社、三〇錢

◇・・・食道樂（六月號）大連三河町三一〇錢

◇・・・明治の聖蹟（六號）東京麹町三年町文部省内明治天皇聖蹟保存會、一五錢

◇・・・月刊文章講座（七月號）東京麹町下六番町厚生閣、一五錢

◇・・・躍進日本の新市場（水野伊太郎述）東京麹町丸ノ内二日本團體協會、一五錢

◇・・・改造（七月號）夏期特大號、讀物特輯、附錄全國登山案内（東京芝新橋其社、一〇〇錢）

◇・・・月刊ロシヤ（創刊號）座談會「モスクワの今昔を語る」その他露國關係記事、興味豐富、附錄多々ロシアに關したるものにてソ聯事情の紹介につとめてゐる。（東京麹町丸ノ内二日經通信社、三〇錢）

◇・・・滿洲評論（二十五號）特輯日滿關係の新段階（大連山縣通大食ビル其社、一〇錢）

◇・・・文化服裝（六月號）東京麹町丸ノ内一其社、二〇錢

◇・・・講談社、六〇錢

◇・・・浮世繪藝術（六月號）寫眞の研究、江戸演劇と江戸文學等（東京京橋須田町其社、一・〇〇錢）

◇・・・ごろつちよ（六月號）東京雜司谷二其詩社、二〇錢

◇・・・實業往來（六月號）東京牛込通寺町其社、三〇錢　其發行所、三〇錢

小學校行事

【四日・木曜日】△職員體育日（晴）△水泳講話（下講）△水泳兒童身體檢査（大正下廳）△日記及び服裝所持品の檢査（同水）

外・山・本・部・隊・の・精・華

柳條溝一番乘りの島本部隊長來る

馬占山討伐の濱本將軍も再び感激の征地へ

チチハルの馬占山攻撃、熱河の征戰等に數々の武勲を殘し、少將に昇進して去る三月輝の凱旋を飾した濱本部隊長並に柳條溝の戰ひに一番乘りの偉功を樹てた島本大佐(當時奉天獨立守備隊第二大隊長)も、その麾下となり今回の交代部隊の指揮隊長として再び滿洲

守備の 第一線に返り咲き、二日晴れの入滿を爲した、陸軍運輸部大連支所の待合所において濱本部隊長は語る

部隊の廻り合せからこんどまたやつて來た、どうも滿洲の方がピッタリ合ふやうだな、この前は熱河やチチハルに働いたが今度は土地が變つてまた珍らしいこともあるだらう、內地は梅雨でジメジメしてゐたがこちらはからつとしていい氣持ちだ、事變前駐屯して大變お世話になつた滿洲の方々が今日わざわざ大勢出迎へに來て呉れたよ、吾々は非常に御迷惑かけたものだつた、いつもながら在滿同胞の誠意には

感激す る、將兵一同は極めて良く軍の使命を諒解して粉骨碎身皇國のため盡すことを覺悟してゐる、この任務遂行については同胞の格別な御後援をお願ひして止まない次第である

また島本大佐は語る

僕は昨年八月凱旋したばかりで第二の故郷に歸つた氣持だ、內地氣分十ケ月にして再び滿洲の土地を踏むのであるが、內地に居る間と雖も一分も滿洲國を忘れる事は出來ない、僕の間內地にあつて滿洲に來て其の日進月歩の狀況を目擊していふにいはれない喜びを感ずる次第である在滿同胞各位が旣に考へて居る事と我々の考へが全く一致して居つたのは非常に愉快に感ずる願はくば日本人の通例として互に相爭ふと云ふ事があるからどうか在滿同胞は一致協力して國家の使命に

邁進し て欲しいものである、大連に上陸して直に感ずる事は旅順の戰跡で幾萬の先輩が血を流して居る事を考へれば如何なる難關に遭遇しても七度生れ變つてでも滿洲に對する國策を遂行しなければならぬと云ふ事を沁々感ぜしめられる、大連到着後部下將兵が忠靈塔、大連神社に參拜したのも其の考への發露に外ならない

大和魂の息吹に涙ぐむ婦人連

こゝ埠頭に全國民の熱誠凝り感激のシーン展開

外山本部隊長以下皇軍將士上陸第一歩の二日朝の埠頭は皇軍兵士萬歲の異常な感激的賑ひを呈した、午前八時半の上陸を控へて早くも七時ごろから埠頭待合所屋上は

歡迎の 人々でごつた返し、市內各團體の國旗が旗幟と共に風にはためく中に、エプロン、襷に純白の運動靴を穿つた國防婦人會員は陽光に照りつけられながらデッキとタラップを降りる皇軍兵士を感謝と慰勞の眼でみつめ、同十時外山本部隊長が吉富大連鐵道事務所長の案內で埠頭第二關階段を上れば、待合所屋上から降りて整列した一般市民、各團體員わきに整列の一般市民、各團體員は一齊に萬歲を三唱、おゝこれこそ大連市民を含む日本國民の聲なのだ、同十一時島本、梅村各部隊が軍旗を先頭に、喇叭の響きも勇ましく高らかに夫々北公園、電氣遊園に向ふ後を、埠頭附近の市民全部、轟せられた樣にこの我等の兵士を見送り、中にはこの盛り上がる

大和魂 の息吹きに打たれてハンカチで眼を拭いてゐた婦人も見え、一種感激の情景を呈した

谷孫六氏長瀬商會を去る

谷孫六のペンネームで知られた矢野正世氏は數年來花王石鹸長瀬商會取締役支配人の職にあつたが今回病氣療養のため辭任した

滿蒙の護り双肩に力強き此言葉

歡迎會の外山將軍

大連市主催の外山本部隊長以下將校の歡迎會は二日午前十時半埠頭待合所において小川大連市長、岡野市助役、田中要塞司令官、岩井在鄕軍人大連聯合分會長、高柳中將、奧村陸軍運輸部大連出張所長、山縣鐵道理事その他多數官民列席のもとに開催された、定刻吉富大連鐵道事務所長の案內により外山本部隊長は幕僚を隨へ着席、小川大連市長は

滿洲國の發達は全く皇軍各位の御力の賜物であります、滿洲國は治安維持未だ全からず、今後とも皇軍各位の御力に俟つものが多々あると信じます、何卒皆樣の御奮闘を希望いたします

と挨拶し、外山本部隊長以下將校の健康を祝して一同乾杯すれば、これに對し外山本部隊長は

皆樣の期待に背かない樣にやる積りです、今迄隨分大連市民の御世話になりましたが、今後とも御後援の程御願ひ致します

と答へ、それより一同ビールと共に乾杯するめで乾杯し合ひ、その間國防婦人會員は酒間を斡旋し和氣藹々裡に同十一時閉會した

盡忠の英靈に先づ玉串を

本部隊長忠靈塔へ

大連市催の歡迎會を終つた外山部隊長は直に自動車で副官を隨へ、大連憲兵分隊の自動車を先頭にして午前十一時埠頭を出發、同十五分大連神社に到着、神官の案內で神前に進み參拜した後、同十一時三十分大連神社を出發、盡忠の英靈眠る忠靈塔へ(同四十分到着、砂利の參道を靜々と進んで獻花を捧げ、玉串を奉奠、署名帳に昭和十年七月二日、第〇〇部隊長外山豐造と鮮やかに署名した、斯くて忠靈塔よりけふ戎衣を解き一日の疲ひをとる遼東ホテルに午後零時入つた

北京同學會の華語講演班

北京同學會語學校では夏期休暇を利用し支那語教習滿洲事情研究のため學生華語講演班を組織し、同校講師池田孝氏が學生四名を引率して二日午前九時半天潮丸にて海路來連各方面に挨拶廻りした

國務院廳舍用のセメントを食ふ

工事關係者の橫領遂に發覺

【新京電話】工事最盛期に入り新しい工事につけ込む不正業者の摘發に對しては當局の嚴重な監視が續けられて居るが、目下新京順天大街に新築中の國務院廳舍の工事に絡む廳舍の請負組に絡く不正事實を、この程新京憲兵隊司法係が摘發取調べの結果、漸く罪狀が明白となると共に近く下田檢事の手で起訴される事になつた國務院新廳舍は大林組の手で工事が續けられて居るが、同工事に使用するセメント二萬袋が官給されるを奇貨として、同組の材料係某(假名)は去る四月頃巧妙的に約二千袋三千圓のセメントを橫領し、それを市價半値で賣却して居つた事が判明したものである

臨江路警察分署匪團に襲はる

長銃、彈藥等を強奪

【安東電話】二日午前十一時五分頃沙河鎭東方七道溝裏に潜る蔡家溝の安東警察廳管下第三區東溝子警察の臨江路分署を匪賊約六十名が襲撃、保管の長銃七挺、彈藥十七種その他を強奪した急報に接して安東署からは芹川警部補以下〇〇名は直に現場に出動する外、守備隊、憲兵隊、安東警察隊等協力匪賊を包圍、哈蟆塘東方五支里の地點で交戰中、敵彈は分駐所あたりへ飛來し人心恟々たるものあり、一方討伐隊は賊の退路を塞ぐべく手配を行つた

哈爾濱の煙花大會

成功裡に終る

【哈爾濱特電二日發】一日の哈爾濱特別市々政記念日における煙花大會夜の部は午後八時半から松花江上に於て開催された、前日から鐵路局は各線とも特別割引をなし客車を增結し、サービスに努めたので各列車毎に滿員の觀光客が押寄せ、市民と合流して松花江岸は埠頭區、傅家甸は勿論對岸に至るまで立錐の餘地なきまで人の山に蔽はれ、江上には市公署の特別招待客を乘せた遊覽船五隻がずらりと並び壯觀を呈した

この日一點の雲なき好天に恵まれて澄み切つた空は殆んど間斷なく打上げられる各種の煙火に蔽はれ、京屋哈爾濱自慢の仕掛煙火は市民のど肝を拔き、幾萬の觀衆は拍手と歡聲を送つて賞讚した、斯くて初の煙火大會は空前の成功を收め十一時半終了した

兩烈士虐殺の犯人自白す

圖らずもその命日に逮捕

當時の事情わかる

【奉天電話】滿洲事變勃發の導火線となつて北滿の野に花と散つた中村、井杉兩氏虐殺の犯人がこのほど發見逮捕された、犯人は原籍安徽省懷遠縣城內汽船碼頭第三四、現住所奉天大南門裡中隆客棧內、元東北陸軍屯墾軍第一混成第三團第一營長、現滿洲國第二軍管區警備兵隊長砲兵中校陳鴻鈞(三九)で六月二十七日

奉天 城內憲兵分隊では中村少佐並に井杉曹長の暗殺犯人が中央訓練所にゐるを探知し、二十八日午前十時陳鴻鈞を逮捕、爾來取調べの結果、陸の逮捕された日の滿四年前の六月二十八日夜十一時半中東軍屯墾軍司令部應接間にて十二名の兵士をして少佐等を取圍ましめ捕縛のまゝ拳銃にて射殺せしめたことを自供した、陳鴻鈞の自供するところによると昭和六年五月二十八日、中村大尉が少佐等遭難の現地附近にて測量中、一行四名の旅行者を發見したので陸は不審に思ひこれを逮捕して營庭にて取調べの結果、日本人二名あるを發見し、怪しみて嚴禁の後、厳重取調べをなし、結局中村少佐等は諜報の結果ノこれは密偵だから祕密に殺さうノとその夜十一時半應接間にて十二名の兵士が少佐等を取圍み、捕縛のまゝ

拳銃 にて射殺し、更に死體は馬車にて運搬東方十四支里の山中にて燒却したものであると

自分は何處から來たか

【問】これはお前のものか
【答】自分のだ
【問】お前は何處から來たか
【答】自分は道を間違へて來た
【問】日本軍の密偵ではないか
【答】密偵ではない、自分は農學士で視察旅行者だ
【問】外のは誰だ
【答】通譯內だ
【問】ロシア人は誰か
【答】道連れだ

との問答をなし、所持品に日記帳二冊、地圖、拳銃一挺、藥品等あり旅行證明書を紛失、更に身體檢査を行ふと證明を發見、そこで兩者の間に

電々チーム

【新京電話】本社主催關東州野球大會に優勝した滿洲電々會社野球部は一日午後五時三十分着あじあで來征したが、二日オール新京、三日滿洲國チームと一戰を交へた上同夜哈爾濱に赴く豫定

馬の橫腹にグサツ

亂暴な若者の兇刄

【新京電話】若き獨身社員が殖えた新京の夏の夜は兎角荒ッぽい空氣が漲つて警察沙汰を惹き起し幾多の犯罪を現出してゐるが、これはまた亂暴な若者——電々社員村田三郞(假名)は一日午後十一時頃泥醉して朝日通頭製前を通行中、馬車夫山東省生れ城內三不管孫昌仁(三)と口論を始めいきなり刄渡り六寸の短刀を馬の橫ッ腹にグサと突差し大見得を切つたが可哀相に馬は動脈を切斷されその場に斃れた、犯人は領事館警察では犯人を留置取調べたが近時ピストル匕首など兇器持參の輿太者が增加したので警察當局では嚴重取締をなすことになつた

これも獨身者

一日午後十一時半頃古山次郞(二七)假名は宴會の歸途泥醉の揚句、同僚と日本橋通りにおいて大喧嘩を始めこれを取鎭めに入つた新京署の強力犯の面々を得意の柔道で投げ飛ばし遂に本署に連行され嚴重な說諭を加へられ釋放された

チムバリスト氏

【哈爾濱特電二日發】チムバリスト氏は二日午前十一時飛行機で新京より來哈モデルン旅館に入つた、三日モルデン劇場で演奏會を開催する

偽造紙幣で滿洲國を亂す

ソ聯の反滿抗日策

【新京電話】最近精巧な偽造國幣が北滿一帶に流布されつゝあるを發見した滿洲國當局では其の流布狀況に就いて嚴重調査を行つてゐるが、二日哈爾濱より來京せる一警部の談に依れば、ソ聯當局では滿洲國の財界攪亂の一方策として精巧な偽造國幣を亂發のため目下浦鹽において頗る精巧な偽造機械を据付けこれが偽造に當つて居り、反滿抗日のソ聯諜報機關に依つて一般に流布せんとして居るものであると

輝く聖軍を迎へる

【上右】忠靈塔參拜の外山本部隊長【上左】同所にて署名する外山將軍【下右】島本部隊長【下左】濱本部隊長

異人剣法 (132)

伊藤行男
金子清之介畫

双心 (その八)

まるで申し合せたやうに、初音と巳之助が落ち合つたので、船藏一家は久しぶりに、にぎやかな歡びにつゝまれてゐた。行燈の灯もいつもより明るいやうに思へるのだつた。

これで嘉吉さへ戻つてくれればと、誰の胸にも嘉吉の事がうかんで來た。

「初音さん……」

と巳之助は一家の人々にかこまれ乍ら、

「あなたにはいろ〳〵と御苦勞をかけましたが、喜んでおくんなさい、あなたの探し求めてゐる長谷さんに逢ひましたぜ」

「えつ」

初音の顔にさつと血がのぼつて來た。風の音さへどこかで新九郎が呼んでゐるやうに聞きなされて、逢へさうな氣がしきりにしたのも、それではやつぱり蟲の知らせだつたのだ。夢ではないかと、初音はたちまち飛び立つ心を抑へ乍ら、

「新九郎さまに、いつどこで…」

「たつた今別れたばかり……」

「えつ」

「あなたが此處にゐやうと思へば、すぐにもお逢はせ出來たものを、まさかこんな事とは知らねえから、惜い事をいたしました。あつしの話に、長谷さんも、とてもあんたに逢ひたがつてゐたのにな ア……」

と、いかにも口惜しさうな巳之助の口ぶりに、

(では新九郎さまも私を……)

と初音は胸が一杯になつて來た。今度こそ逢へると思ふと、もう矢もたても堪らない。辛苦をなめた甲斐はあつたと、初めて喜びにふるえ乍ら、今更巳之助の心づくしを伏拜みたい位に思つた。

「巳之助さん、有難うございました。お禮は言葉に盡きませぬ。それでは私、これよりさつそく新九郎さまをお訪ねしてまゐります」

「いゝや、いけねえ初音さん、はやるのは御尤もだが、長谷さんはいま何處にゐるか御存知でござんすか」

「はい、わきまへてをります」

「えつ、ぢやアそれを承知で初音さんは……」

「はい」

「いけねえ〳〵」

と巳之助は手をふつた。

「そんな事をしちやアまた騷動がおこるばかりだ。何しろもう夜ふけの事、今夜はまア我慢をして、明日まで待つておくんなせえ。巳之助きつとおふたりを、お逢はせいたしますでござんす。それにまたひどくお疲れの御様子らしい。今夜はどうかゆつくりとお寢みなすつておくんなさい」

「ねえ、どうかさうして下さいまし」

お絹もとも〴〵とめるので、初音は漸くうなづいた。

夜ふけになると、まるで死んだやうな黒船の町だつたが、いつか灯を消した闇の中に、巳之助もお絹も初音も、今夜はどうしても眠れなかつた。

巳之助は泪乍らの初音の話に、(さては小梅が何もかも……)

と唇をかんでゐたし、初音は(明日は逢へる、明日こそは新九郎さまに……)

とたのしい期待で夜明けが待たれてならないのだつた。

お絹はまた寢返りを打つて、そつと吐息をついてゐたが、それは誰にも聞えなかつた。